MultiWriter 2130

レーザプリンタ

ユーザーズマニュアル

893-810045-001-A
第2版

このユーザーズマニュアルは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておくようにしてください。

安全にかかわる表示

プリンターを安全にお使いいただくために、このユーザーズマニュアルの指示に従って操作してください。このユーザーズマニュアルには製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、製品内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

ユーザーズマニュアルならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

警告	指示を守らないと、人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
注意	指示を守らないと、火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示の具体的な内容は「注意の喚起」、「行為の禁止」、「行為の強制」の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

注意の喚起

注意の喚起は、「△」の記号を使って表示されています。この記号は指示を守らないと、危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容を図案化したものです。

	毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。		火傷を負うおそれがあることを示します。
	レーザー光による失明のおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。
	感電のおそれがあることを示します。		

行為の禁止

行為の禁止は「⃠」の記号を使って表示されています。この記号は行為の禁止を表します。記号の中の絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。

	プリンターを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。感電や火傷などの傷害が起こるおそれがあります。

行為の強制

行為の強制は「●」の記号を使って表示されています。この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。

	プリンターの電源プラグをコンセントから抜いてください。**感電や火災**のおそれがあります。

本文中で使用する記号の意味

このユーザーズマニュアルでは、「安全にかかわる表示」のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。それぞれの記号について説明します。

記号	内　容
重要	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが故障するおそれがあります。また、システムの運用に影響を与えることがあります。
チェック	この注意事項および指示を守らないと、プリンターが正しく動作しないことがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Netscape、Netscape Navigatorは米国 Netscape Communications Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
HPは米国Hewlett-Packard Companyの商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
NetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、Mac OS、TrueTypeは米国Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
IBM、ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
UNIXはThe Open Groupの米国ならびに他の国における登録商標です。
Ethernetは米国ゼロックス社の登録商標です。
Adobe、AcrobatおよびAcrobat ReaderはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の登録商標または商標です。
MULTIWRITER、PrintAgent、MOPYING、NMPS、DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。
その他、記載されている会社名および商品名は各社の登録商標または商標です。

OSの表記について

このマニュアルではOSを以下のように略して表記しています。

Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard EditionおよびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。Windows 2000 Advanced ServerはMicrosoft Windows 2000 Advanced Server operating systemの略です。Windows 2000 Datacenter ServerはMicrosoft Windows 2000 Datacenter Server operating systemの略です。Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0の略です。Windows NT Server 4.0, Terminal Server EditionはMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0,Terminal Server Editionの略です。Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0はMicrosoft Windows NT Server, Enterprise Edition network operating system Version 4.0の略です。Windows NT 3.51はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 3.51およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 3.51の略です。Windows 3.1はMicrosoft Windows operating system Version 3.1の略です。また、Windows Server 2003について特記がない場合は、Windows XPと読み替えてください。

マニュアルの種類と使い方

MultiWriter 2130本体や付属のプリンターソフトウエアの取り扱い方を説明したマニュアルには、「ユーザーズマニュアル(本書)」と電子マニュアルの「活用マニュアル(添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録)」があります。また、各プリンターソフトウエアの詳細については画面上の「ヘルプ」をご覧ください。

MultiWriter 2130　ユーザーズマニュアル（本書）

プリンターのセットアップから、プリンターの基本的な操作方法、および困ったときの対処方法などを、この1冊で説明しています。本書はいつでもご覧になれるようにお手元に置いてください。

閲覧用

印刷用

MultiWriter 2130　活用マニュアル（電子マニュアル）（プリンターソフトウエアCD-ROMに収録）

ネットワーク環境で印刷する場合の設定方法、プリンターソフトウエアやメニューモードの詳細、および技術情報などについて説明しています。

活用マニュアルには、HTML形式を採用した汎用のブラウザーで閲覧する「活用マニュアル（閲覧用）」と、PDF形式を採用したAdobe社のAcrobat Readerで参照および印刷ができる「活用マニュアル（印刷用）」があります。ご使用の目的に応じて活用してください。記載内容については活用マニュアルの内容（ixページ）をご覧ください。

また、活用マニュアル（閲覧用）の開き方についてはviiページ、活用マニュアル（印刷用）の開き方、および印刷方法についてはviiiページをご覧ください。

ユーザーズマニュアルと活用マニュアルそれぞれを、目的に応じてお使いいただくために、viページに目的別検索ガイドを示します。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
5. プリンターの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

はじめに

このたびはNECのプリンターをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

MultiWriter 2130は高性能なCPUを採用し、省スペース、高速ウォームアップ、スループットの高速化を実現した、レーザープリンターです。さらに、用途に合わせた豊富な給紙を実現しています。

■ 特長

- 最高 17 ページ / 分の印刷速度（A4 サイズ横の場合）
- USB 2.0 インターフェース標準装備
- 2 段カセット標準
- 最大給紙容量 1350 枚
- 最高 600dpi 相当の解像度

■ MultiWriter 2130でMOPYINGを・・・

MOPYING（Multiple Original coPY and printING）とは、オリジナルのドキュメントをコピー機で複数コピーするのではなく、MultiWriterで必要部数を直接印刷する新しいドキュメント処理スタイルのことです。

MultiWriter 2130に搭載されているPrintAgentの機能を使うと、MultiWriterをコピー機のような使い方ができるばかりでなく、手間のかかる原稿の準備作業がパソコン上でできます。コピー機を使ってドキュメントを複数コピーする作業と比較すると、導入コストやランニングコストを低く抑えることができます。しかも、オリジナル出力なので仕上がりがきれいです。

また､Windows環境でより簡単に､より快適に使用していただける印刷統合管理ソフトウエア｢PrintAgent｣に対応しています。PrintAgentにより、プリンターの状態や印刷の進行状況を確認したり、より快適な「MOPYING」を実現しています。
「MOPYING」の詳細については、活用マニュアルをお読みください。

マニュアルをお読みになり、MultiWriter 2130を十分にご活用ください。

2003年5月　初版
2007年2月　第2版

目次

5章　日常の保守 59

6章　故障かな？と思ったら ...65

付録 89

目的別検索ガイド

セットアップするには
プリンターを安全に使うために
プリンターを設置する
コンピューターと接続する
ネットワークに接続する
プリンターソフトウエアを
インストールする
プリンターソフトウエアについて
USBインターフェース接続による
インストール
LPR（TCP/IP）を使って印刷する
セットアップができたら
用紙について詳しく知りたい
スイッチ・ランプについて
アプリケーションから印刷する
便利な機能を使って印刷する
必要に応じて
メニューモードを使って設定する
EPカートリッジを交換する
プリンターの清掃について
うまく印刷できないときには
紙づまりのときは
保守サービスについて知りたい
オプションについて
ユーティリティーを使って
IPアドレスを設定する
ネットワークの印刷で困ったときには
このプリンターの性能は？
制御コードを使う
印刷範囲が知りたい
文字コード表が見たい
わからない用語がある
ユーザーズマニュアル
安全に
お使いいただくために
1章　プリンターの設置
2章　プリンター
ソフトウエアの
インストール
3章　用紙のセット
4章　印刷するには
5章　日常の保守
6章　故障かな？
と思ったら
93ページ
付録
活用マニュアル
3章　ネットワーク
での設定
5章　操作パネル
4章　より進んだ使い方
7章　メニューモード
8章　日常の保守
1章　オプション
3章　ネットワーク
での設定
9章　故障かな？
と思ったら
付録　技術情報
用語解説

「活用マニュアル（閲覧用）」（電子マニュアル）を見るには

活用マニュアル（閲覧用）はHTMLファイル形式です。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されており、お手持ちのコンピューターの画面上でブラウザーを使って閲覧できます。閲覧するブラウザーはMicrosoft Internet Explorer 5.0以上、Netscape Navigator 4.5以上をお奨めします。あらかじめインストールして以下の手順を行ってください。

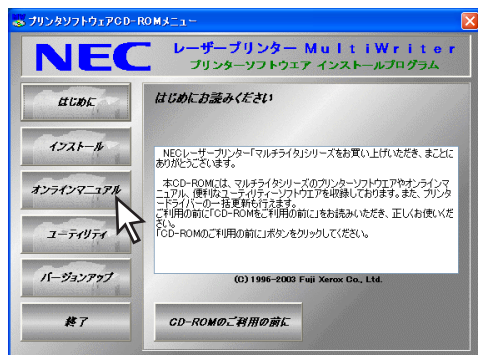
❶ お使いのOS（日本語版）を起動する。

❷ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

「プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー」が起動します。

> お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合は、CD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ [オンラインマニュアル]をクリックする。

右側のボックスにオンラインマニュアルの名称が表示されます。

❹ 右側のボックスの[MultiWriter 2130活用マニュアル（閲覧用）]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。

ブラウザーが起動して、活用マニュアルのトップページが表示されます。

「活用マニュアル（印刷用）」（電子マニュアル）を印刷するには

活用マニュアル（印刷用）はPDFファイル形式です。活用マニュアルをお手元で見られるように印刷したい場合には、活用マニュアル（印刷用）をお使いください。なお、印刷するにはAdobe Acrobat Reader 4.0以上が必要です。あらかじめインストールしてください。

このオンラインマニュアルはA4サイズの大きさで作成されています。ここではWindows XPの環境でMultiWriter 2130を使って活用マニュアルを印刷する手順を説明します（あらかじめプリンタードライバーをインストールする必要があります。本書の2章を参照してインストールしてください）。他のOSをお使いの方は多少画面表示が異なりますが、手順は同じです。

❶ 前ページの手順❶～❸を行い、オンラインマニュアル一覧を表示する。

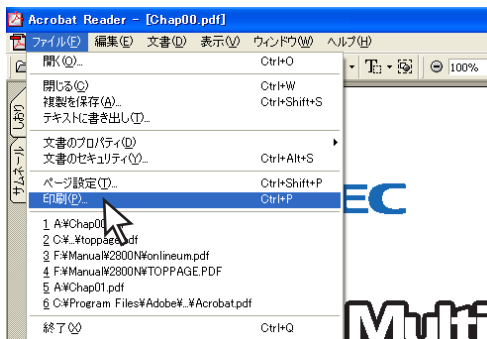
❷ 右側のボックスの[MultiWriter 2130活用マニュアル（印刷用）]を選び、[オンラインマニュアルを読む]をクリックする。

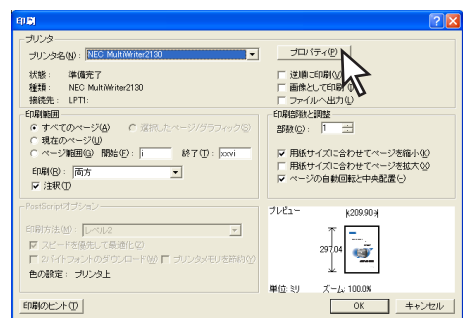
Adobe Acrobat Readerが起動して、活用マニュアル（印刷用）のトップページが表示されます。

❸ 印刷したい章を選び、クリックする。

印刷したい章のイメージアイコンをクリックしてください。希望の章が開きます。

❹ [ファイル]メニューの[印刷]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスが表示されます。

❺ [プロパティ]をクリックする。

[プリンタのプロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❻ [用紙]タブをクリックする。

[用紙]シートが表示されます。

❼ [用紙サイズ]から[A4]を選択し、[OK]をクリックする。

[印刷]ダイアログボックスに戻ります。

❽ 印刷部数を指定して[OK]をクリックする。

活用マニュアルの内容

活用マニュアルに記載されている主な内容は、以下のとおりです。

1章　オプション

増設ホッパー、LANアダプター、増設メモリーの取り付け・取り外し手順、および使用できるコンピューターとプリンターケーブルを記載しています。

2章　プリンターソフトウエアのインストール

プリンターソフトウエアをインストールしてプリンターを使用できる手順について記載しています。また、プリンター管理者用インストール手順、PrintAgentの追加・削除についても説明しています。

- プリンターソフトウエアCD-ROMについて
- プリンターソフトウエアの動作環境
- インストール方法の選択
- 「インストールプログラム」からのインストール
- USBインターフェース接続によるインストール
- パラレルインターフェース接続によるインストール
- プリンタードライバーの削除
- PrintAgentの追加・削除
- プリンター管理者用インストール
- 日本語MS-DOS環境

3章　ネットワークでの設定

MultiWriterを使ってネットワーク印刷するための設定手順について説明しています。

- LANアダプターを使用するためのIPアドレスなどの設定手順
- 接続先の設定とプリンタードライバーのインストール
  UNIX用印刷サービス（LPR）、Standard TCP/IP Port（LPR)、LPRバイトカウント機能、Microsoft TCP/IP印刷（LPR）、ターミナルサービス環境
- ユーティリティーによるネットワークの設定
  EASY設定ユーティリティ、PrintAgentプリンタ管理ユーティリティ、無線LAN導入ウィザード、WWWブラウザー、Telnet、UNIXコマンド
- より便利なネットワーク機能
  DHCP

4章　より進んだ使い方

プリンターソフトウエアを使ったMultiWriterの便利な機能の紹介および設定方法について説明しています。

- MOPYING設定ウィンドウ
- 「PrintAgent」ツールバー
- プリンタステータスウィンドウ
- リプリント機能
- 文書結合
- 仕分け印刷の設定（ジョブセパレート機能、丁合い機能、電子ソート機能）
- 拡大・縮小印刷
- 複数ページ印刷
- 印刷位置の調整
- スタンプ機能
- ヘッダー・フッター機能
- ページ単位の給紙設定
- OHPに合い紙を入れる
- ユーザー名の表示
- 定形外用紙サイズの設定
- プリンタ自動切替
- 保守情報のメール通知
- PrintAgentによる印刷ログの出力
- リモート電源制御
- Web PrintAgent
- プリンタードライバーのバージョンアップ

5章　用紙のセット

使用できる用紙の種類や用紙についての注意事項、ホッパー、MPへの用紙セット方法について説明しています。（記載内容は本書と同じです。）

6章　操作パネル

プリンターの操作パネル上のディスプレイ、ランプ、スイッチについて詳しく説明しています。

7章　メニューモード

ESC/Pエミュレーションモードを含めてメニューモードの詳細について説明しています。

- メニューモードでの設定変更のしかた
- メニューモード設定項目一覧（メモリースイッチの設定変更のしかた、メニューツリー）
- メニューの詳細
- メモリースイッチの内容
- 動作エミュレーションの切り替え（ESC/Pエミュレーションモード）

8章　日常の保守

EPカートリッジの交換手順、清掃手順について説明しています。

9章　故障かな？と思ったら

故障かな？と思った場合の原因と処置方法を以下の症状に分けて説明しています。また、プリンターの運搬、消耗品の廃棄について記載しています。

- 修理に出す前に
- 印刷できないときは
- アラーム表示が出ているときは
- 印刷に異常が見られるときは
- 思うように印刷できないときは
- PrintAgentシステムが起動しないときは
- プリンタステータスウィンドウがおかしいときは
- リプリント機能が動作しないときは
- ジョブセパレート機能が動作しないときは
- PrintAgentを正しく動作させるために
- ネットワークで思うように印刷できないときは
- 紙づまりのときは
- プリンターを運搬するときは
- プリンター・消耗品を廃棄するときは

10章　ユーザーサービス

お客様登録された方へ用意されているさまざまなユーザーサービス、プリンターの寿命、ユーザーズマニュアルの再購入について説明しています。

付録　技術情報

本書に記載しているプリンターの仕様、用紙の規格の他に文字コード表、印刷範囲などの詳細な技術情報について記載しています。

- 仕　様
- 用紙の規格
- 文字の種類
- 文字コード表
- 印刷範囲
- NPDLの初期状態
- 制御コード
- 機能拡張制御コード
- ディスプレイ表示一覧
- テスト印刷のプリント結果
- 増設メモリー対応表
- 電子ソート機能有効時の印刷保証枚数表
- インターフェース
- 用語解説

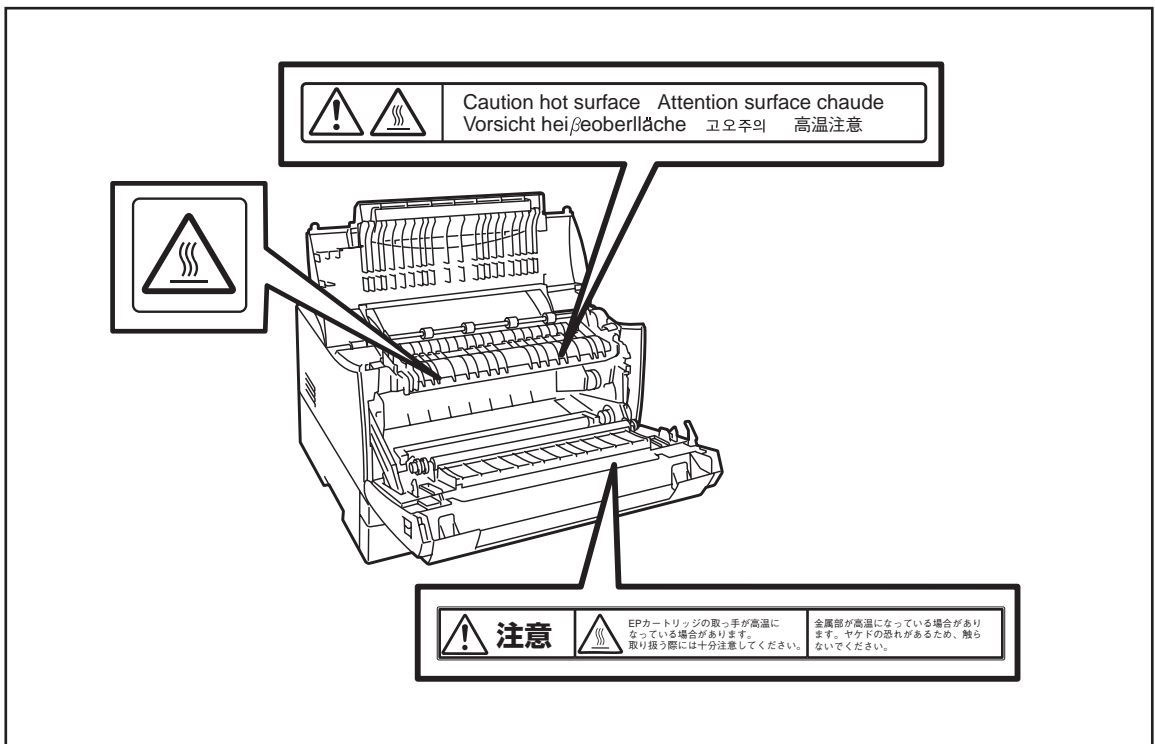
安全にお使いいただくために

警告ラベルについて

プリンター内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンターを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

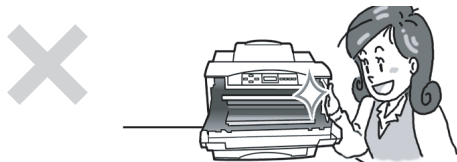
警告ラベルは下図に示す場所に貼られています。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして読めない場合は、販売店または、NECサービス窓口にご連絡ください。

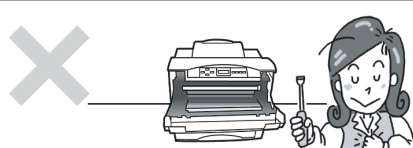
Caution hot surface　Attention surface chaude
Vorsicht heiβeoberlläche　고오주의　高温注意

注意
EPカートリッジの取っ手が高温になっている場合があります。取り扱う際には十分注意してください。
金属部が高温になっている場合があります。ヤケドの恐れがあるため、触らないでください。

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンターを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンターをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示」を参照してください。

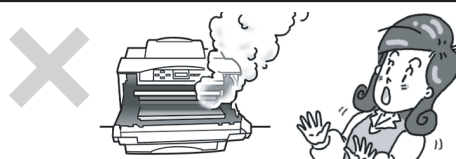
⚠ 警告

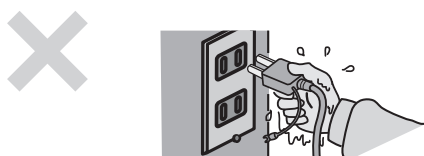
プリンターの内部をのぞかない

このプリンターはレーザー（レーザーダイオード）を使用しています。電源がONになっているときに内部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に入ると失明するおそれがあります（レーザー光は目に見えません）。

分解・修理・改造はしない

ユーザーズマニュアルに記載されている場合を除き、分解したり、修理／改造を行ったりしないでください。プリンターが正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の原因となるおそれがあります。

針金や金属片を差し込まない

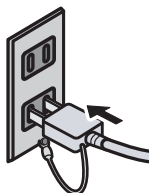
通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電するおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら電源OFF

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源スイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となるおそれがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜かない

お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。また、ぬれた手で抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。

EPカートリッジを火の中に投げ入れない

EPカートリッジを火の中に投げ入れないでください。EPカートリッジ内に残っているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。

指定以外の場所にアース線を取り付けない

万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐためにアース線を必ず次のいずれかに取り付けてください。

- 電源コンセントのアース線
- 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- 接地工事（D種）の行っている接地端子

アース線の取り付けは必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから外してから行ってください。

ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合やアースが施されていない場合は、弊社のテレフォンセンターまたは販売店にご相談ください。次のような場所には絶対にアース線を取り付けないでください。

- ガス管（引火や爆発の危険があります。）
- 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり、危険です。）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合は、アースの役目を果たしません。）

⚠ 注 意

壊れた液晶ディスプレイには触らない

こわれた液晶ディスプレイには触らないでください。操作パネルの液晶ディスプレイ内には人体に有害な液体があります。万一、壊れた液晶ディスプレイから流れ出た液体が、口に入った場合は、すぐにうがいをして、医師に相談してください。また、皮膚に付着したり目に入ったりした場合は、すぐに流水で15分以上洗浄して、医師に相談してください。

電源コードに薬品類をかけない

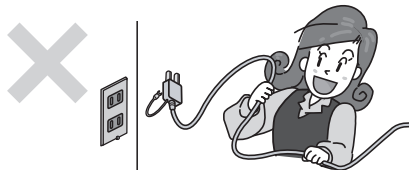
電源コードに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

雷が鳴りだしたらプリンターに触らない

火災・感電の原因となります。雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また雷が鳴りだしたらケーブル類も含めて装置には触らないでください。

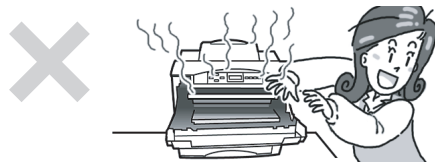
プリンター内に異物を入れない

プリンター内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に連絡してください。

電源コードを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときはプラグ部分を持って行ってください。コード部分を引っ張るとコードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります

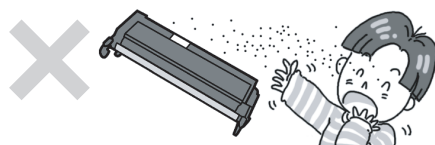
損傷した電源コードは使わない

電源コードが破損した場合は、ビニールテープなどで補修して使用しないでください。補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。損傷したときは、すぐに同じ電源コードを取り替えてください。

高温注意

プリンターのカバーを開けて作業する場合は、十分に冷めてから行ってください。プリンターの内部には使用中に高温になる定着ユニットという部品があり、触ると火傷するおそれがあります。

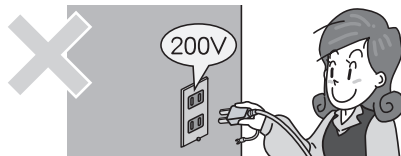
巻き込み注意

プリンターの動作中は用紙挿入口、排出口に手や髪の毛を近づけないでください。髪の毛を巻き込まれたり、指をはさまれたりしてけがをするおそれがあります。

目や口にトナーを入れない

EPカートリッジに入っているトナーを目や口に入れないでください。トナーが目や口に入ると健康を損なうおそれがあります。特にお子様の手の届かないところに保管し、お子様が触れないようにしてください。

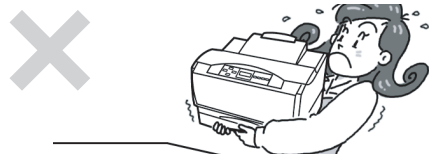
掃除機でトナーを吸わない

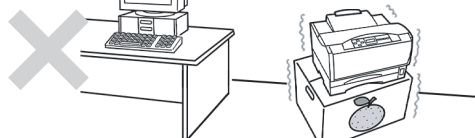
床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などで拭き取ってください。
掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

100V以外のコンセントに差し込まない

電源は指定された電圧、電流の壁付きコンセントをお使いください。指定外の電源を使うと火災や漏電になることがあります。

直射日光が当たるところには置かない

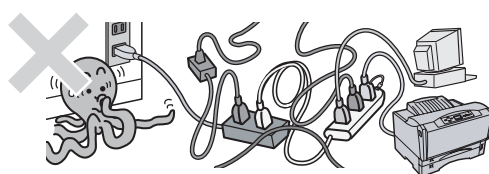
プリンターを窓ぎわなどの直射日光が当たる場所には置かないでください。そのままにすると内部の温度が上がり、プリンターが異常動作したり、火災を引き起こしたりするおそれがあります。

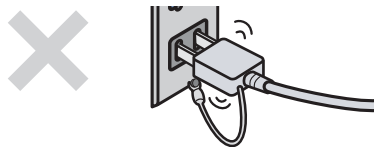
プリンターを一人で持ち上げない

プリンターの質量は約15.2kgです。（EPカートリッジ含まず）。プリンター側面の取っ手を持ち、プリンター前面に手を添えて2人以上で運んでください。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

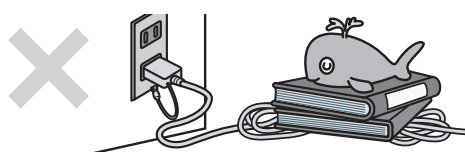
不安定な場所に置かない

プリンターを不安定な場所には置かないでください。プリンターが破損するおそれがあるばかりではなく、思わぬけがや周囲の破損の原因となることがあります。

専用電源コード以外は使わない

プリンターに添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コードに定格以上の電流が流れると火災になるおそれがあります。

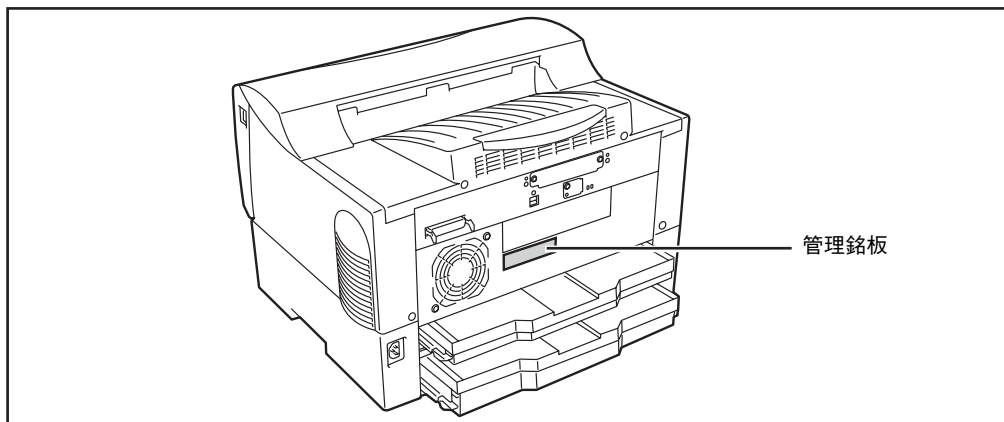
電源コードをたこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れると、コンセントが過熱して火災の原因となるおそれがあります。

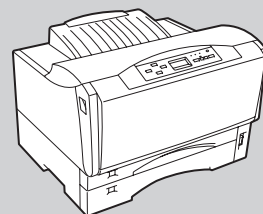
電源プラグを中途半端
に差し込まない

電源プラグはしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んだまま、ほこりがたまると接触不良の発熱による火災の原因となるおそれがあります。また、プラグ部分は時々抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってください。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災となることがあります。

電源コードは曲げたり
ねじったりしない

電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、ものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。またステープルなどで固定することも避けてください。コードが破損し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

保証について

プリンターには「保証書」が付いています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認して大切に保管してください。保証期間中に万一故障が発生した場合は、「保証書」の記載内容に基づき、無料修理します。詳細については「保証書」、および巻末の「保守サービスについて」をご覧ください。また、プリンターに添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス窓口へお問い合わせください。

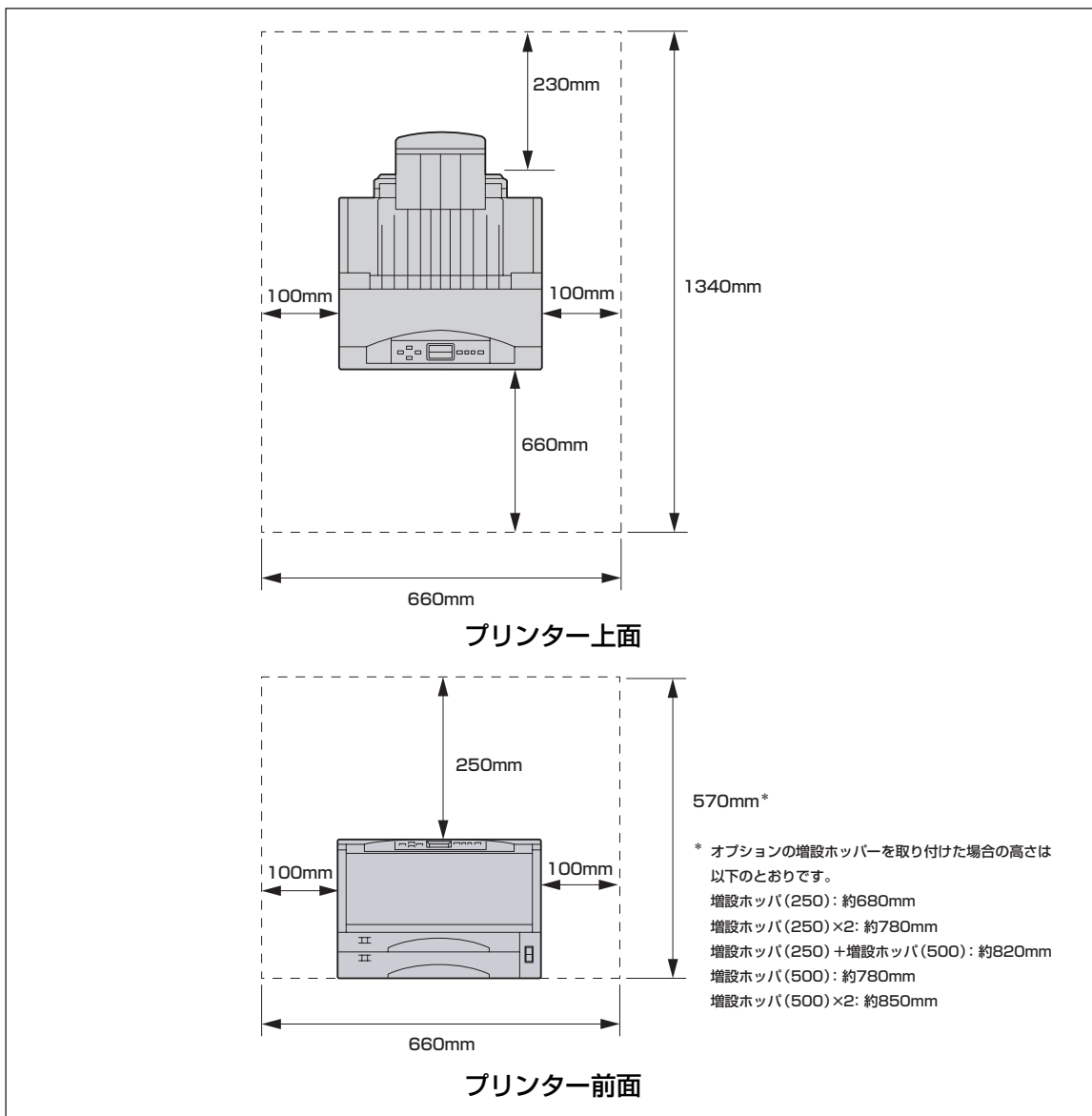
本体の背面に、製品の型式、SERIAL No.（製造番号）、定格、製造業者名、製造国が明記された管理銘板が貼ってあります（下図参照）。販売店またはサービス窓口にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。また、管理銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していないと、万一プリンターが保証期間内に故障した場合でも保証を受けられないことがあります。お問い合わせの前にご確認ください。

管理銘板の位置

1章
プリンターの設置

この章では、お買い上げになったプリンターの箱を開けてから、中身を確認し、テスト印刷、ネットワークでプリンターが使えるようになるまでを以下の手順で説明します。

1 設置に必要なスペースを用意する
2 箱の中身を確認する
3 固定用部材を取り外す
4 各部の名称を確認する
5 EPカートリッジを取り付ける
6 用紙をセットする
7 電源コードを接続する
8 テスト印刷をする

MultiWriter 2130はパラレルインターフェース接続、USBインターフェース接続、およびネットワーク接続ができます。お使いの環境や目的に合わせて接続してください(接続方法については「9 コンピューターに接続する」または「10 ネットワークに接続する」をご覧ください)。

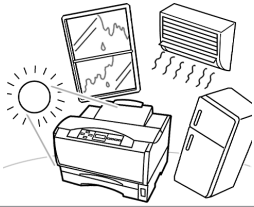
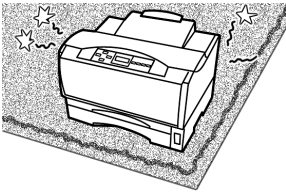
1 設置に必要なスペースを用意する

MultiWriter 2130を安全、快適にご使用いただくためには次ページの「設置してはいけない場所」をよくお読みになり、下図に示すスペースを確保してください。

⚠ 注意

プリンターを移動する際は、プリンター側面の取っ手を持ち、プリンター前面に手を添えて2人以上で運んでください。プリンターの質量は約15.2kgです(EPカートリッジ含まず)。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

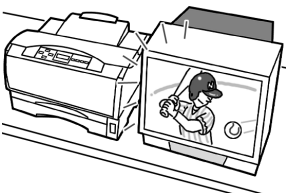
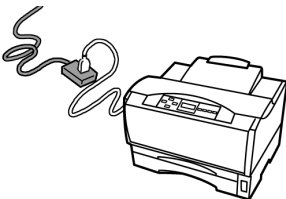
また、プリンターの重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。

設置してはいけない場所

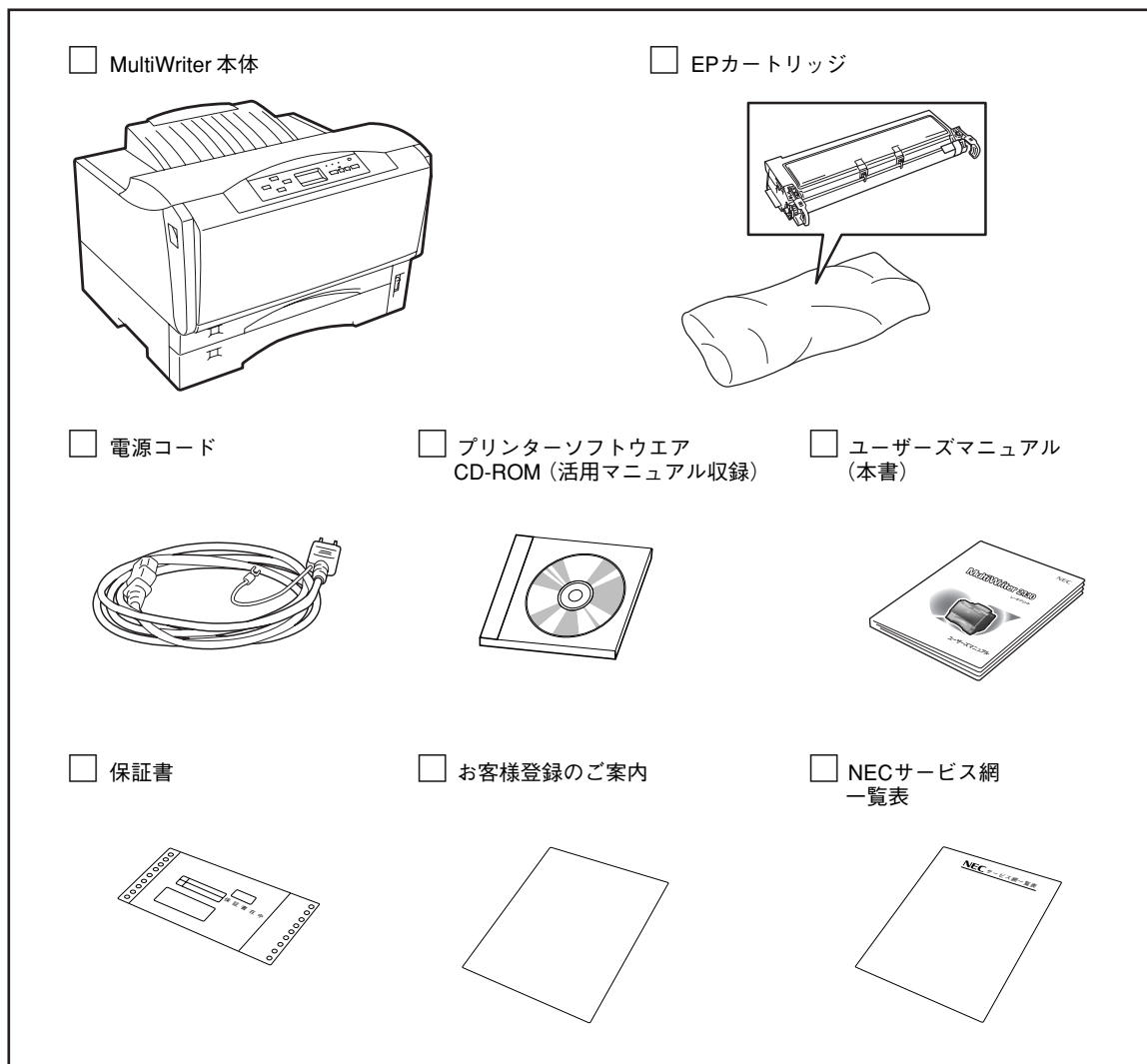
次のような場所には設置しないでください。

直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、温度変化の激しい場所（暖房器、エアコン、冷蔵庫などの近く）には設置しないでください。温度変化により結露現象が起こり故障の原因となることがあります。

じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害で装置が正しく動作しないことがあります。

強い振動の発生する場所に設置しないでください。装置が正しく動作しないことがあります。

腐食性ガスの発生する場所、薬品類がかかるおそれのある場所には設置しないでください。部品が変形したり傷んだりして装置が正しく動作しなくなることがあります。

上から物が落ちてきそうな場所には設置しないでください。衝撃などにより装置が正しく動作しなくなることがあります。

ラジオやテレビなどの近くには設置しないでください。プリンターのそばで使用すると、ラジオやテレビの受信機などに受信障害を与えることがあります。

添付の電源コードだけで、コンセントに届かない場所に設置しないでください。延長コードの過容量、延長コードへのコンセントの差し込みにより発熱するおそれがあります。

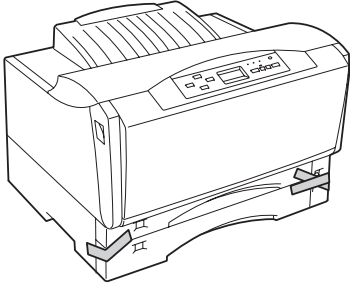
2 箱の中身を確認する

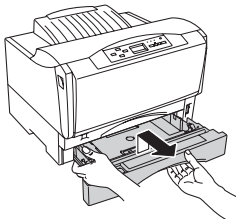
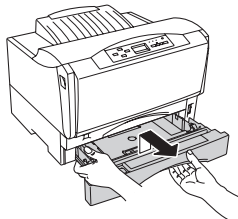
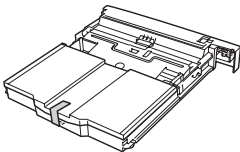
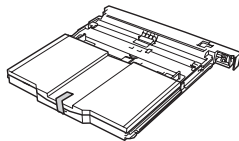
箱を開けて、まず次のものがすべてそろっていることを確認し、それぞれの点検を行ってください。万一足りないものや損傷しているものがある場合には、販売店に連絡してください。
梱包材料（箱や緩衝材など）はプリンターを運搬するときに必要となります。大切に保存しておいてください。

プリンターの箱を開けたら次のことを忘れずに行ってください

- お客様登録のご案内に従って購入されたプリンターのお客様登録をしてください。
- 保証書、NECサービス網一覧表をなくさないよう大切に保管してください。

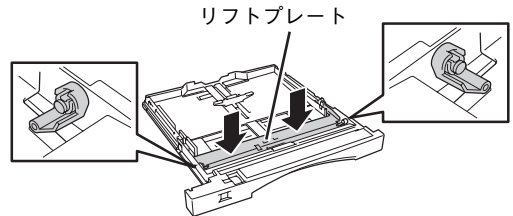
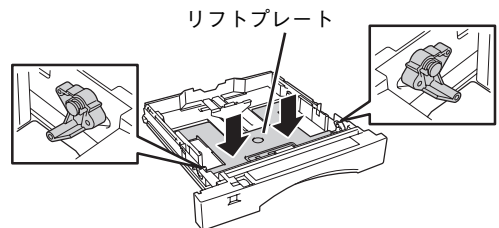
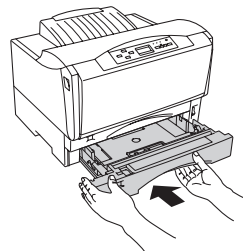
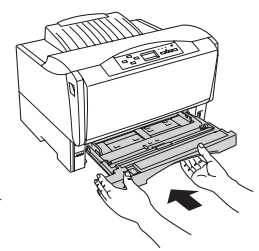
3 固定用部材を取り外す

プリンターは輸送中の損傷を防ぐために、動きやすい、あるいは外れやすい箇所をテープで固定してあります。次の手順に従ってテープを取り除きます。

❶ プリンターの外側に貼り付けられているテープ（3か所）をはがす。

❷ 標準カセット、MPカセットをゆっくりと取り外す。

カセットを取り外す際は、カセットを軽く持ち上げて取り外してください。

標準カセット（下）　MPカセット

❸ 標準カセット、MPカセットにそれぞれ貼り付けられているテープ（1か所）をはがす。

標準カセット　MPカセット

❹ MPカセット、標準カセットをそれぞれ取り付ける。

MPカセット、標準カセットを取り付ける前に、それぞれのカセット内のリフトプレートが確実に下がっていることを確認してください。

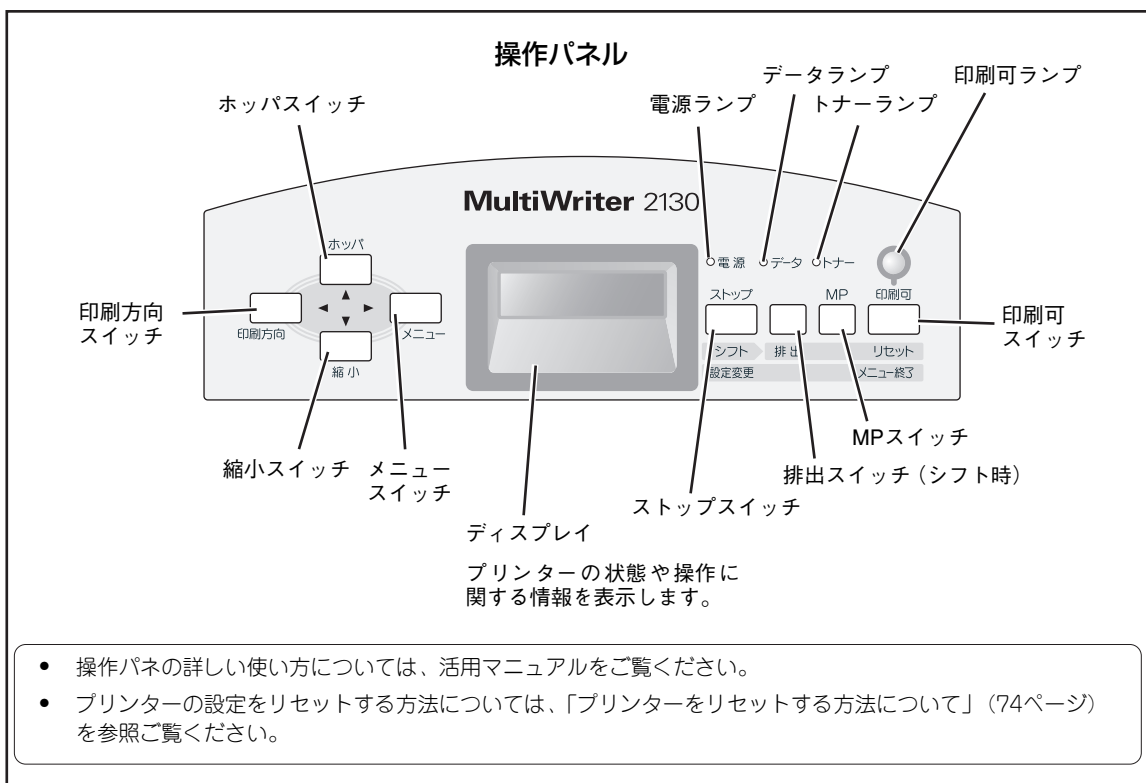
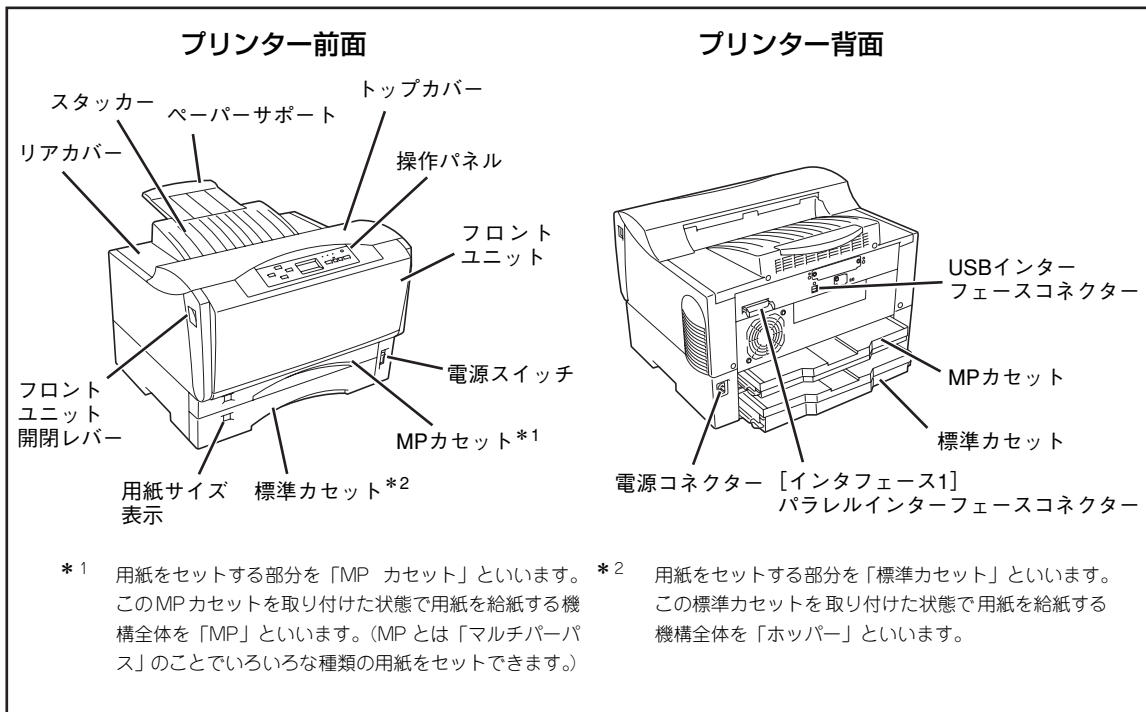
リフトプレートが完全に下がっていないと標準カセット、MPカセットをホッパー、MPにそれぞれ取り付けることはできません。

MPカセット

標準カセット

標準カセット　MPカセット

4 各部の名称を確認する

プリンターを使用する前に各部の名称と位置を確認してください。

＊1　用紙をセットする部分を「MP　カセット」といいます。このMPカセットを取り付けた状態で用紙を給紙する機構全体を「MP」といいます。（MPとは「マルチパーパス」のことでいろいろな種類の用紙をセットできます。）

＊2　用紙をセットする部分を「標準カセット」といいます。この標準カセットを取り付けた状態で用紙を給紙する機構全体を「ホッパー」といいます。

- 操作パネの詳しい使い方については、活用マニュアルをご覧ください。
- プリンターの設定をリセットする方法については、「プリンターをリセットする方法について」（74ページ）を参照ご覧ください。

5 EPカートリッジを取り付ける

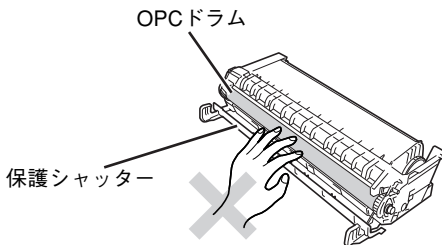
EPカートリッジは印刷を行うためのトナーやOPCドラム、現像ユニットなどが一体化されたものです。消耗品のため、印刷が薄くなったら交換します（交換手順については、5章の「EPカートリッジの交換」をご覧ください）。

ここではまず、添付のEPカートリッジを取り付ける手順を説明します。取り付けの際は、強い光が当たる場所を避け、できるだけ5分以内で作業を終了してください。

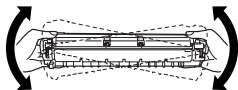
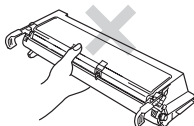
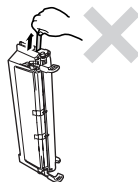
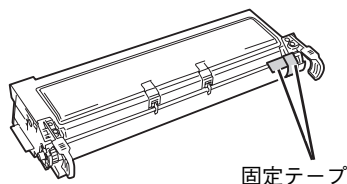
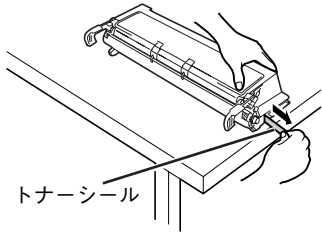
> **⚠注意**
> 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

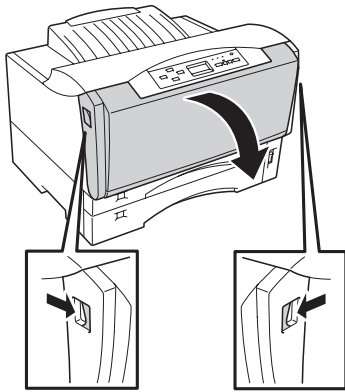
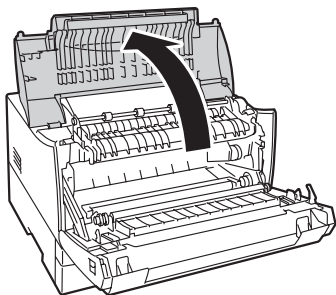
❶ EPカートリッジを袋から取り出す。

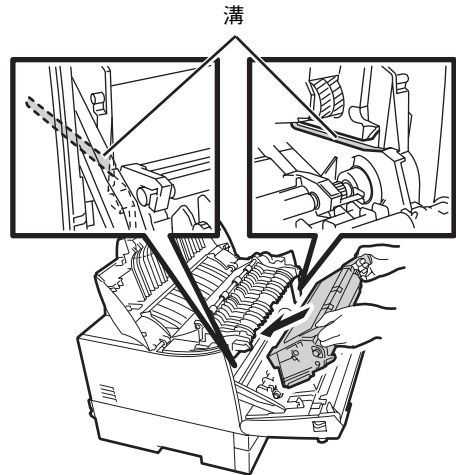
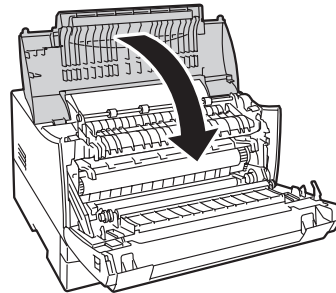
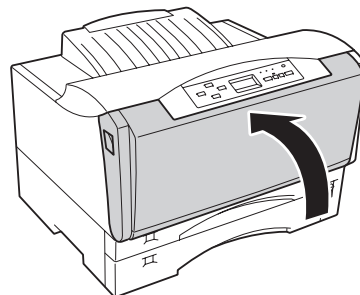
重要

EPカートリッジのOPCドラム保護シャッター、およびOPCドラムには触らないようにしてください。

❷ EPカートリッジのトナーを均一にするため、水平に持って10回程度、図に示す方向にゆっくり振る。

重要

- EPカートリッジは取っ手を持たず、図のように両端部を軽く持ってゆっくり振ってください。激しく振ると、落下やOPCドラムに傷がつくおそれがあります。

- EP カートリッジの中央部を持たないでください。

- EPカートリッジを立てた状態でトナーシールを引き抜かないでください。EPカートリッジを立てた状態でトナーシールを引くと途中で引き抜けなくなるか、切れてしまうおそれがあります。
もしトナーシールが途中で引き抜けなくなった状態、あるいは途中で切れた状態のままセットすると、印刷品質が劣化するばかりでなくプリンター本体に障害が生じることがあります。
- 正常に引き抜けた場合のトナーシールの長さは約70cmです。正常に引き抜けなかった場合は、プリンターを購入された販売店に連絡してください。
- トナーシールを引き抜くときに少量のトナーが出ることがあります。手や衣服などを汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についたら、水で洗い流してください。

❸ 保護シャッターを留めているテープ（1 か所）を上から下方向へはがす。

❹ EP カートリッジの取っ手を手前にして、机など水平な面に置いて、側面から出ているトナーシールの端を持ち、ゆっくり引き抜く。

❺ 左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくりと開ける。

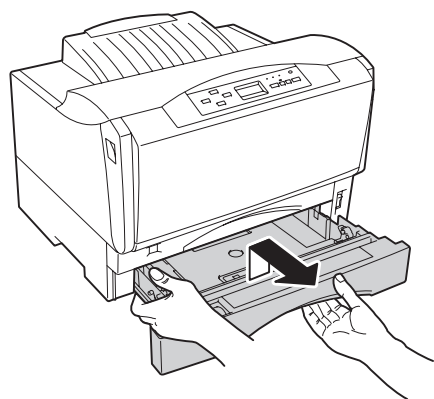
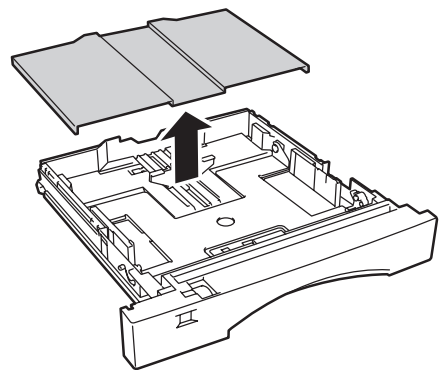
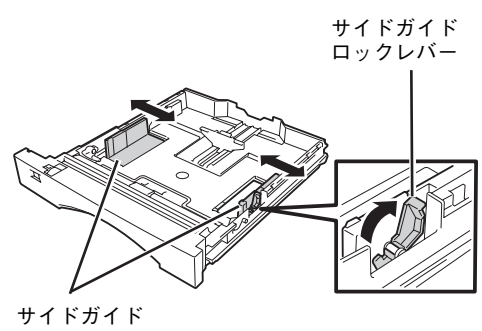
フロントユニットが開いて止まります。

❻ トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開ける。

❼ 図のようにEPカートリッジをプリンター正面に向けて、EPカートリッジの取っ手を持ちEPカートリッジの両側の突起部をプリンターの内側の溝に合わせてスライドさせ、セットする。

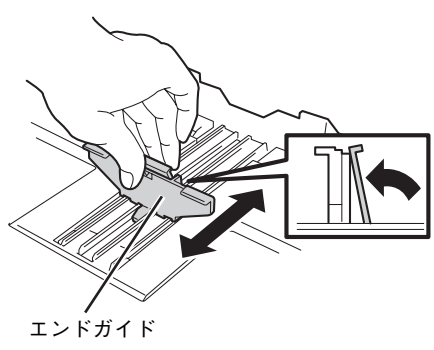
EPカートリッジが浮き上がっていたり、斜めになったりせず、確実に奥までセットされていることを確認してください。

❽ トップカバーをゆっくりと閉じる。

❾ フロントユニットをゆっくりと閉じる。

6 用紙をセットする

テスト印刷するためにA4サイズの用紙を横置きにホッパーにセットする手順を説明します。その他の用紙のセット方法、使用できる用紙については「3章 用紙のセット」(39ページ)をご覧ください。

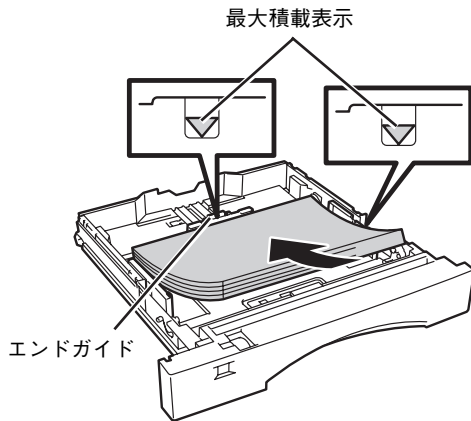
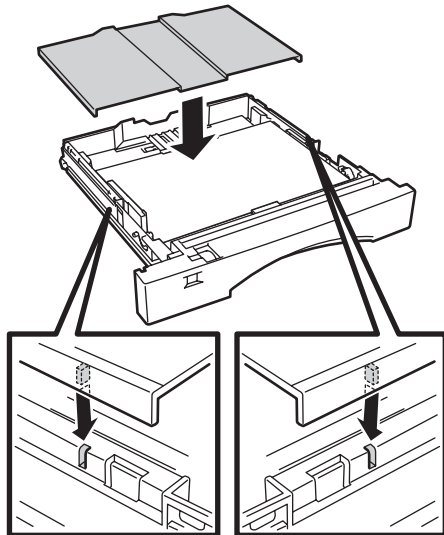
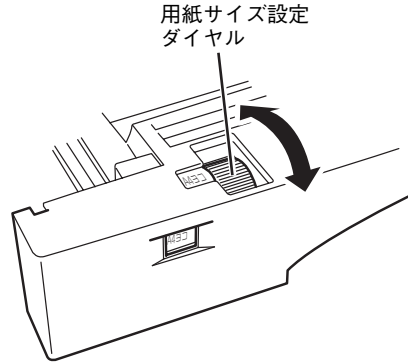
重要

プリンターにセットする用紙は、両面とも印刷されていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙をプリンターにセットしないでください。
一度印刷された用紙をセットして印刷すると、給紙できない、紙づまりになるなどプリンターの故障の原因となる場合があります。

❶ **標準カセットを両手で軽く持ち上げ、ゆっくりと取り外す。**

❷ **カセットカバーを取り外す。**

❸ **サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、「A4ヨコ」の表示に合わせる。**

❹ **エンドガイドをスライドさせ、「A4ヨコ」の表示に合わせる。**

エンドガイドは中央部のつまみを前に押しながらスライドさせます。

❺ 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

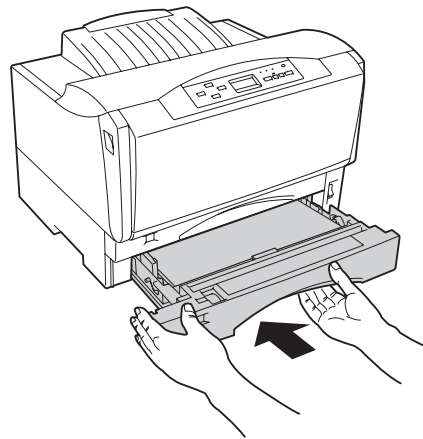
用紙を入れた後サイドガイドを再セットします。

- リフトプレートが下がっていることを確認してください。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示(▽)を越えないようにセットしてください。

❻ カセットカバーを標準カセットの溝に合わせて取り付ける。

❼ 用紙サイズ設定ダイヤルを「A4ヨコ」に設定する。

重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

❽ 標準カセットをプリンターに取り付ける。

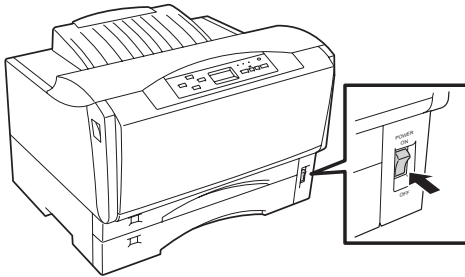
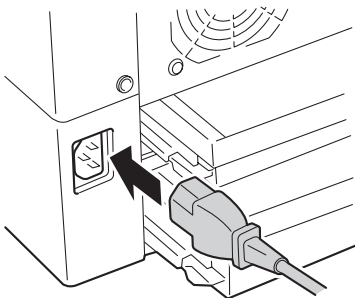
標準カセットは両手で持ち、ゆっくり差し込んでください。

重要

用紙をセットし終えた標準カセットは、重くなっています。取り付ける際は、標準カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

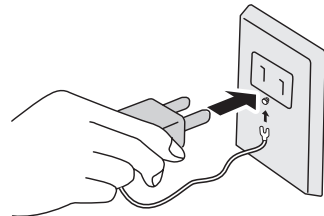
7 電源コードを接続する

警告

- 電源プラグは、定格電圧100Vで定格電流10A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本プリンターの定格電源は、100V、8.4Aとなっています。
- 電源プラグやコンセントに付着したほこりは、必ず取り除いてください。そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱による火災のおそれがあります。
- 万一、漏電した場合の感電や火災事故を防ぐため、アース線を必ず次のどれかに取り付けてください。
  - 電源コンセントのアース端子
  - 銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
  - 接地工事（D種）を行っている接地端子
- アース線の取り付けは、必ず電源プラグを電源コンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから外してから行ってください。
- 次のようなところにはアース線を接続しないでください。
  - ガス管（引火や爆発のおそれがあります。）
  - 電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れるおそれがあります。）
  - 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役割を果たしません。）

❶ **プリンターの電源スイッチがOFFになっていることを確認する。**

❷ **電源コードの三極プラグをプリンター背面の電源コネクターに差し込む。**

❸ **もう一方の電源プラグを壁付きコンセント（電流容量10A以上）に差し込む。**

重要

- 電源プラグは電流容量10A以上の壁付きコンセントに差し込んでください。
- プリンターの電源コードは、コンピューター本体の補助コンセントには接続しないでください。

8 テスト印刷をする

コンピューターに接続する前に、プリンターが正常に動くことを確かめるためにプリンターの操作パネルのスイッチを使って、テスト印刷をします（操作パネルについては4章をご覧ください）。また、あらかじめ「6 用紙をセットする」（15ページ）でA4サイズの用紙をホッパーにセットしてから行ってください。

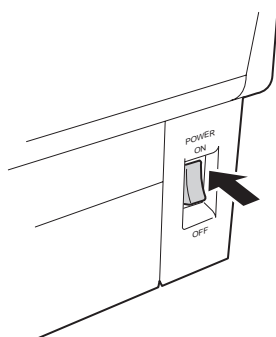
このテスト印刷は「6章 故障かな？と思ったら」の処置が終った後にも実行することをお勧めします。

印刷中は電源スイッチをOFFにしないでください。印刷中にOFFにすると紙づまりおよび故障の原因になります。

標準カセットにA4サイズの用紙がセットされていることを確認してください。

❶ **電源スイッチをONにする。**

ディスプレイに次のメッセージが順に表示されます。

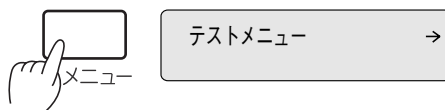
“イニシャライズチュウ”
“ウォームアップチュウ”

❷ **ブザーが2回鳴り、印刷可ランプが点灯することを確認する。**

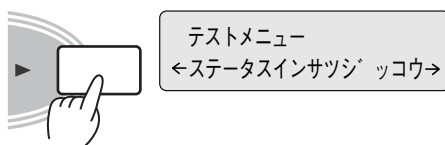
ホッパ　　A4ヨコ ポート
NPDL

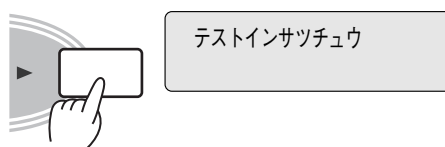
❸ **操作パネルの[印刷可]スイッチを押す。**

印刷可ランプが消灯します。

❹ **[メニュー]スイッチを押す。**

ディスプレイには“テストメニュー　→”と表示されます。

❺ **[▶]スイッチを押す。**

ディスプレイ下段には“←ステータスインサツジッコウ→”と表示されます。

❻ **[▶]スイッチを押す。**

データランプが点灯し、プリンターはテスト印刷を開始します。ディスプレイには“テストインサツチュウ”と表示されテスト印刷を開始します。

❼ 印刷結果を確認する。

＊＊　プリンタ環境設定　＊＊

MultiWriter2130
00000000

H/W情報

Version	エンジン	00．00
	コントローラ	00．00
給紙構成	ホッパ1	A４　横
	MP	A４　縦

メニュー情報

印刷設定メニュー	コピー枚数	1枚
	印字濃度	普通
用紙メニュー	ホッパ初期設定	ホッパ1
	用紙種別	
	MP	普通紙
	定形外用紙	
	MP	OFF
	リレー給紙設定	
	ホッパ1	OFF
	MP	OFF
	ジョブセパレート機能	無効
印字位置設定	ホッパ1微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
	MP微調整	
	TM　0mm	LM　0mm
運用メニュー	節電機能	有効
	節電時間設定	10分
	自動排出	無効
	メモリ設定	標準
	総印字枚数	1
フォントメニュー	1バイト系ゼロ	0
	2バイト系ゼロ	0
	ANK	標準
	漢字	明朝
	文字セット	JIS1978
	国別	日本

メモリ容量	12MB	
動作メニュー	動作エミュレーション	
	インタフェース1	NPDL
	USB	NPDL
	動作自動切り替え	
	インタフェース1	OFF
	USB	OFF
NPDL設定	A4ポート桁数	78桁
	エミュレーション	201PL
	136桁モード	無効
I/F設定	インタフェース1	
	双方向設定	ニブル
メモリスイッチ		12345678
	MSW1	00000000
	MSW2	00000000
	MSW3	00000000
	MSW4	00000000
	MSW5	00000000
	MSW6	00000000
	MSW7	00000000
	MSW8	00000000
	MSW9	00000000
	MSW10	00000000

ステータス印刷結果

これでテスト印刷は終了です。

次に、プリンターをコンピューターまたはネットワークへ接続します。

プリンターをコンピューターと接続するには「9 コンピューターに接続する」（次ページ）、プリンターをネットワークに接続するには「10 ネットワークに接続する」（21ページ）に進んでください。

9 コンピューターに接続する

ここでは、プリンターとコンピューターをプリンターケーブルで接続する方法を説明します。プリンターをネットワークへ接続してお使いになる場合は、「10 ネットワークに接続する」(次ページ)に進んでください。

本プリンターにはプリンターケーブルは添付しておりません。お使いになる環境に合わせて別途お買い求めになる必要があります。プリンターケーブルの種類については、「プリンターケーブル」(22ページ)をご覧になり、ご使用のコンピューターに合ったプリンターケーブルを確認してください。

重要

パソコン本体とプリンターとの接続は、当社指定のケーブルをご使用ください。指定以外のケーブルを使用したり、市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどを使用すると、機能の一部または全部が正常に動作しない場合があります。

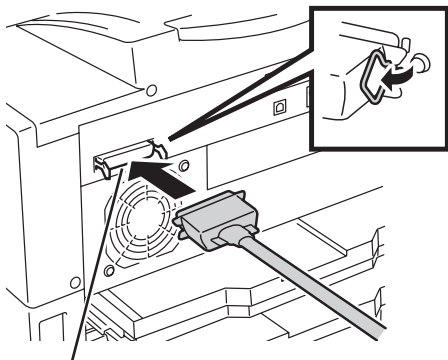
ケーブル接続について

本プリンターの背面にはパラレルインターフェースコネクターおよびUSBインターフェースコネクターがそれぞれ1つずつあります。プリンターケーブルを接続してお使いになれます。

❶ プリンターおよびコンピューターの電源をOFFにする。

❷ プリンターケーブルを接続する。

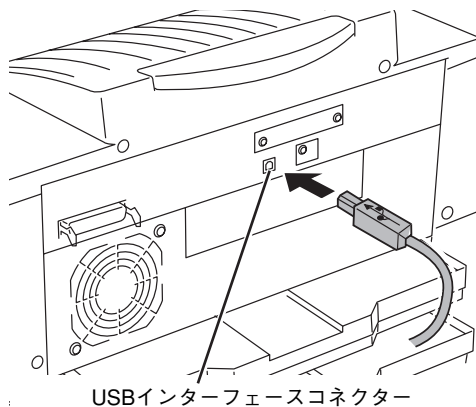
<パラレルインターフェースの場合>

① プリンターケーブルを[インタフェース1]コネクターに差し込み、コネクター両端のロックスプリングで固定します。

[インタフェース1] コネクター

② プリンターケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターに接続します。

コンピューターのインターフェースコネクターの位置については、コンピューターのマニュアルを参照してください。

<USBインターフェースの場合>

① USBケーブルをUSBインターフェースコネクターに差し込みます。

USBインターフェースコネクター

② USBケーブルのもう一方のコネクターをコンピューターに接続します。

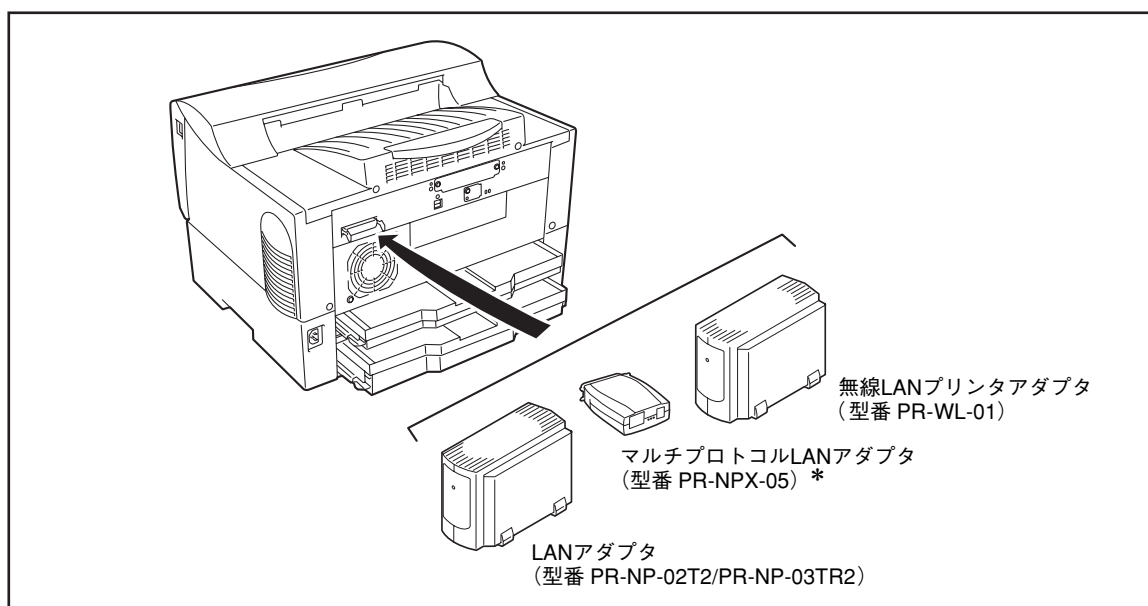
これでコンピューターへの接続は終了です。

次に、「2章 プリンターソフトウエアのインストール」(23ページ)に進み、ソフトウエアをインストールしてください。

10 ネットワークに接続する

MultiWriter 2130はオプションのLANアダプターを取り付けてネットワークに接続すれば、ネットワークプリンターとしてお使いになれます。さらに、オプションの無線LANプリンタアダプタ（型番 PR-WL-01）を取り付ければケーブルレスでネットワークに接続できます。

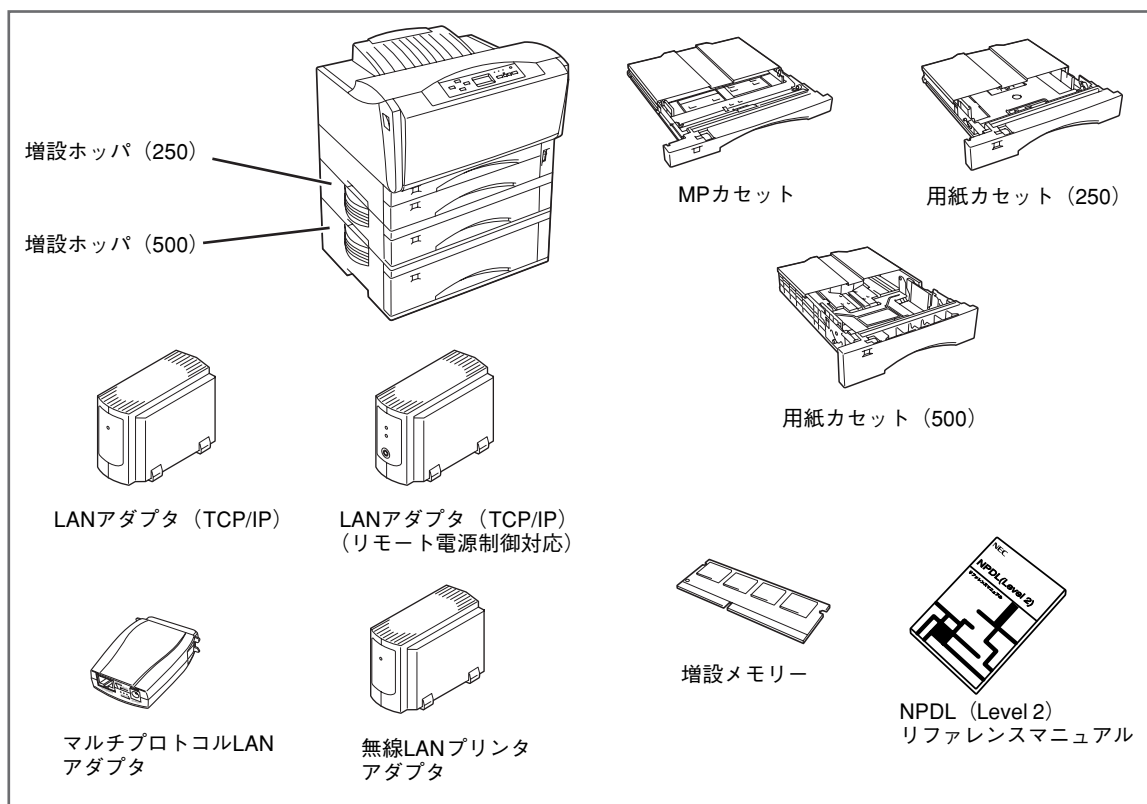
ネットワークに接続するには、以下の手順が必要です。それぞれの手順については、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている電子マニュアルの「活用マニュアル」かLANアダプターに添付の取扱説明書をご覧ください。

Step 1 LANアダプターを取り付ける（活用マニュアルの「オプション」を参照）
Step 2 ネットワークケーブルを接続する（活用マニュアルの「オプション」を参照）
Step 3 コンフィグレーションページを印刷する（活用マニュアルの「ネットワークでの設定」を参照）
Step 4 IPアドレスとサブネットマスクを設定する（活用マニュアルの「オプション」を参照）

ネットワークオプション取り付け例

ネットワークオプションの詳細については、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「1章 オプション」をご覧ください。

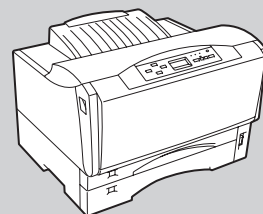
* マルチプロトコルLANアダプタ（型番 PR-NPX-05）はPrintAgent、SNMP（Printer MIB、Host Resource MIB）には対応していません。詳しくはPR-NPX-05のセットアップガイドをご覧ください。

オプション品の紹介

MultiWriter 2130には以下のようなオプションが用意されています。各オプションの詳細については、プリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「活用マニュアル」をご覧ください。

プリンターケーブル

使用できるコンピューターの種類については活用マニュアル（電子マニュアル）をご覧ください。

型　番	ケーブルの種類	説　明
PR-UCX-02	USBケーブル	プリンターのUSBインターフェースとコンピューターのUSBインターフェースを接続するためのケーブルです。ケーブルの長さは2m。
PC-PRCA-02	プリンターケーブル	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS対応機）用プリンターケーブルです。D-sub25ピン、ケーブルの長さは1.5m。
PC-CA202	プリンターケーブル	PC-9801シリーズ用プリンターケーブルです。ハーフピッチ36ピン、ケーブルの長さは1.5m。
PC-CA203	プリンターケーブル	PC-9801シリーズ用プリンターケーブルです。14ピン、ケーブルの長さは4m。
PC-CA204	プリンターケーブル	PC-9801シリーズ用プリンターケーブルです。ハーフピッチ36ピン、ケーブルの長さは4m。
PC-CA205	プリンターケーブル	PC98-NXシリーズ用プリンターケーブルです。D-sub 25ピン、ケーブルの長さは4m。

2章
プリンターソフトウエアのインストール

この章では、Windows XP*[1]、Windows Me、Windows 98*[2]、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0 日本語版環境にプリンターソフトウエアをインストールし、プリンターを指定するまでの手順について説明します。また、その他の環境で使用する際の設定も説明します。

重要

- MultiWriter のプリンターソフトウエアを正しくインストールするためには、インストールする前に「PrintAgentを正しく動作させるために」（75ページ）をお読みください。
- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- プリンターソフトウエアCD-ROMについては、ご使用になる前にメニュープログラムの「はじめに」をお読みください。

- **Windows Server 2003をお使いのお客様へ**

  Windows Server 2003をお使いのお客様は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

- **フロッピーディスクでインストールする場合**

  フロッピーディスクの作成手順については活用マニュアル「ユーザーサービス」をご覧ください。本書ではCD-ROMを使った手順で説明しています。プリンターソフトウエアCD-ROMから作成したプリンターソフトウエアディスクを使用してインストールをする場合、インストールの途中でフロッピーディスクの交換を求める画面が表示されることがあります。その場合は画面の指示に従ってフロッピーディスクの入れ替えを行ってください。

＊1　以下、本書で Windows XP と表記している場合は、Windows XP Home Edition と Professional を含みます。
＊2　以下、本書で Windows 98 と表記している場合は、Windows 98 Second Edition を含みます。

プリンターソフトウエアの動作環境

MultiWriter 2130に添付のプリンターソフトウエアの動作環境は以下のとおりです。

接続方法	動作コンピューター＊1	対応OS	メモリー
パラレルインタフェース	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP＊2（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows 95（日本語版） Windows Server 2003＊3（日本語版） Windows 2000（日本語版） Windows NT 4.0（日本語版）	OSの動作条件に準じます。
	PC-9800シリーズ		
USB インターフェース＊4	PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機）	Windows XP＊2（日本語版） Windows Me（日本語版） Windows 98（日本語版） Windows 98 Second Edition（日本語版） Windows Server 2003＊3（日本語版） Windows 2000（日本語版）	

＊1 OSによって動作するコンピューター条件が異なります。詳しい動作条件は各OSのマニュアルを参照してください。

＊2 Windows XP 64-Bit Editionには対応していません。

＊3 64ビットバージョン Windows Server 2003には対応していません。

＊4 USBインターフェース接続において、OSのアップグレードの組み合わせによっては正常に動作しない場合があります。

メモリーについては、PrintAgentをクライアントーサーバーシステムでご使用の場合、プリントサーバーには64Mバイト以上（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は256Mバイト以上）にメモリーを増設し運用することを推奨します。

プリンターソフトウエアの容量

プリンターソフトウエアをインストールするのに必要なハードディスク容量は次のとおりです。インストールする前に以下の表で確認してください。

インストール方法	Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000 日本語版	Windows Me、Windows 98、Windows 95 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版
PrintAgentを含む標準設定	約11.5MB	約11.0MB	約12.0MB
PrintAgentを含む一般ユーザー向け（最大）	最大 約15.0MB	最大 約14.5MB	最大 約15.5MB
PrintAgentを含む管理者向け	最大 約17.0MB	最大 約16.5MB	最大 約17.5MB
プリンタードライバーのみ	約4.0MB	約3.5MB	約4.5MB

インストール方法の選択

プリンターソフトウエアをコンピューターにインストールする前に、お使いになるコンピューターの条件に従ってインストール方法を選択します。以下の条件を確認して、それぞれのページへ進んでください。

なお、プリンターを管理したり、オプションのLANアダプターの設定を行う場合は、「管理者インストール」をする必要があります。インストール手順については、添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアル2章の「プリンター管理者用インストール」をご覧ください。

- **コンピューターとケーブルで接続する**

USB ケーブルで接続する場合		
ご使用のOSは・・・ Windows XP、 Windows Server 2003、 Windows Me、 Windows 98、 Windows 2000	⇒	「USBインターフェース接続によるインストール」（31ページ）へ進んでください。
パラレルインターフェースケーブル（プリンターケーブル）で接続する場合		
プリンタードライバーとPrintAgentを共にインストールする	⇒	『「インストールプログラム」からの インストール（26ページ）』へ進んでください。
プラグ・アンド・プレイ*でインストールする	⇒	活用マニュアル2章の「パラレルインターフェース接続によるインストール」へ進んでください。

- **ネットワークで接続する**

プリンタードライバーと PrintAgent を共にインストールする		
『「インストールプログラム」からの インストール（26ページ）』へ進んでください。		
プリンタードライバーのみインストールする		
ネットワーク接続に［NEC TCP/IP Port］を使用する	⇒	『「インストールプログラム」からの インストール（26ページ）』へ進み、接続先に［NEC TCP/IP Port］を選択して、PrintAgentのインストール選択手順で［インストールを選択しない］を選択してインストールしてください。
ネットワーク接続にOSがもつLPR機能を使用する	⇒	活用マニュアル3章の「接続先の設定とプリンタードライバーのインストール」へ進んでください。
ターミナルサービスを使用する		
活用マニュアル3章の「ターミナルサービス環境」へ進んでください。		

- **MS-DOS環境でご使用の場合**

  活用マニュアル2章の「日本語MS-DOS環境」へ進んでください。

* 「プラグ・アンド・プレイ」機能とは、Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000がインストールされているコンピューターで新しい周辺機器などを接続すると、コンピューターの起動時や接続時にその周辺機器を検出し、自動的にインストールが実行される機能です。

「インストールプログラム」からのインストール

Windows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で動作しているコンピューターでMultiWriterをご利用になる場合、プリンターソフトウエアCD-ROMのインストールプログラムを使ってプリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）をインストールします。プリンターソフトウエアCD-ROMはドライブに挿入するだけで自動的にメニュープログラムが起動します。

- パラレルインターフェースで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、[ローカルポート]を選択します。
- LANアダプターで接続されたプリンターに印刷を行う場合は、以下の手順でインストールを行い、手順❼で、[NEC TCP/IP Port]を選択します。*

* マルチプロトコルLANアダプタ（PR-NPX-05）は対応していません。[ローカルポート］を選択し、インストールしてください。マルチプロトコルLANアダプタ（PR-NPX-05）に接続する設定は添付されているセットアップガイドを参照してください。

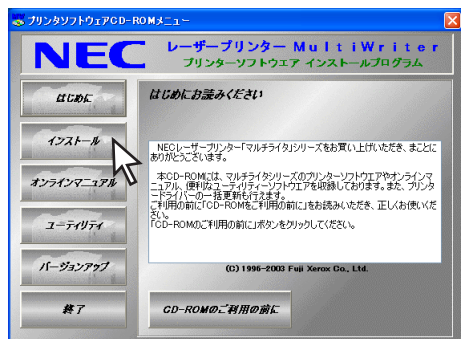
ここではWindows XP 日本語版を例にとり、プリンターケーブルで接続している場合のプリンターソフトウエア（プリンタードライバーおよびPrintAgent）のインストール手順を説明します。

Windows XPにインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にインストールするには、[Administrators]または[Domain Admins]グループのメンバーである必要があります。

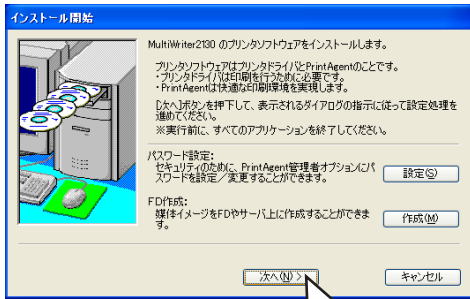
❶ **Windows XP 日本語版を起動する。**

❷ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

[プリンタソフトウェアCD-ROMメニュー]が起動します。

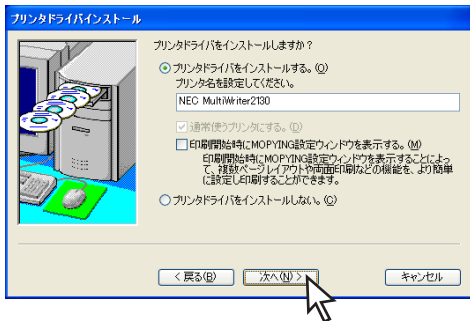
お使いのコンピューターによっては、自動的にメニュープログラムが立ち上がらない場合があります。その場合はCD-ROMのルートディレクトリーにある「MWSETUP.exe」を実行してください。

❸ **[インストール]をクリックする。**

❹ **右側のボックスから[MultiWriter2130]を選んで[インストール開始]をクリックする。**

お使いのOSにインストール可能なプリンター名が表示されます。

❺ [次へ]をクリックする。

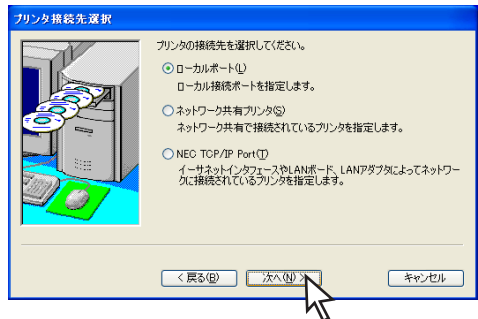
はじめに、プリンタードライバーをインストールする設定を行います。

❻ [プリンタドライバをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

[プリンタドライバをインストールしない]を選んだ場合は、手順❾へ進んでください。

MOPYING設定ウィンドウを表示させるには、ここで[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]をチェックしてください。

MOPYING設定ウィンドウの詳細については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの「¥MW2130¥Disk1¥Drivers.txt」を参照してください。

❼ プリンターの接続先を選ぶ。

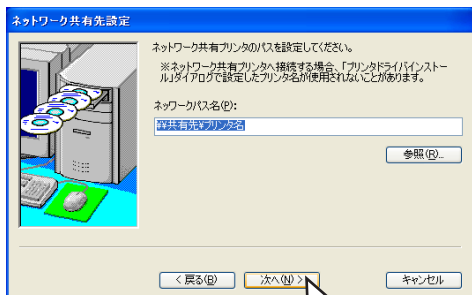
ネットワーク接続されていない場合はこのダイアログボックスは表示されません。次の「[ローカルポート]を選んだ場合」へ進んでください。

- [ローカルポート]は、コンピューターがプリンターとプリンターケーブルで接続されているときに選びます。
- [ネットワーク共有プリンタ]は、プリンターがプリントサーバー上に共有されているときに選びます。
- [NEC TCP/IP Port]は、プリンターとLANアダプターが接続され、ネットワーク上に接続されているときに選びます。

<[ローカルポート]を選んだ場合>

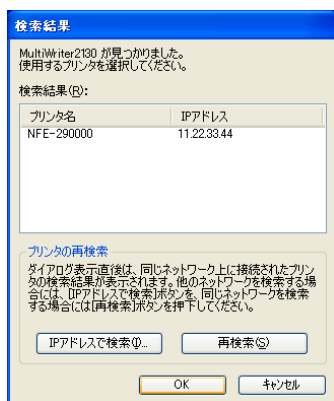
希望するポートを選び[次へ]をクリックする。
手順❽へ進んでください。

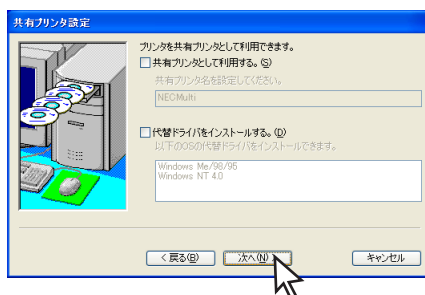
<[ネットワーク共有プリンタ]を選んだ場合>

プリンターの接続先を指定し、[次へ]をクリックする。

プリンターの接続先を[ネットワークパス名]に直接入力するか、[参照]をクリックして表示される一覧から指定します。
手順❾へ進んでください。

<[NEC TCP/IP Port]を選んだ場合>

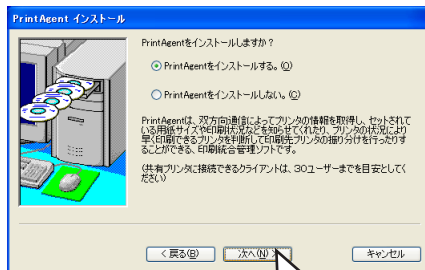
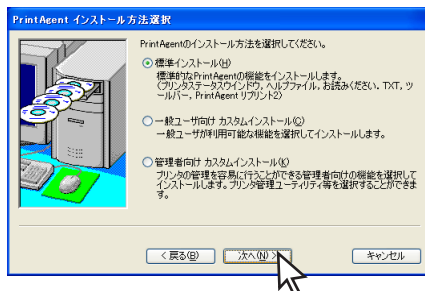
LANアダプターのIPアドレス、またはホスト名を設定し、[次へ]をクリックする。

> **IPアドレスを設定する場合**
>
> [検索]をクリックします。検索結果ダイアログボックスで使用するプリンターを選択し、[OK]をクリックすると簡単にIPアドレスが設定できます。

❽ [次へ]をクリックする。

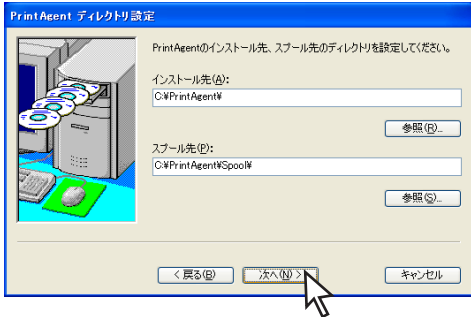
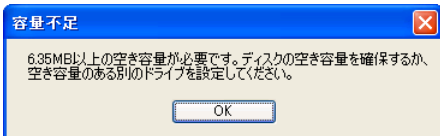
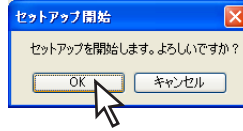
ネットワークに接続され、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0をご利用の場合は、次のダイアログボックスが表示されます。
このダイアログボックスが表示されない場合は、次の手順❾へ進んでください。

すでに代替ドライバーがインストールされている場合はリストに表示されません。

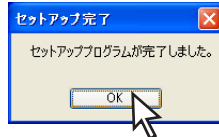
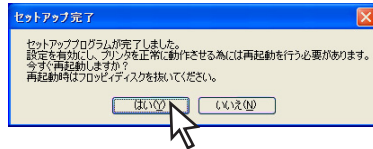
続いて、PrintAgentのインストールを行います。

❾ [PrintAgentをインストールする]を選び、[次へ]をクリックする。

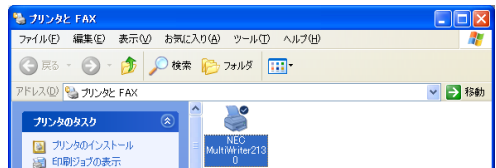
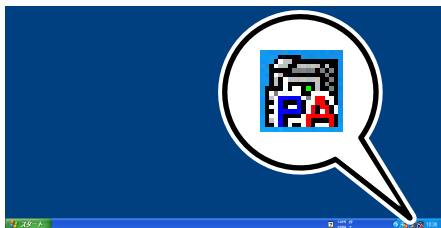
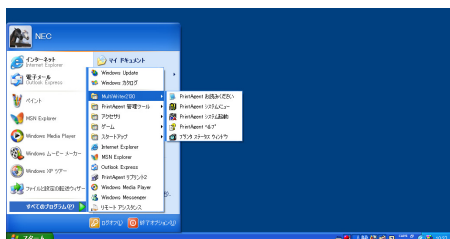
[PrintAgentをインストールしない]を選んだときは、手順⓬へ進んでください。

❿ 使用目的に応じて[標準インストール]または[一般ユーザ向けカスタムインストール]のインストール方法を選び、[次へ]をクリックする。

[一般ユーザ向けカスタムインストール]を選ぶと、標準的なソフトウエアの項目が表示されます。インストールする項目にチェックを付けて[次へ]をクリックしてください。[全追加]をクリックするとすべてチェックが付きます。[全削除]をクリックするとすべてチェックが外れます。

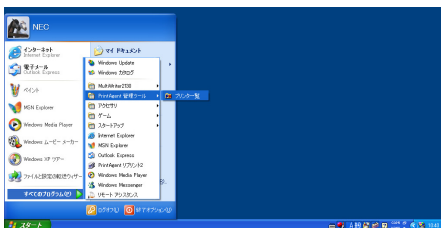
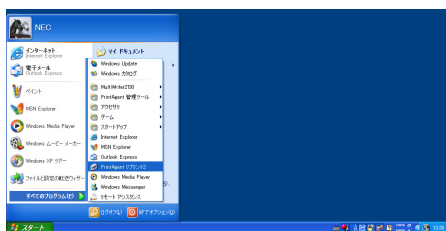
⓫ PrintAgentのインストール先とスプールファイルの作成先を指定する。フォルダーを確認して[次へ]をクリックする。

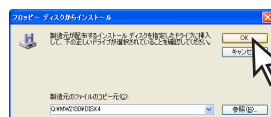
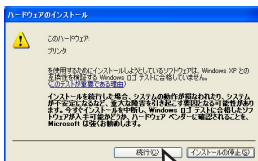
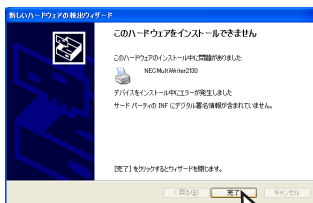
すでに他の機種のPrintAgentがインストールされているときはこのダイアログボックスは表示されません。手順⓬へ進んでください。

次のメッセージが出たときはインストール先のディスク空き容量が少なくなっています。フォルダーを変更する、または不要なファイルを削除してください。

⓬ 設定した内容を確認し、[完了]をクリックする。

⓭ [OK]をクリックする。

⓮ インストールが終了したら[OK]をクリックする。

再起動を促すダイアログボックスが表示された場合は、画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。

⓯ プリンターソフトウエアが正常にインストールされていることを確認する。

カスタムインストールでインストールを行った場合、選択されたオプションによっては登録されているアイコンが異なります。

☐ [プリンタ]フォルダー内に、[NEC MultiWriter2130]アイコンが登録されている。

□ タスクバーのトレイに、[PrintAgentシステム]アイコンが登録されている。

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[MultiWriter2130]というフォルダーが追加され、その下にPrintAgent関連のアイコンが登録されている。

Windows XP、Windows Server 2003以外の場合は、スタートメニューの[プログラム]から確認することができます。

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]に[PrintAgent管理ツール]というフォルダーが追加され、[プリンター覧]が登録されている。(カスタムインストールでプリンター覧を選択した場合)

□ スタートメニューの[すべてのプログラム]の下に[PrintAgentリプリント2]が登録されている。

Windows XP、Windows Server 2003をご使用の場合、プリンターソフトウエアをインストール後にプリンターケーブルでプリンターを接続すると「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されることがあります。この時は、以下のOSの手順に従ってプリンタードライバーを再びインストールしてください。この場合、[プリンタとFAX]フォルダーに新たなプリンターアイコンは作成されません。
手順は「USBインターフェース接続によるインストール」(31ページ)の手順❶~手順❺を行った後に、以下の手順に従ってください。

6. [新しいハードウェアの検出ウィザード]ダイアログボックスで[ディスク使用]をクリックする。
7. プリンターソフトウエア CD-ROM をセットする。
8. [フロッピーディスクからのインストール]ダイアログボックスでファイルのコピー元を指定して、[OK]をクリックする。ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン(:)、円記号(¥)に続けて「MW2130¥DISK4」と入力し、[OK]をクリックします。

9. [新しいハードウェアの検出ウィザード]ダイアログボックスで[次へ]をクリックする。
10. [ハードウェアのインストール]ダイアログボックスで[続行]をクリックする。

11. [新しいハードウェアの検出ウィザード]ダイアログボックスで[完了]をクリックする。

USBインターフェース接続によるインストール

ここでは、USBインターフェースでプリンターに接続したときのプリンターソフトウエアをインストールする手順について説明します。パラレルインターフェースで接続した場合の「プラグ・アンド・プレイ」機能を使ったインストール手順については、活用マニュアルの「2章 プリンターソフトウエアのインストール」を参照してください。

Windows XP、Windows Server 2003 日本語版

ここでは、Windows XP 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を例にとって説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2130の電源をONにする。**

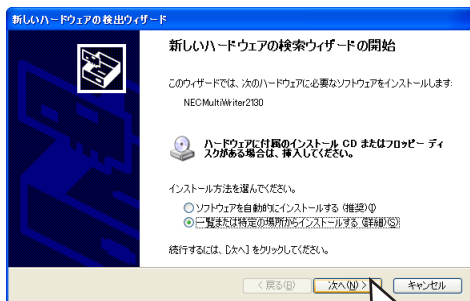
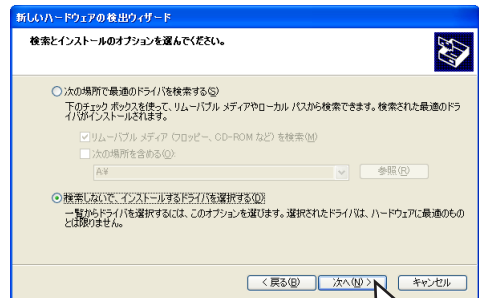
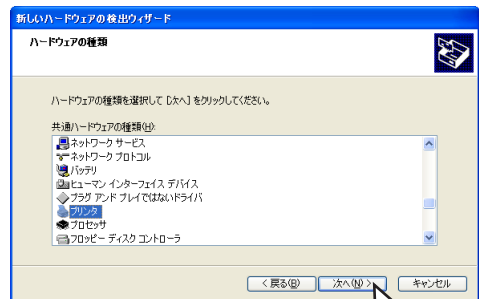
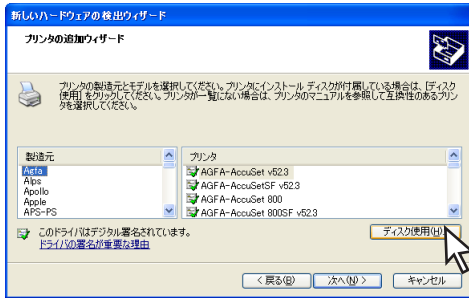
❸ **コンピューターの電源をONにする。**

Windows XP 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検出画面が表示されます。

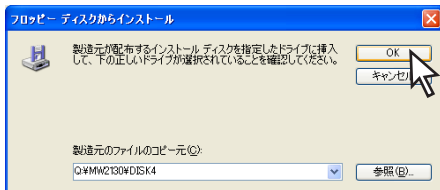
❹ **[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）]を選び、[次へ]をクリックする。**

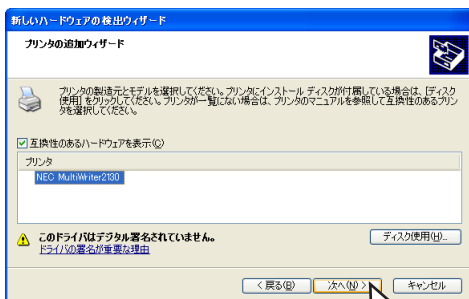
このダイアログボックスが表示されなかった場合、26ページの『「インストールプログラム」からの インストール』を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ **[検索しないでインストールするドライバを選択する]を選び、[次へ]をクリックする。**

❻ **[プリンタ]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ [ディスク使用]をクリックする。

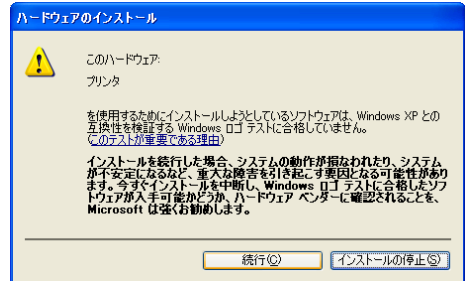
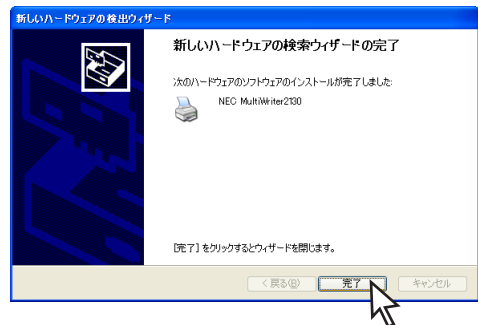
❽ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❾ ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。

ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「MW2130￥DISK4」と入力します。

❿ 使用するプリンター名を選び、[次へ]をクリックする。

インストールを開始します。

以下の[ハードウェアのインストール]ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[続行]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[インストールの停止]をクリックした場合はインストールが中止されます。

⓫ [完了]をクリックする。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（27ページ）で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

Windows Me 日本語版

ここでは、Windows Me 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します

❶ **USBケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2130の電源をONにする。**

❸ **コンピューターの電源をONにする。**

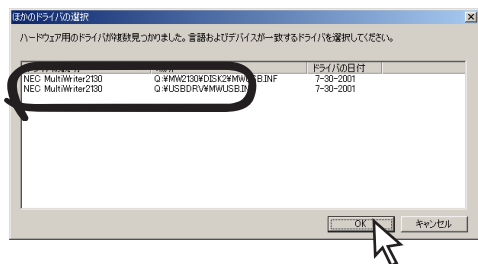
Windows Me 日本語版を起動します。

［新しいハードウェア］ダイアログボックスが表示された後、［新しいハードウェアの追加ウィザード］が表示されます。

❹ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❺ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

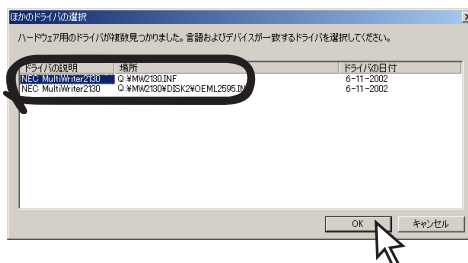
USBドライバーのインストールが開始されます。このダイアログボックスが表示されなかった場合は、次ページの「［新しいハードウェアの追加］ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

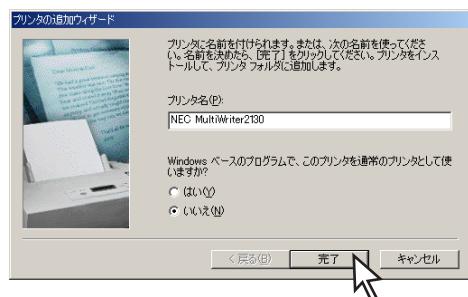
❻ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのドライブでフォルダー名「USBDRV」を選んで、［OK］をクリックする。**

❼ **インストールされたことを確認し、［完了］をクリックする。**

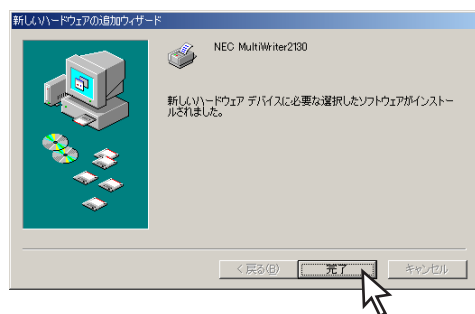
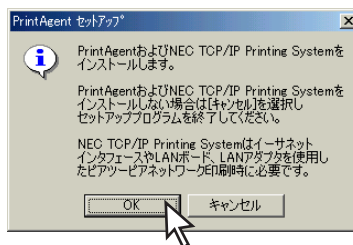
❽ **［適切なドライバを自動的に検索する］を選び、［次へ］をクリックする。**

このダイアログボックスが表示されなかった場合、26ページの『「インストールプログラム」からのインストール』を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❾ **選択項目の中の［場所］がCD-ROMのルートを示しているドライバーを選択して、［OK］をクリックする。**

❿ **プリンター名を確認し、［完了］をクリックする。**

プリンタードライバーのインストールが開始されます。

⓫ **[完了]をクリックする。**

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⓬ **PrintAgent をインストールする場合は［OK］をクリックする。**

このあとは27ページの手順❺からと同じです。
PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

[新しいハードウェアの追加]ダイアログボックスが表示されなかった場合

以下の手順を終了した後、再びUSBケーブルを接続する手順を行ってください。

❶ **[コントロールパネル]フォルダーを開く。**

❷ **[システム]アイコンをダブルクリックする。**

❸ **[デバイスマネージャ]シートをクリックする。**

❹ **[その他のデバイス]で？マークの[MultiWriter2130]を選択し、[削除]をクリックする。**

❺ **USBケーブルを取り外す。**

❻ **削除されたことを確認して、USB ケーブルを接続する。**

Windows 98 日本語版

ここでは、Windows 98 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

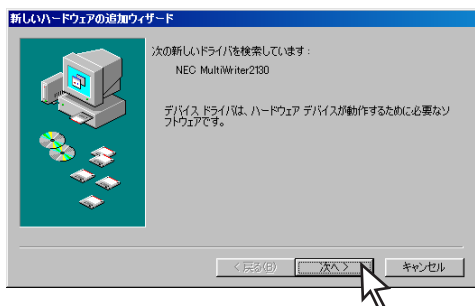
❶ USBケーブルを接続する。

❷ MultiWriter 2130の電源をONにする。

❸ コンピューターの電源をONにする。

Windows 98 日本語版を起動します。

USBデバイス検出画面が表示されます。

❹ プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。

❺ [次へ]をクリックする。

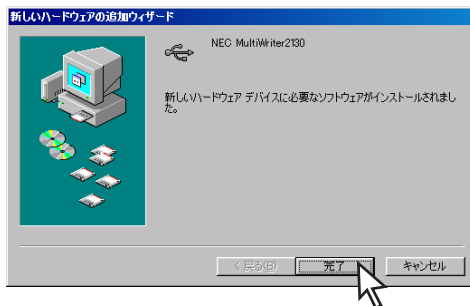
このダイアログボックスが表示されなかった場合は、前のページの「[新しいハードウェアの追加]ダイアログボックスが表示されなかった場合」の手順を行った後、手順❺からやり直してください。

❻ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。

❼ USBドライバーの検索場所を指定し、[次へ]をクリックする。

[検索場所]をチェックし、CD-ROMのドライブ名、「¥USBDRV」を入力します。

❽ デバイス名を確認し、[次へ]をクリックする。

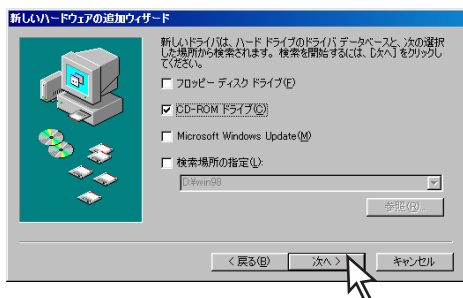
USBドライバーのインストールが開始されます。

❾ [完了]をクリックする。

⑩ [次へ]をクリックする。

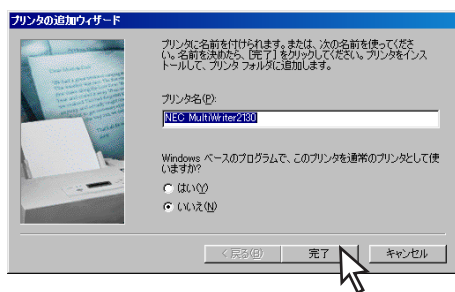
このダイアログボックスが表示されなかった場合、26ページの『「インストールプログラム」からの インストール』を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

⑪ [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。

⑫ 選択項目の中から[CD-ROM ドライブ]をチェックして[次へ]をクリックする。

⑬ [次へ]をクリックする。

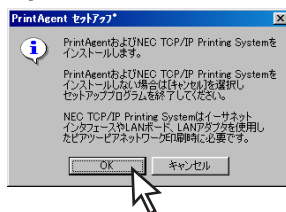
⑭ プリンターの名前を確認して、[完了]をクリックする。

プリンタードライバーのインストールが始まります。

⑮ [完了]をクリックする。

先に[PrintAgentセットアップ]ダイアログボックスが表示されますが、ここでの手順を終了した後、次の手順へ進んでください。

⑯ PrintAgent をインストールする場合は [OK]をクリックする。

このあとは27ページの手順❺からと同じです。

PrintAgentをインストールしない場合は、[キャンセル]をクリックし、インストールを終了します。

Windows 2000 日本語版

ここでは、Windows 2000 日本語版にプリンターソフトウエアをインストールする手順を説明します。

❶ **USBケーブルを接続する。**

❷ **MultiWriter 2130の電源をONにする。**

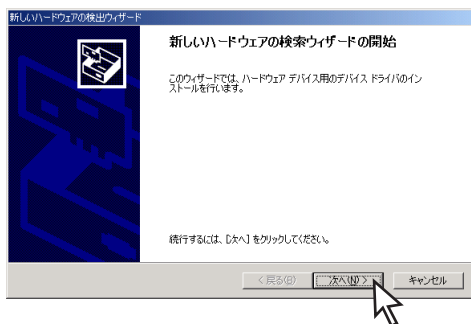
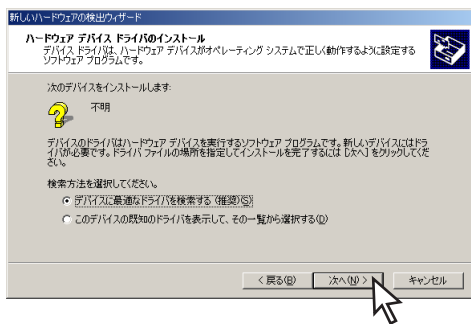
❸ **コンピューターの電源をONにする。**

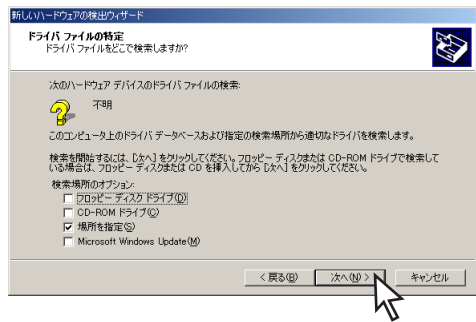
Windows 2000 日本語版を起動します。

新しいハードウェアの検索ウィザード画面が表示されます。

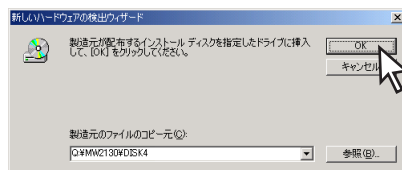
❹ **[次へ]をクリックする。**

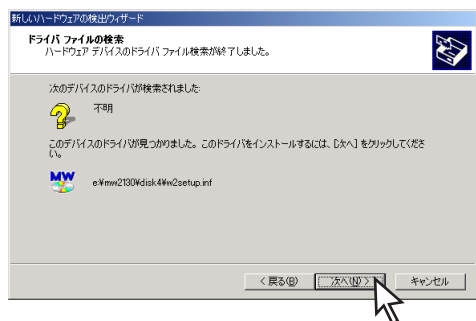
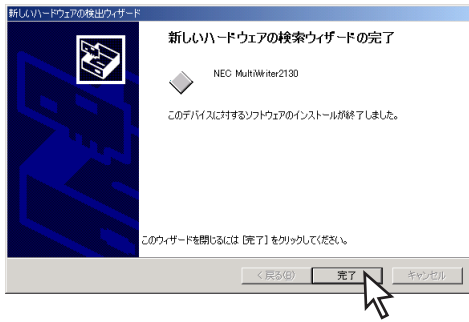
このダイアログボックスが表示されなかった場合、26ページの『「インストールプログラム」からの インストール』を行ってください。

接続先のポート名は「USBXXX」になります。

❺ **[デバイスに最適なドライバを検索する]を選び、[次へ]をクリックする。**

既に一度プリンタードライバーをインストールしたコンピューターの場合、[NEC MultiWriter2130] が表示されます。

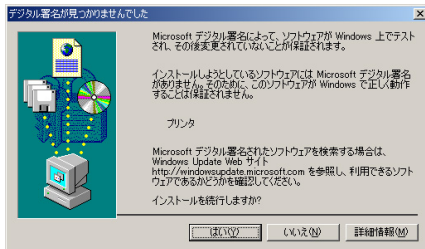
❻ **[場所を指定]を選び、[次へ]をクリックする。**

❼ **プリンターソフトウエアCD-ROMをセットする。**

❽ **ファイルのコピー元を指定し、[OK]をクリックする。**

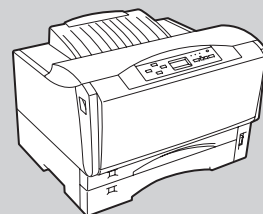
ファイルの指定は、CD-ROMドライブ名、コロン（:）、円記号（¥）に続けて「MW2130¥DISK4」と入力します。

❾ **内容を確認し、[次へ]をクリックする。**

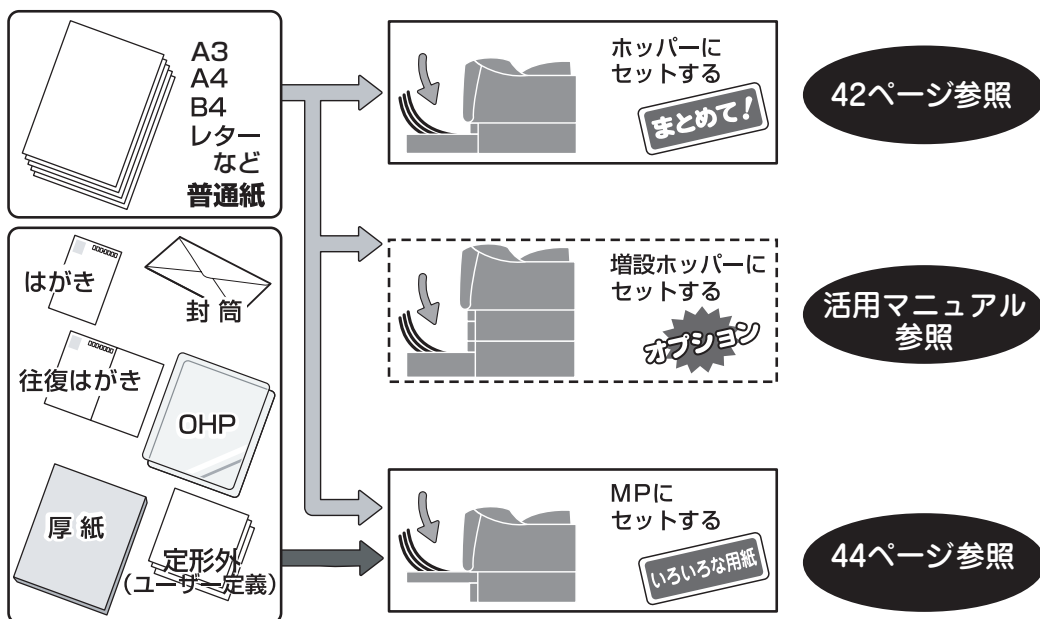
インストールを開始します。

❿ **[完了]をクリックする。**

[デジタル署名が見つかりませんでした]とメッセージダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンターソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。

[はい]をクリックし、インストールを続行してください。

なお、[いいえ]をクリックした場合はインストールが中止されます。

これでプリンタードライバーのインストールは完了です。

次にPrintAgentをインストールするには、『「インストールプログラム」からのインストール』の手順❻（27ページ）で[プリンタドライバをインストールしない。]を選んだ場合の手順に従ってインストールしてください。

3章
用紙のセット

この章では、MultiWriter 2130で使用できる用紙、用紙のセット方法について説明します。
MultiWriter 2130は給紙機構（ホッパー、MP）をもつプリンターです。用途に合わせて使い分けてください。

MultiWriter 2130では大量給紙をするのに便利なリレー給紙機能がご利用できます。ホッパー、MP、増設ホッパーに用紙をセットし印刷中に用紙がなくなると、自動的に同じ用紙サイズで同じ方向に用紙がセットされている給紙先に切り替える機能です。設定手順については活用マニュアルをご覧ください。

用紙について

ここではMultiWriter 2130で使用できる用紙、用紙のセット方向について説明します。用紙をセットする前に必ずお読みになり、使用できる用紙を確認してから印刷してください。

使用できる用紙

使用できる用紙の種類、サイズ、および枚数は以下の表のとおりです。用紙の規格、印刷範囲については付録「用紙の規格」(91ページ）を参照してください。

給紙口	セットできる用紙		
	種類	サイズ	枚数
標準ホッパー	普通紙＊1（乾式 PPC 用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター	250＊3
	ラベル紙	A4、B4	30
MP	普通紙＊1（乾式 PPC 用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター 定形外用紙＊3（100 ～ 297 × 148 ～ 420mm）	100＊3
	厚紙＊2		—
	ラベル紙	A4、B4	30
	はがき	はがき、往復はがき	30
	OHP フィルム	A4	30
	封筒	洋形 4 号（内カマス、のりなし）	10
増設ホッパ（250）	普通紙＊1（乾式 PPC 用紙）	A3、B4、A4、B5、A5、レター	250＊3
増設ホッパ（500）	普通紙＊1（乾式 PPC 用紙）	A3、B4、A4、レター	500＊3

＊1　坪量 64.0 ～ 81.4g/m^2（連量 55 ～ 70kg）の用紙です。
＊2　坪量 81.4 ～ 128g/m^2（連量 70 ～ 110kg）の用紙です。
＊3　坪量 64.0g/m^2（連量 55kg）の用紙を使用した場合です。

用紙についての注意事項

用紙をセットする前に以下の注意事項をお読みください。また、はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙、封筒、定形外用紙をセットする際の注意事項については47ページ～48ページに記載していますので、併せてお読みください。

- 次のような用紙への印刷は避けてください。ご使用になると印刷不良、紙づまり、プリンターの故障の原因となるおそれがあります。
  - 無塵紙
  - 裏写り防止用の白粉（ミクロパウダー）が塗布された用紙
  - 熱で変質するインクを使った用紙、変質しやすい用紙
  - カーボン紙、ノンカーボン紙、感圧紙、感熱紙、酸性紙
  - ざら紙や繊維質の用紙など、表面が滑らかでない用紙
  - ミシン目のある用紙、穴あき用紙
  - 紙の表面に特殊コーティングした用紙、表面加工したカラー用紙
  - シワがある、折れている、破れている、湿っている、ぬれている、長期間放置した、カールしている、静電気で密着している、貼り合わせてある、のりが付いているなどの用紙
  - ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
  - のりが付いている封筒
  - 熱転写プリンター、インクジェットプリンターで印刷した後の用紙

– 次のような状態のラベル紙
  台紙全体がラベルで覆われていないもの、部分的に使用したもの、ラベルがはがれかかっているもの、カールしているもの、表面にのりがしみ出ているもの
– すでに一度印刷した用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙も含む）

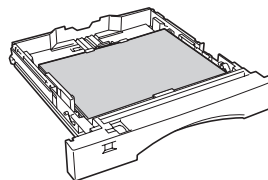
- 再生紙、ラベル紙の使用については制限があります。添付の「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口へお問い合わせください。
- はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、およびラベル紙の印刷品質は、規格を満たす普通紙の印刷品質より劣る場合があります。

用紙のセット方向

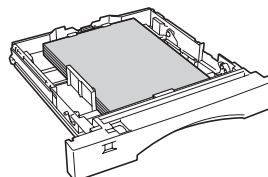
標準ホッパー、MPにはA4サイズの用紙を横置き、縦置きのどちらの方向でもセットできます。また、MPには往復はがきを横置き、縦置きのどちらの方向でもセットできます*[1]。

横置き

右図のように横置きにセットできる用紙サイズは次の5種類です。

B5、A5、A4、レター、往復はがき*[1]

縦置き

右図のように縦置きにセットできる用紙サイズは次の6種類です。

A3、B4、A4、はがき、往復はがき*[1]、封筒

*1　往復はがきを MP にセットする場合は、あらかじめ「はがき、往復はがきをセットするときの注意」（47 ページ）をお読みください。

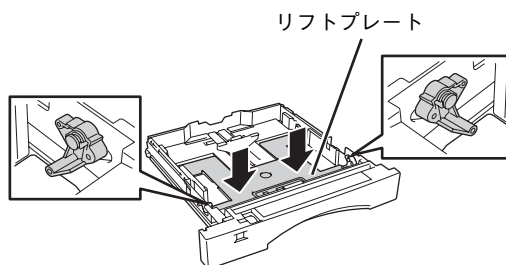
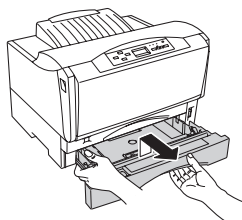
ホッパーに用紙をセットする

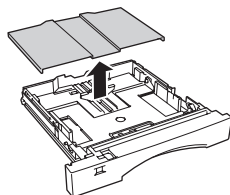
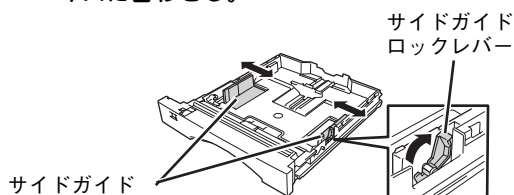
ホッパーから印刷するには、標準カセットに用紙をセットします。用紙は坪量64.0g/m^2（連量55kg）の普通紙なら250枚までセットできます。

重要

- ホッパーにセットする用紙は、両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）をホッパーにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- 標準カセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

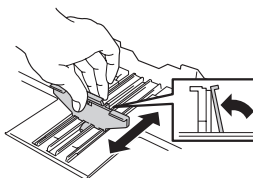
チェック

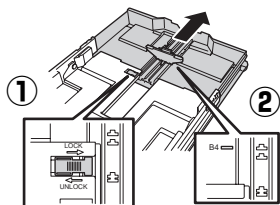
- 標準カセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げて取り外してください。
- 用紙をセットする際は、リフトプレートが下がっていることを確認してください。リフトプレートが完全に下がっていないと、標準カセットをプリンターに取り付けることはできません。下がっていない場合は、完全に下がるまで下に押してください。
- 出荷時は用紙サイズ設定ダイヤルを［A4ヨコ］に設定しています。

❶ **標準カセットを両手で軽く上に持ち上げ、ゆっくりと取り外す。**

❷ **用紙カセットカバーを取り外す。**

❸ **サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。**

❹ **エンドガイドをセットする用紙サイズに合わせる。**

<B5、A5、A4、レターサイズの場合>

エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。

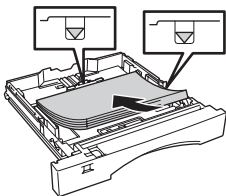
<B4、A3サイズの場合>

① スライドカセットロックを左に動かし“UNLOCK”に合わせ、用紙カセットを引き伸ばした後、スライドカセットロックを右に戻し“LOCK”に合わせます。

② エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、“B4”または“A3”表示に合わせます。

❺ 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

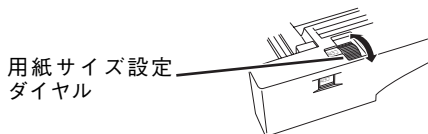
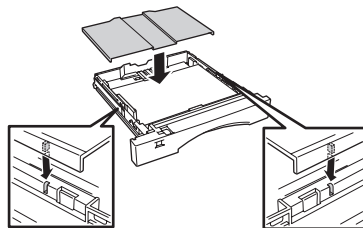
用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

チェック

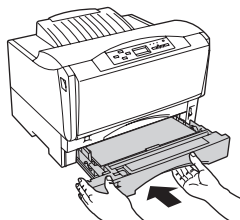
- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示（▽）を越えないようにしてセットしてください。

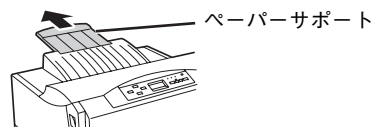
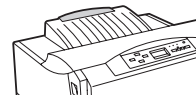
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しは、しないでください。

❻ 用紙サイズ設定ダイヤルをセットした用紙サイズに合わせる。

重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

❼ 用紙カセットカバーを用紙カセットの溝に合わせて取り付ける。

❽ 標準カセットを両手でゆっくり取り付ける。

重要

用紙をセットし終えた標準カセットは、重くなっています。取り付ける際は標準カセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

❾ ペーパーサポートを引き出す。

A3、B4サイズの場合、ペーパーサポートを引き出します。

A3、B4サイズ以外の場合は、そのままお使いください。

残った用紙の保管方法

残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

MPに用紙をセットする

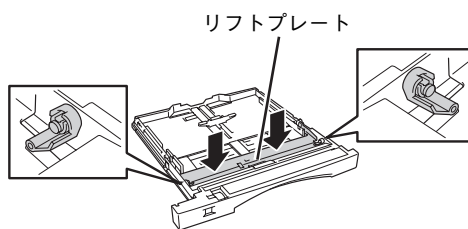
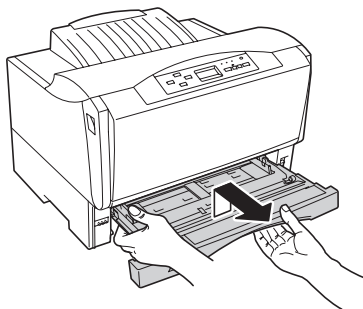
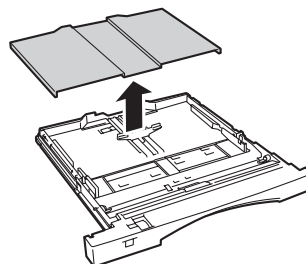
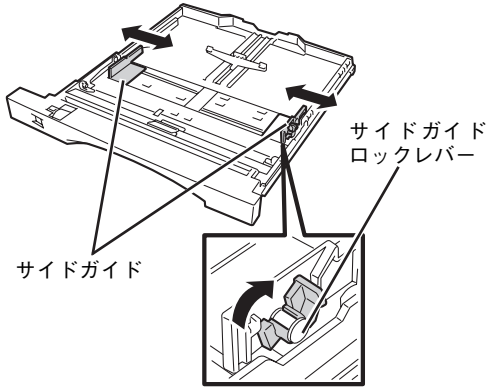
MPとは「マルチパーパス（多用途）」のことで、いろいろな種類の用紙をセットすることができる給紙機構を指します。MPから印刷するには、MPカセットに用紙をセットします。MPカセットには普通紙やラベル紙をはじめ、厚紙、はがき、往復はがき、封筒、OHPフィルム、定形外用紙をセットすることができます。

MPカセットの容量は坪量64.0g/m^2（連量55kg）の普通紙で約100枚です。はがき、往復はがき、OHPフィルム、ラベル紙は約30枚、封筒は約10枚セットすることができます。

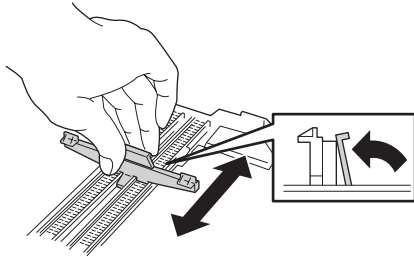
重要

- MP カセットにセットする用紙は両面とも印刷のされていない用紙をセットしてください。すでに一度印刷された用紙（プレ印刷された用紙やいわゆる裏紙）をMPカセットにセットしないでください。一度印刷された用紙をセットして、その用紙の裏に印刷すると、印刷不良や給紙できなかったり、紙づまりを起こすばかりでなく、プリンターの故障の原因となる場合があります。
- MPカセットにレターサイズ、はがき、往復はがき、および封筒をセットした時は、MPカセットの用紙サイズを操作パネルで設定する必要があります。詳細は活用マニュアルを参照して、[MP]スイッチで設定してください。また、異なる用紙サイズをセットした時にもそのつど操作パネルで設定を行ってください。
- MPカセット前側のラバー部には手を触れないでください。給紙不良の原因となることがあります。

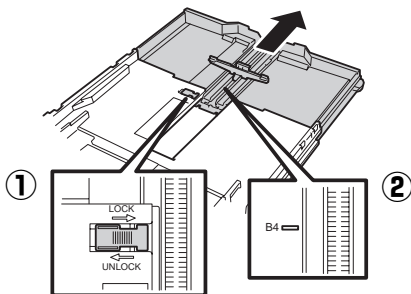
チェック

- 厚紙、OHPを使用する際は、メニューモードの「ヨウシメニュー」-「ヨウシシュベツ」-「MPヨウシシュベツ」でそれぞれ「アツガミ」、「OHP」に設定する必要があります。詳細は活用マニュアルを参照してください。厚紙は坪量81.4～128.0g/m^2（連量70～110kg）までセットすることができます。
- MPカセットを取り外す際は、軽くカセットを持ち上げて取り外してください。
- 用紙をセットする際は、リフトプレートが下がっていることを確認してください。リフトプレートが完全に下がっていないと、MPカセットをプリンターに取り付けることはできません。下がっていない場合は、完全に下がるまで下に押してください。

❶ **MPカセットを両手で軽く上に持ち上げ、ゆっくりと取り外す。**

❷ **用紙カセットカバーを取り外す。**

❸ サイドガイドロックレバーを押し上げてサイドガイドをスライドさせ、使用する用紙のサイズに合わせる。

❹ エンドガイドを使用する用紙サイズに合わせる。

<B5、A5、A4、レターサイズ、はがき、封筒、往復はがきの場合>

エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズに合わせます。

<B4、A3サイズもしくはA4縦以上の定形外用紙の場合>

① スライドカセットロックを左に動かしに"UNLOCK"に合わせ、用紙カセットを引き伸ばした後、スライドカセットロックを右に戻し"LOCK"に合わせます。

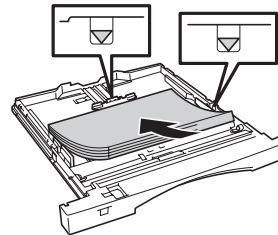
② エンドガイドの中央部をつまみながら、エンドガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズの表示に合わせます。

❺ 印刷する面を上にして、エンドガイド側から用紙をそろえてセットする。

A3サイズ、B4サイズ、はがき、封筒は縦置きで、B5サイズ、A5サイズ、レターサイズは横置きでセットしてください。

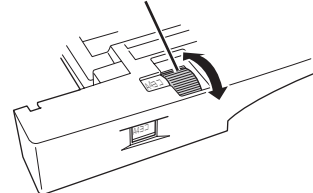
A4サイズ、OHPフィルム、往復はがきは縦置き、横置きどちらでも用紙をセットできます。

用紙をセットした後は、サイドガイドを再セットしてください。

✔チェック

- 包みから出した新しい用紙は、さばかないでください。用紙をさばくと静電気が起きて紙づまりの原因になることがあります。
- 用紙は、エンドガイドの最大積載表示（▽）を越えないようにしてセットしてください。
- 1つの用紙カセット内にサイズや質の異なる用紙をセットしないでください。
- 用紙のつぎ足しはしないでください。

- 出荷時は用紙サイズ設定ダイヤルを［A4タテ］に設定しています。
- ジョブセパレート機能による簡単仕分けをご利用にならない場合は、［A4タテ］以外に設定してください。（ジョブセパレート機能による簡単仕分けについては活用マニュアル4章の「より進んだ使い方」を参照してください。

❻ 用紙サイズ設定ダイヤルをセットした用紙サイズに設定する。

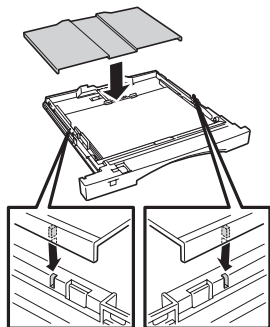
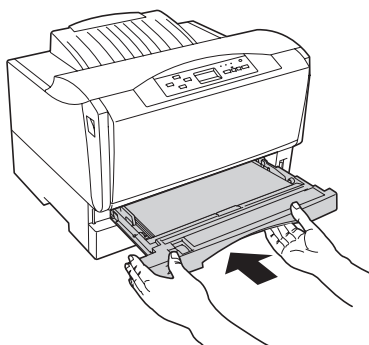
はがき、往復はがき、封筒、レターサイズ、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルの表示を「＊」に設定してください。

重要

セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示を合わせてください。セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの表示が異なると紙づまりなどの障害の原因になることがあります。

❼ はがき、往復はがき、封筒、レターサイズをセットした場合は、操作パネルで用紙サイズを設定する。

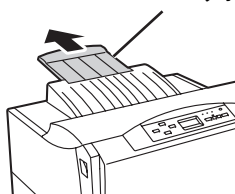
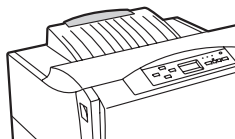
操作パネルの[印刷可]スイッチを押してから、[MP]スイッチを押して、用紙サイズを設定します。(操作パネルの詳細は活用マニュアル参照。)

- 用紙サイズ設定ダイヤルをあらかじめ「＊」に設定していないと、[MP]スイッチによる用紙サイズ設定はできません。
- 定形外用紙の場合は、用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定してください。

❽ 用紙カセットカバーを MP カセットの溝に合わせて取り付ける。

❾ MPカセットを両手でゆっくり取り付ける。

重要

用紙をセットしたMPカセットは、重くなっています。取り付ける際はMPカセットを両手で持ってプリンターに差し込んでください。

❿ ペーパーサポートを引き出す。

A3、B4サイズ、またはA4縦以上の定形外用紙の場合、ペーパーサポートを引き出します。

上記以外の場合、そのままお使いください。

残った用紙の保管方法

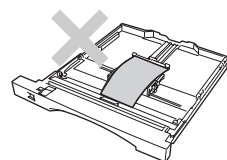
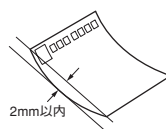
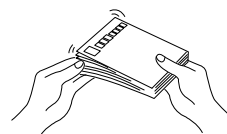
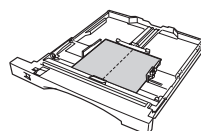
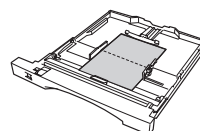
残った用紙は変質を防ぐため、次のことに注意して正しく保管してください。

- 用紙は包装してあった紙で包み直してください。
- キャビネットの中など直射日光の当たらない、湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙はしわ、折れ、カールなど癖がつかないように、平らな場所に水平にして保管してください。

用紙をセットする時の注意

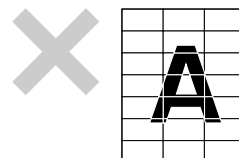
はがき、往復はがき

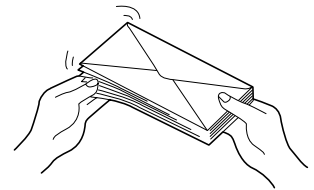
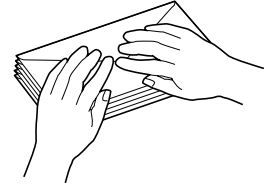
往復はがきは、折り返しや折り目がついているものを使用しないでください。折れた状態でMPカセットにセットすると、紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

- はがき、往復はがきに反りがあるときは、反りの幅が2mm以内になるように反りを直してください。反りがある用紙をMPカセットにセットする場合は、反りの方向を直して（反っている凸面を下にして）セットしてください。

- 印刷所で印刷を施された官製はがき（年賀状など）には裏写り防止用の白い粉が塗布されていることがあります。このプリンターでこのようなはがきへの印刷を繰り返すと、白い粉によりプリンター内部のローラーの摩擦力が低下し、はがきがうまく送れなくなることがあります。このようなはがきを使用するときは、印刷の前にはがきの両面についている粉を乾いた布などで軽く払ってください。
- はがきをまとめてMPカセットにセットする場合は、はがきを十分さばいてからセットしてください。

- 印刷したはがきは、反りが5mm以内になるように直してください。反りが大きいと郵便番号読取機の処理に不都合が生じます。
- 往復はがきをMPカセットにセットする場合は、横置き、縦置きのどちらでもセットできます。横置き、縦置きにセットできる向きを、それぞれ右図に示します。操作パネルで設定する際にご注意ください。

往復はがき 横置き

往復はがき 縦置き

OHPフィルム、ラベル紙

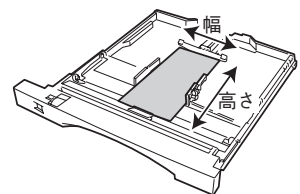
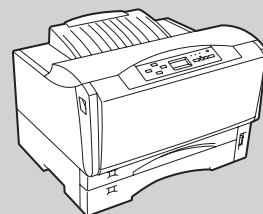
- OHPフィルム、ラベル紙は十分にさばいてからセットしてください。
- OHPフィルムは使用環境、種類によっては静電気が発生し、正常に給紙できないときがあります。その際は、MPに1枚ずつセットして印刷することをお勧めします。
- ラベル紙は保管状態によっては反りが生じ、正常に給紙できないときがあります。その際は、反りを直して印刷してください。
- ラベル紙への印刷は、ラベルの切れ目部分に文字やイラストがかからないようにしてください。

封筒

フラップ（封筒の折り返し部分）面には印刷をしないでください。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障することがあります。

- 封筒は、洋形4号、内カマス、のりなしをご使用ください。ただし封筒の材質によりご使用になれない場合があります。
- 封筒をセットする前に、封筒の束を平らなところへ置き、フラップ（封筒の折り返し部分）をきちんと折り曲げてフラップがはね上がらないようにしてください。フラップをきちんと折り曲げない状態でセットすると、用紙サイズエラーになることがあります。
- 封筒の両端を持って、十分さばいてからセットしてください。
- MPカセットにセットする場合は、印刷する面を上にして縦方向にセットしてください。

定形外用紙

形状が長方形以外の不規則な形状の用紙、角が直角でない用紙は正常な給紙ができません。紙づまりの原因となるだけでなく、プリンターが故障するおそれがあります。

Windows環境以外から印刷を行う場合、メニューモードの「用紙メニュー」で「テイケイガイヨウシ」を「ON」にする必要があります。詳細は活用マニュアルを参照してください。

- 対応可能な用紙の厚み（坪量）は、定形用紙に比べて扱える範囲がせまくなる場合があります。定形外用紙を使用する場合は、事前に十分な試し印刷をして印刷動作を確認することをお勧めします。
- 紙質、繊維目方向、プレ印刷、ホールパンチ、ミシン目などにより正常に印刷されない場合があります。
- 種類、繊維目方向によっては印刷後大きくカールするものがあります。
- 印刷した用紙が正常にスタックされない場合があります。この場合はそのつど用紙を取り除いてください。
- 定形外用紙の用紙サイズは、幅100～297mm、高さ148～420mmです。

4章
印刷するには

この章では、アプリケーションから印刷する手順、および定形外用紙に印刷する手順を説明します。また、本プリンターのもつ便利な機能を紹介します。

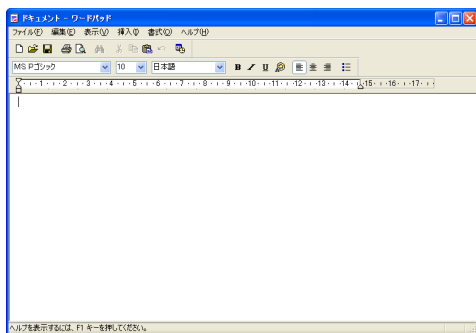
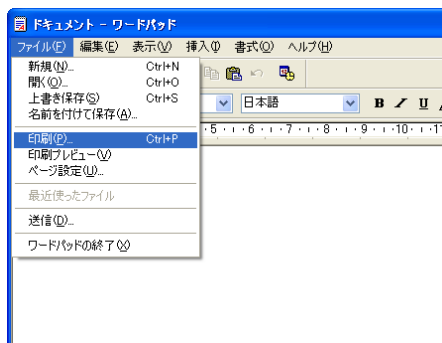
Windows Server 2003をお使いのお客様へ

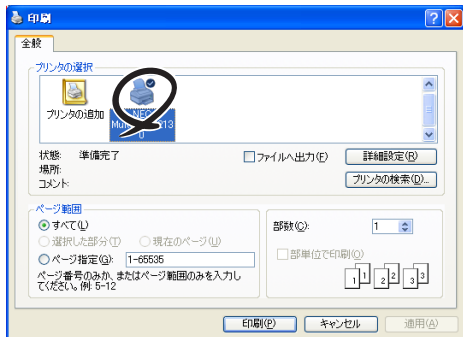
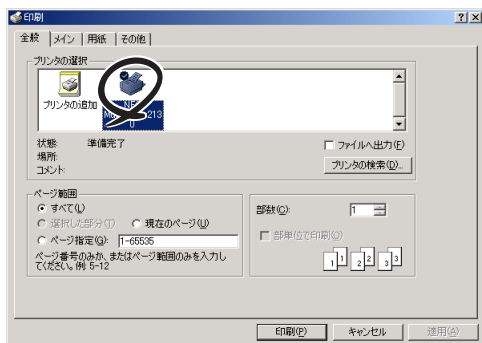
Windows Server 2003をお使いのお客様は、Windows XPの記述をWindows Server 2003に読み替えてください。

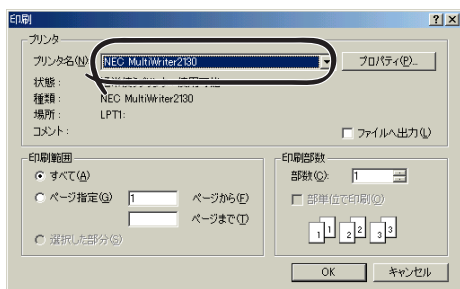
印刷手順

アプリケーションから印刷する

ここでは、Windows XPに付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、およびWindows NT 4.0の場合は多少画面の表示が異なりますが基本的な操作は同じです。

❶ **［スタート］メニューからワードパッドを起動し、印刷したいデータを開く。**

❷ **［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。**

❸ **[印刷]ダイアログボックスの[プリンタの選択]に[NEC MultiWriter2130]が選択されていることを確認する。**

選択されていなければ、[プリンタの選択]から[NEC MultiWriter2130]を選択してください。

Windows XP/Server 2003

Windows 2000

Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0の場合は、[プリンタ名]から[NEC MultiWriter2130]を選択してください。

Windows Me/98/95、Windows NT 4.0

❹ **必要に応じてプロパティダイアログボックスで印刷の詳細を設定する。**

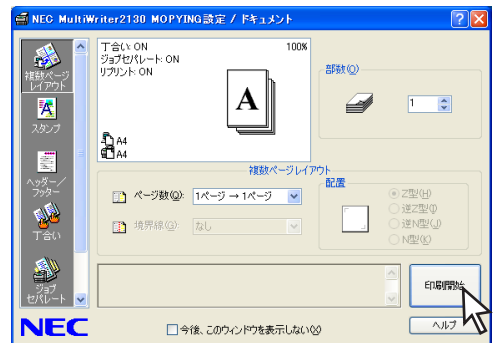
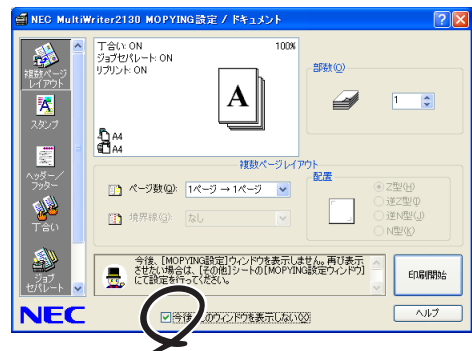
プロパティダイアログボックスの開き方については次ページをご覧ください。

❺ **ページ範囲と印刷部数を指定して、[OK]をクリックする。**

[MOPYING設定ウィンドウを表示する]が設定されている場合は、この後MOPYING設定ウィンドウが表示されます。次の手順に進んでください。

設定されていない場合は、印刷が開始されます。

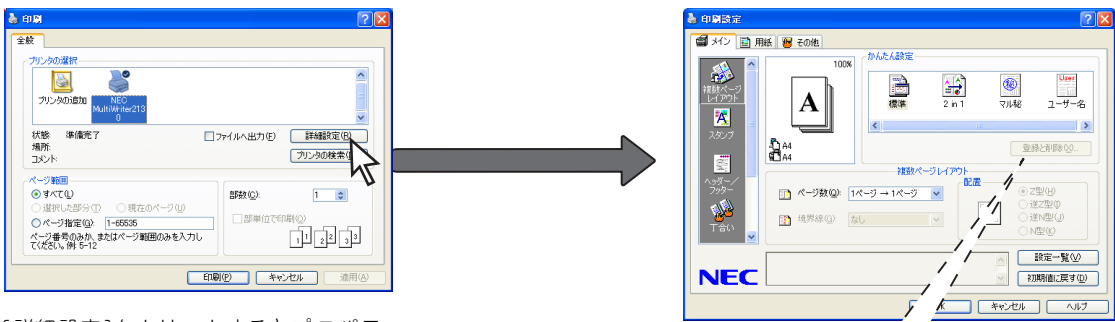
❻ **[MOPYING 設定ウィンドウを表示する]が設定されている場合は、複数ページレイアウト印刷などを設定し、[印刷開始]をクリックする。**

印刷が開始されます。

MOPYING設定ウィンドウは、アプリケーションから印刷を行うごとに表示されます。表示する必要がない場合は、「今後このウィンドウを表示しない」をチェックしてください。

印刷の詳細設定（プロパティダイアログボックスの開き方）

印刷の詳細設定はプロパティダイアログボックスで行います。設定内容などの詳細については各プロパティダイアログボックスのヘルプをご覧ください。以下は、アプリケーションメニューからプロパティダイアログボックスを開いた例です。

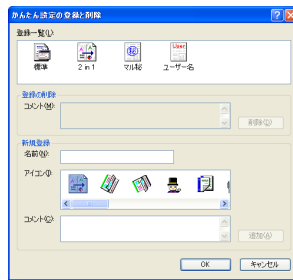
各OSとも、プロパティダイアログボックスはアプリケーションのメニューから開く方法と[プリンタとFAX]フォルダー（Windows XP、Windows Server 2003以外は［プリンタ］フォルダー）から開く方法があります。

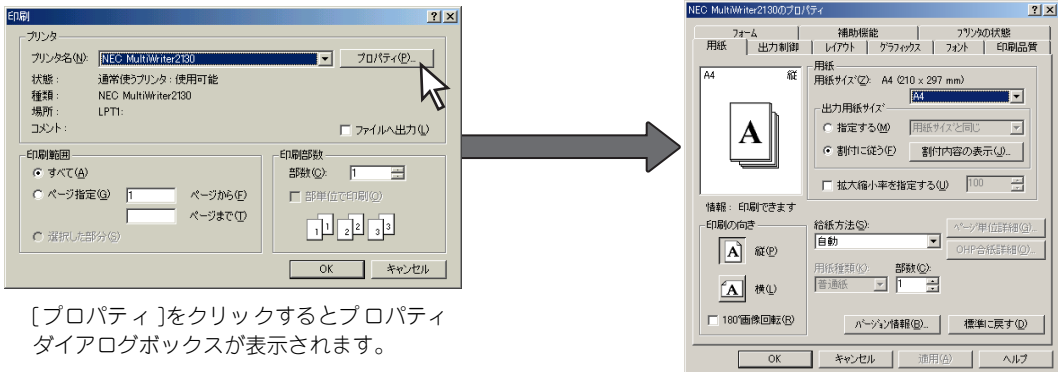
アプリケーションメニューから開いた場合は、一般的にそのアプリケーションでのみ有効な設定になります。また、[プリンタとFAX]フォルダー（Windows XP、Windows Server 2003以外は［プリンタ］フォルダー）から開いた場合は、すべてのアプリケーションの基本設定になります。

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合

[詳細設定]をクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。

各シートをクリックして設定します。

＊ Windows NT 4.0の場合は［印刷］ダイアログボックスの画面イメージが多少異なります。

[かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス

[プリンタとFAX]フォルダーからプロパティダイアログボックスを開いた場合に、[メイン]シートの[登録と削除]ボタンをクリックすると「かんたん設定」の登録が行えます。「かんたん設定」とは、よく使う印刷設定をあらかじめ登録しておける機能です。詳細は活用マニュアルまたはヘルプをご覧ください。

Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合

[プロパティ]をクリックするとプロパティダイアログボックスが表示されます。

MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

本プリンターのプリンタードライバーには、より快適にMOPYINGするために、MOPYING設定ウィンドウがあります。MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する場合は以下の手順を行ってください。

Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする
Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

MOPYING設定ウィンドウは一部のアプリケーションにのみ対応しています。対応アプリケーションや使用する際の注意事項などについては、プリンタードライバーのヘルプ、または添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥MW2130¥Disk1¥Drivers.txt」をお読みください。

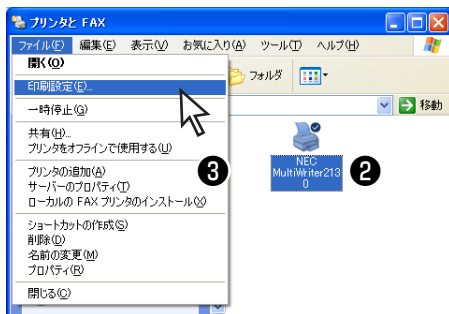
Step 1　MOPYING設定ウィンドウを有効にする

❶ **[プリンタとFAX]フォルダーを開く。**

Windows XP、Windows Server 2003 以外の場合は、[プリンタ]フォルダーを開きます。

❷ **[NEC　MultiWriter2130]アイコンをクリックする。**

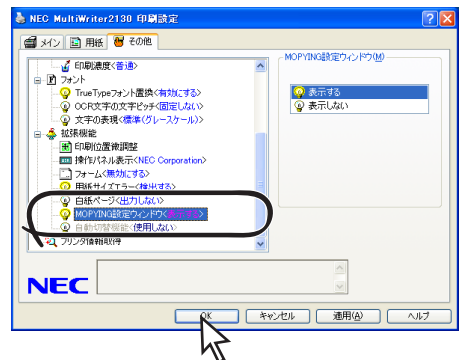
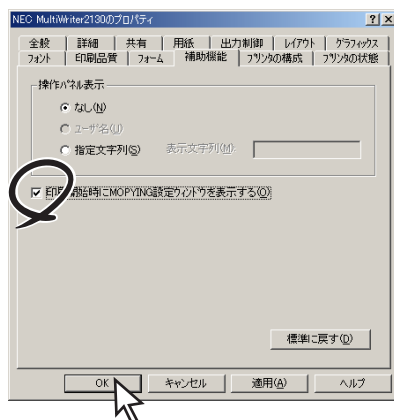
❸ **[ファイル]メニューの[印刷設定]*をクリックする。**

プロパティダイアログボックスが表示されます。

*　Windows Me/98/95の場合は[プロパティ]
　Windows NT 4.0の場合は[ドキュメントの既定値]

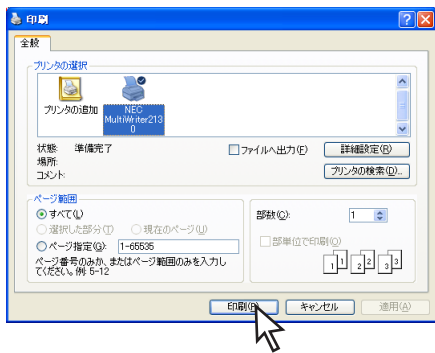
❹ **MOPYING設定を有効にする。**

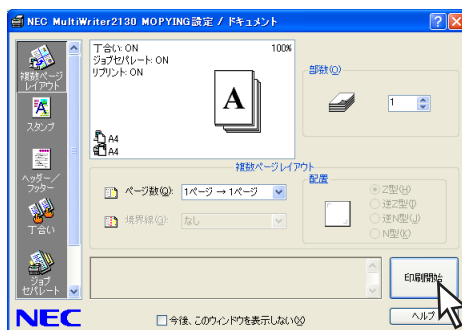
<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

[その他]シートをクリックします。
[拡張機能]の下の[MOPYING設定ウィンドウ]を選び[表示する]を選択し、[OK]をクリックします。

<Windows Me/98/95の場合>

[補助機能]シートを開きます。[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]をチェックし、[OK]をクリックします。

Step 2　MOPYING設定ウィンドウを使って印刷する

❶ アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。

❷ [印刷]ダイアログボックスの[印刷]をクリックする。

MOPYING設定ウィンドウが表示されます。

❸ 複数ページレイアウト印刷などの設定をし、[印刷開始]をクリックする。

印刷が開始されます。

設定を解除する

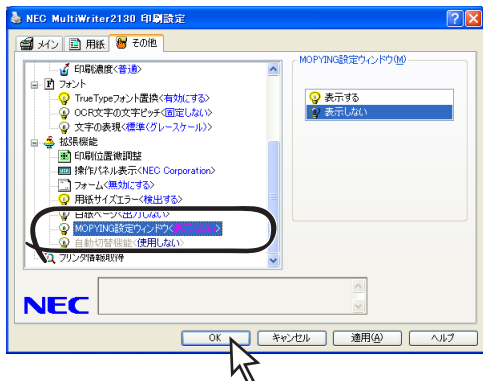
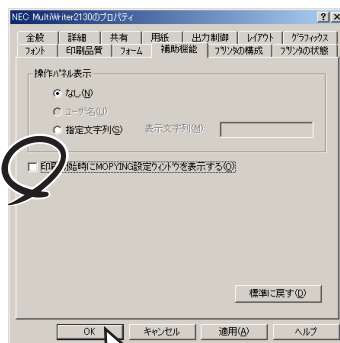
MOPYING設定ウィンドウの表示を無効にする手順を説明します。

❶ 52ページの手順❶～❸を行い、プロパティダイアログボックスを開く。

❷ MOPYING設定を解除する。

＜Windows XP/2000/NT 4.0の場合＞

[その他]シートをクリックします。
[拡張機能]の下の[MOPYING設定ウィンドウ]を選び、[表示しない]を選択し、[OK]をクリックします。

＜Windows Me/98/95の場合＞

[補助機能]シートを開きます。[印刷開始時にMOPYING設定ウィンドウを表示する]のチェックを外し、[OK]をクリックします。

✔チェック

この手順以外でもMOPYING設定ウィンドウが表示されているときに、[今後、このウィンドウを表示しない]をチェックすることにより、MOPYING設定を無効にすることができます。

定形外用紙に印刷する

定形外用紙（ユーザー定義）の用紙に出力するには、以下の手順を行ってください。
Step 2およびStep 3は、OSごとに説明します。

Step 1　定形外用紙をセットする（詳細は3章を参照してください。）
Step 2　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズを設定する
Step 3　定形外用紙（ユーザー定義）の用紙サイズで印刷する

MPカセットに定形外の用紙をセットする場合はあらかじめ使用できる用紙の種類、用紙サイズを確認しておいてください。用紙については付録の「用紙の規格」（91ページ）をご覧ください。

MPカセットにセットできる用紙サイズは、幅100～297mm、高さは148～420mmです。

Step 1　定形外用紙をセットする

定形外用紙をセットする際、3章の「用紙をセットする時の注意」（47ページ）を参照して用紙をセットしてください。

❶ **MPカセットに用紙をセットする。**

手順は、3章の「MPに用紙をセットする」（44ページ）を参照してください。

❷ **MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」（アスタリスク）に設定する。**

このとき、操作パネルの[MP]スイッチによる用紙サイズ設定は必要ありません。設定は無効になります。

Step 2　定形外用紙（ユーザ定義）の用紙サイズを設定する

定形外用紙の用紙サイズをユーザー定義サイズとして、次の手順で設定します。各OSごとに説明します。

新しい用紙サイズを作成する場合の幅、高さは、プリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ（幅100～297mm、高さ148～420mm）を設定してください。プリンターにセットできる用紙以外の大きさを設定した場合は、その用紙は使用できません。

- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、複数の用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）を追加することができます。
- Windows Me、Windows 98、Windows 95の場合、設定できる用紙サイズ（ユーザー定義サイズ）は一種類のみです。

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

❶ [プリンタとFAX]フォルダーを開く。

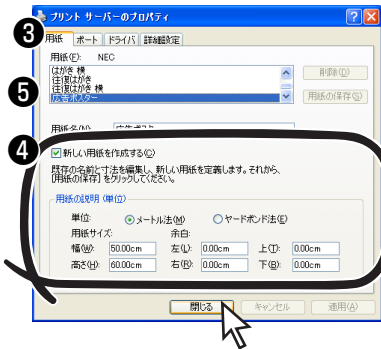
Windows XP以外の場合は、[プリンタ]フォルダーを開きます。

❷ [ファイル]メニューから[サーバーのプロパティ]をクリックする。

❸ [用紙]シートを開く。

❹ [新しい用紙を作成する]をチェックして、任意の用紙名、用紙サイズを入力し、[用紙の保存]をクリックする。

プリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ（幅100～297mm、高さ148～420mm）を設定してください。

❺ ボックスに新規作成した用紙名が追加されたことを確認して[閉じる]または[OK]をクリックする。

Windows XP、Windows 2000

Windows NT 4.0

これで新しい用紙サイズが追加されました。

<Windows Me/98/95の場合>

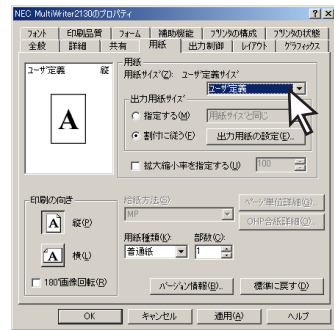
❶ [プリンタ]フォルダーを開く。

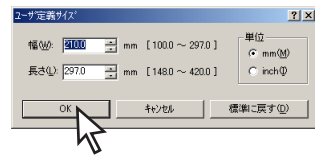
❷ 使用するプリンターのアイコンをクリックする。

❸ [ファイル]メニューの[プロパティ]をクリックする。

[プロパティ]ダイアログボックスが表示されます。

❹ [用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから[ユーザ定義]を選ぶ。

[ユーザ定義]を選択すると給紙方法で[ホッパ]は選択できません。

❺ 用紙の[幅]と[長さ]を入力し、[OK]をクリックする。

プリンターにセットできる用紙サイズ内の大きさ（幅100～297mm、高さ148～420mm）を設定してください。

❻ [OK]をクリックし、[プロパティ]ダイアログボックスを閉じる。

これでユーザー定義の用紙サイズが設定できました。

Step 3　定形外用紙（ユーザ定義）の用紙サイズで印刷する

<Windows XP/2000/NT 4.0の場合>

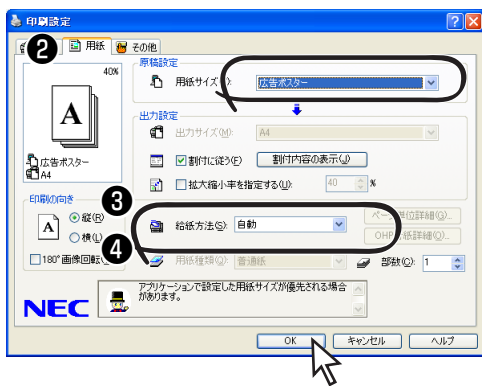
❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

アプリケーションによっては、この手順後に[印刷]ダイアログボックスの[詳細設定]または、[プロパティ]をクリックします。

❷ **[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、Step2で追加した用紙サイズを選択する。**

- 定形外用紙を選択すると給紙方法で[ホッパ]は選択できません。
- 坪量81.4g/m² (連量70kg) を超える用紙の場合[用紙種類]ボックスで[厚紙]を指定してください。

❸ **[給紙方法]と[用紙種類]を指定する。**

❹ **印刷部数を指定し、[印刷]（または[OK]）をクリックする。**

<Windows Me/98/95の場合>

❶ **アプリケーションの[ファイル]メニューで[印刷]をクリックし、[印刷]ダイアログボックスを開く。**

❷ **[プロパティ]をクリックする。**

❸ **[用紙]シートを開き、[用紙サイズ]ボックスから、[ユーザ定義]を選択する。**

- [ユーザ定義]を選択すると給紙方法で[ホッパ]は選択できません。
- 坪量81.4g/m² (連量70kg) を超える用紙の場合[用紙種類]ボックスで[厚紙]を指定してください。

❹ **[給紙方法]と[用紙種類]を指定する。**

❺ **[ユーザ定義]ダイアログボックスで[幅]と[長さ]を確認し、[OK]をクリックする。**

❻ **印刷部数を指定し、[OK]をクリックする。**

MPカセットから給紙する場合について

MPカセットから定形外用紙の印刷を行う場合、プリンターの電源投入後、初めて定形外用紙をセットし、印刷を行うと、「MP　テイケイガイ　ホキュウ」のアラームが表示されます。この時、MPカセットの用紙が定形外用紙であることを確認して、[印刷可]スイッチを押してください。印刷が再開されます。

また、次回異なる用紙サイズの定形外用紙の印刷を行った場合、もしくは、プリンターの電源を再投入した後、定形外用紙の印刷を行った場合は、MPカセットの用紙確認のため、プリンターは「MP　テイケイガイ　ホキュウ」のアラームを表示します。[印刷可]スイッチを押して、印刷を再開してください。

機能の紹介

前に説明した以外にも本プリンターにはいろいろな機能があります。様々な機能を組み合わせてMOPYINGしたり、ネットワーク環境でMultiWriterを一元管理することなどができます。ここではその便利な機能について紹介します。各機能の詳細、および設定方法については添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている活用マニュアルの「より進んだ使い方」またはヘルプをご覧ください。

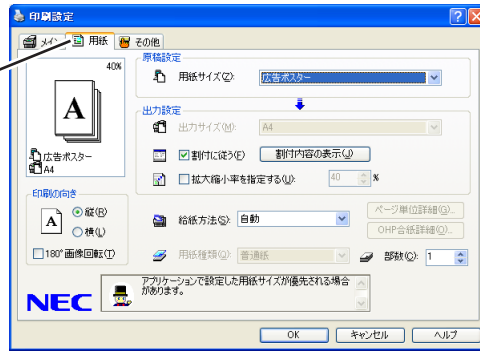
PrintAgentの便利な機能

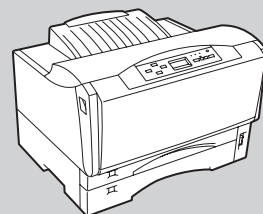
機　能	機能の説明
リプリントする	PrintAgentリプリント2を使用して、一度印刷した文書をアプリケーションを起動せず再印刷します。
文書を結合する	PrintAgentリプリント2を使用して、一度印刷した別々の文書を自由に組み合わせたり、結合したりして印刷します。
「PrintAgent」ツールバー	ボタン操作でPrintAgentの機能を表示させることができます。
プリンターの状態や印刷状況を見る	プリンタステータスウィンドウを使用して、プリンターの状態をパソコンで確認することができます。
プリンターを自動切り替えする	グループプリンタを使用して、自動的に空いているプリンターから印刷します。
パソコンから電源を入れる	パソコンからプリンターの電源を入れます。
保守情報をメール通知する	プリンターの保守情報を管理者にメールで通知します。
印刷履歴状況を出力する	プリントサーバーで管理している印刷履歴の状況をPrintAgentから出力します。
ブラウザーでプリンターの状況を見る	ブラウザーを使用して、プリンターの状態をパソコンで確認することができます。
プリンタードライバーをバージョンアップする	すでにインストールされているプリンタードライバーをCD-ROMやネットワークからバージョンアップできます。

プリンタードライバーの便利な機能

機　能	機能の説明	設定するシート	
		Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0	Windows Me、Windows 98、Windows 95
複数ページ印刷する	複数のページを1枚の用紙に印刷します。	［メイン］シート	［レイアウト］シート
仕分け印刷する	ジョブセパレート、丁合い、電子ソートを使用して、出力した用紙を仕分けします。	［メイン］シート、［用紙］シート、［プリンタの設定］シート	［用紙］、［出力制御］、［プリンタの構成］
拡大・縮小印刷する	用紙の大きさを変えたり、変えないで、拡大・縮小印刷します。	［用紙］シート、［プリンタの設定］シート	［用紙］シート
よく使う設定を登録する	かんたん設定を使用して、よく使う設定を登録しておきます。	［メイン］シート	－
印刷位置をずらす	印刷する位置を任意の位置にずらして印刷します。	［その他］シート	［レイアウト］シート
スタンプを押す	各ページに任意のスタンプを押します。	［メイン］シート	［レイアウト］シート
ヘッダー・フッターをつける	ユーザー名や日付などをヘッダーまたはフッターとして印刷します。	［メイン］シート	［レイアウト］シート
OHPの間に紙を挟む	OHPシートとの間に任意の紙を挟み込みます。	［用紙］シート	［用紙］シート
ページ単位で給紙先を変更する	ページ毎に給紙先を選択します。	［用紙］シート	［用紙］シート
ユーザー名を表示する	プリンターの操作パネルに利用中のユーザー名を表示させます。	［その他］シート	［補助機能］シート

プロパティシートの説明

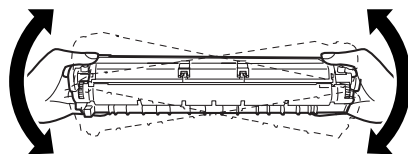
MultiWriter 2130のプリンタードライバーには、様々な機能を利用するために複数のプロパティシートが用意されています。表示されるプロパティシートはOSによって異なります。ここでは、アプリケーションのメニューから表示した場合の各プロパティシートについて説明します。詳しくは、プリンタードライバーのヘルプや活用マニュアルの「より進んだ使い方」を参照してください。

OS	シート名	説　明
Windows XP、Windows Serve 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0	[メイン]	複数印刷、仕分け方法、リプリント、かんたん設定、スタンプ、ヘッダー /フッター、丁合いを設定するシートです。
	[用紙]	用紙サイズや種類、印刷部数、給紙方法、印刷向き、出力方法を設定するシートです。
	[その他]	網かけのパターン、ハーフトーンカラーの調整、印刷の品質や濃度、フォント、印刷位置などの設定やプリンターの最新情報を取得する（双方向通信時）シートです。
Windows Me、Windows 98、Windows 95	[用紙]	用紙のサイズ、給紙方法、印刷向きを設定するシートです。
	[出力制御]	仕分け方法、リプリント、丁合いを設定するシートです。
	[レイアウト]	複数印刷、印刷位置、スタンプ、ヘッダー /フッターを設定するシートです。
	[グラフィックス]	グラフィックの解像度、濃度、描画方法などを設定するシートです。
	[フォント]	フォントについての設定を行うシートです。
	[印刷品質]	印刷の濃度、従来互換の印刷範囲の使用などを設定するシートです。
	[フォーム]	フォーム印刷を行うかどうかを設定するシートです。
	[補助機能]	印刷中にユーザー名や任意の文字をプリンターの操作パネルに表示するかどうか、MOPYING設定ウィンドウを表示するかどうかを設定するシートです。
	[プリンタの構成]	プリンターにホッパーやメモリーのオプションを増設した場合に設定するシートです。
	[プリンタの状態]	印刷しようとしているプリンターの名前、解像度メモリ、現在の構成が表示されます。

5章
日常の保守

この章では、日常の保守として消耗品の交換およびプリンターの清掃について説明します。清掃は、本プリンターを正しく動作させるために定期的に行うことをお勧めします。

EPカートリッジの交換

ディスプレイが“76　トナーナシ　ＥＰコウカン”または“89　ＥＰジュミョウ　ＥＰコウカン”と表示し、トナーランプが点灯したら、EPカートリッジの交換時期です。ディスプレイが“89　ＥＰジュミョウ　ＥＰコウカン”と表示した場合、EPカートリッジを速やかに交換してください。

交換する前に

ディスプレイが“76　トナーナシ　ＥＰコウカン”と表示した場合、交換する前に使用中のEPカートリッジをプリンターから取り出し、トナーが均一になるようにゆっくりと振ってください。取り出し方については「EPカートリッジの交換手順」(61ページ) を参照してください。
もう一度セットしてトナーランプが消灯すれば、まだしばらく、そのEPカートリッジを使用することができます。それでもトナーランプが点灯したままなら、新しいEPカートリッジに交換します。

重要

EPカートリッジの取っ手を持たないよう、図のように両端部をやさしく持ってゆっくり振ってください。EPカートリッジを激しく振ると、落下やOPCドラムにキズがつくおそれがあります。

新しいEPカートリッジに交換する場合は、保護シャッターを止めているテープをはがさずに振ってください。

トナーランプ点灯前でも、印刷が薄くなったり、部分的に印刷が抜けるような場合はEPカートリッジを取り出してゆっくり振り、トナーを均一にしてください。

EPカートリッジの回収と購入

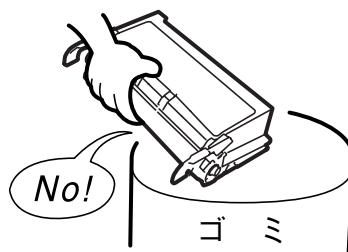
回収について

ご使用済みのNEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しております。

ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設までお持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。

- EPカートリッジ回収に関するWebページ

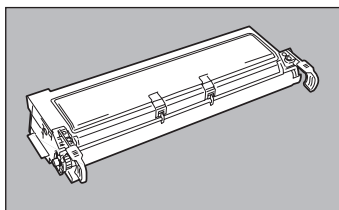
  「ECOLOGY＆TECHNOLOGY」

  URL：http://www.nec.co.jp/eco/ja/recycle/ep_recycle.html

購入について

新しいEPカートリッジは、本プリンターをお買い求めになった販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設などでお求めになれます。

このプリンターは、純正のEPカートリッジを使用時に印刷品質やプリンター性能が最も安定するように設計されています。純正品と異なる仕様のEPカートリッジを使用された場合、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありますので、EPカートリッジは純正品のご使用をお勧めいたします。
お買い求めの際には次の「EPカートリッジの種類」をよくご覧になり、ご使用のプリンターに対応したEPカートリッジをお選びください。

EPカートリッジの種類

MultiWriter 2130でお使いになれるEPカートリッジは以下のとおりです。購入した時に添付されているEPカートリッジは、PR-L2300-11（相当品）です。

EPカートリッジ（型番 PR-L2300-11）

印刷可能ページ数は約6,000枚です。

EPカートリッジ（型番 PR-L2300-12）

印刷可能ページ数は約12,000枚です。

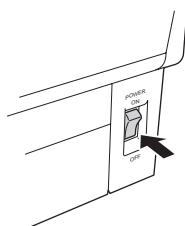
- 各EPカートリッジの1個あたりの印刷可能ページ数はA4用紙サイズに画像面積比5%の印刷を行ったときの値です。（62ページ参照）
- 印刷用紙サイズ、画像面積比、印刷濃度設定などの印刷に関する設定の要因によって、印刷可能ページ数は異なります。

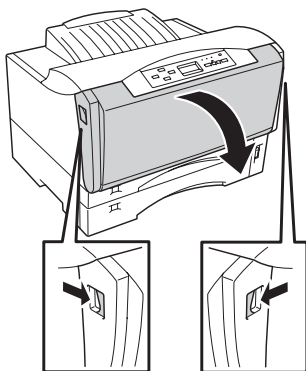
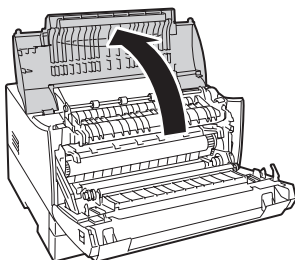
EPカートリッジの交換手順

⚠注意

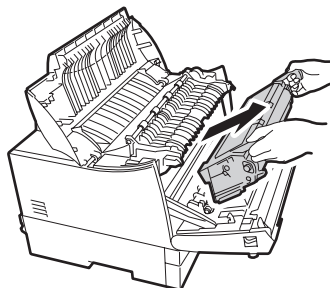
- 電源スイッチをOFFにした直後は、定着ユニット周辺、プリンター内部の金属部、およびEPカートリッジの取っ手は高温になっている場合があります。やけどをするおそれがありますので、十分に冷めてから取り扱ってください。
- EPカートリッジを絶対に火の中に投げ入れないでください。残留しているトナーの粉じん爆発により、やけどをするおそれがあります。
- 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、固く絞った布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機の内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

❶ 電源スイッチをOFFにする。

電源ランプが消灯します。

❷ 左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくり開ける。

フロントユニットが開いて止まります。

❸ トップカバーの左右を持ち、ゆっくり開ける。

❹ 左右の取っ手を図のように持ち、使い終わったEPカートリッジを引き出す。

EPカートリッジは、手前に引き出せば簡単に取り出せます。

トナーで手や衣服を汚さないように気をつけてください。万一、トナーが手や衣服についた場合は、水で洗い流してください。

NEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能部品は再利用しております。EPカートリッジの回収については60ページをご覧ください。

❺ 新しいEPカートリッジを1章の「5 EPカートリッジを取り付ける」(13ページ)に従って取り付ける。

❻ 電源スイッチをONにする。

❼ テスト印刷を実行する。

1章の「8 テスト印刷をする」(18ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。

EPカートリッジの寿命

MultiWriter 2130に添付されているEPカートリッジ（PR-L2300-11相当品）の寿命は、A4用紙で画像面積比率（1ページ中の黒い部分の面積と印刷範囲の面積との比率）約5%の連続印刷を行ったとき、約6,000枚（PR-L2300-11使用時も同等）になります。また、PR-L2300-12使用時は約12,000枚になります。

以下は、画像面積比率約5%を目安とした文書例です。

EPカートリッジの寿命について

本プリンタの消耗品の「EPカートリッジ」には寿命６０００枚（A4、画像面積比5%）のものがあります。

ここで画像面積比５%の意味及びEPカートリッジの寿命について説明します。
従来、シリアル系ドットインパクトプリンタ、熱転写プリンタ等においては、消耗品であるインクリボンの寿命は「何文字」という表現をしていました。これに対し、本プリンタの様なページプリンタにおいては、「何枚」という単位で表現されています。
この様に、表現が「文字数」から「枚数」に変化した理由は、
① ページプリンタにおいては、処理の単位がページ単位であること。
② ①にも関連して、グラフィック等、文字数では十分把握できない様な印刷を行うケースが増えてきている。
の２つが考えられます。

EPカートリッジの寿命を決定するものの１つに、そのEPカートリッジ内部に収納されているトナーの量があります。トナーをすべて消費してしまえばEPカートリッジの寿命となります。（これは従来のインクリボンにおいてインクがなくなるまでをリボンの寿命と呼んだのと同じことです）。

従って「枚数」で寿命と考えるときは、１ページの中でどれくらいのトナーを消費しているかということが問題となります。

１ページ中の印刷領域（印刷用紙の上下左右端から各々 5mmの部分を除く領域）に黒い部分がどの位の割合であるか表したものが画像面積比です。１ページの中に印刷が全くない状態が０%、印刷領域全域が真っ黒にすべてのドットを埋め尽くした状態が１００%です。
この画像面積比によりカートリッジの寿命は長くも短くもなります。このことから「画像面積比何%のときに寿命が何枚」という表現をします。従って、印刷する内容の画像面積比が５%より高い場合、６０００枚印刷する前にEPカートリッジの寿命となる場合があります。

なお、この印刷サンプルが画像面積比約５%相当の目安となります。

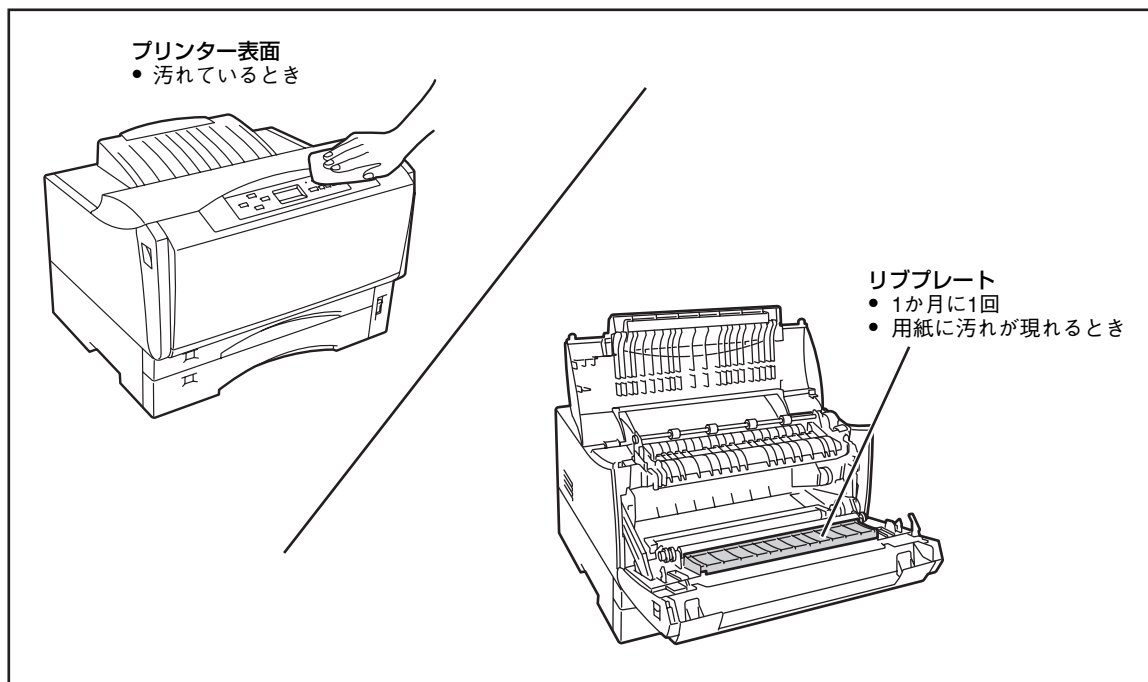
画像面積比5%の印刷例

- EPカートリッジの寿命は画像面積比率、印刷用紙サイズ、両面印刷などの印刷条件によって異なります。
- 画像面積比率は、お使いのコンピューターの環境（OS、アプリケーション、使用フォントなど）により変化します。

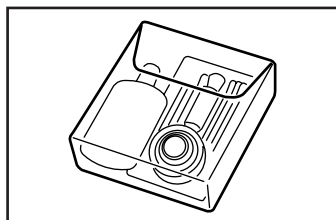
清　掃

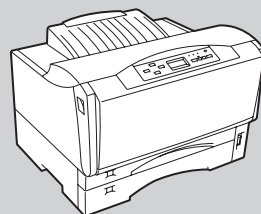
MultiWriter 2130を正しく動作させるためには、図に示す箇所を定期的に、あるいは必要に応じて清掃することをお勧めします。

清掃箇所と清掃時期

清掃する箇所と清掃時期について示します。

清掃には、糸くずの出ない乾いた柔らかい布を用意してください。清掃用にクリーニングキットを別売しています。

プリンターの清掃手順については、活用マニュアル（電子マニュアル）をご覧ください。

クリーニングキット（型番 PC-PR601-14）

プリンターの清掃に便利な用具一式が入っています。

6章 故障かな？と思ったら

この章では、「故障かな？」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処置方法を説明します。下記以外の症状については添付のCD-ROMに収録されている活用マニュアルをご覧ください。

- 印刷できないときは
- 印刷に異常が見られるときは
- PrintAgentを正しく動作させるために
- アラーム表示が出ているときは
- 思うように印刷できないときは
- 紙づまりのときは

また、プリンター本体を運搬するときの方法、プリンター本体および、消耗品の廃棄方法についても記載しています。その他プリンターソフトウエアを利用する際の補足情報はプリンターソフトウエアの「はじめにお読みください」（Readme.txt）に記載されています。これらはプリンターソフトウエアCD-ROMのメニュープログラムから参照できます。

修理に出す前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出される前に以下の手順を実行してください。

❶ **電源コードおよびプリンターケーブルが正しく接続されているかどうかを確認する。**

❷ **定期的な清掃を行っていたか、EP カートリッジの交換は確実に行われていたかを確認する。**

❸ **本章の66 ページ～74ページをご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行う。**

以上の処理を行っても、なお異常があるときは無理な操作をせずに、お近くのサービス窓口にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷のサンプルがあればお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。サービス窓口の電話番号、受付時間については「NECサービス網一覧表」をご覧ください。

なお、保証期間中の修理は、保証書を添えてお申し込みください。
また、プリンターをお持ち込みいただくときは、本書の88 ページや梱包箱に表示されている手順を参照してプリンターを梱包してください。詳しくは、「プリンターを運搬するときは」（88ページ）を参照してください。

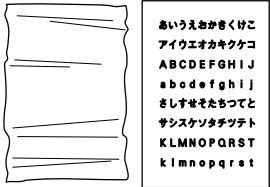
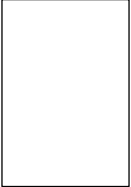
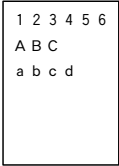
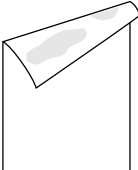
印刷できないときは

プリンターにデータを送ったのに印刷ができないなどの症状、および原因と処理方法を示します。それぞれの方法に従って原因の確認、処理を行ってください。

症状	原因と処理方法
電源ランプが点灯しない	**電源スイッチがOFFになっている。** → 電源スイッチをONにしてください。 **電源コードがきちんと差し込まれていない。** → プリンター側とコンセント側の両方を確認してください。 **コンセントに電気が供給されていない。** → 配電盤などの状態を調べてください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**印刷可ランプが消灯している。** → ［印刷可］スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **プリンターケーブルまたはネットワークケーブルが正しく選択されていない、または正しく接続されていない（データランプ消灯）。** → 22ページおよび活用マニュアルを参照して、プリンターケーブルまたはネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください。 **改ページまたは排出コードがない（データランプ点灯）。** → ［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押して、プリンター内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がなくなったか、または指定されたサイズの用紙がない（印刷可ランプ（赤）点滅）。** → 「3章 用紙のセット」（39ページ）を参照して、用紙を補給してください。 **印刷可ランプ（赤）が点灯している。** → 「アラーム表示が出ているときは」（67ページ）をご覧ください。 **データ送信中（データランプ（橙）点滅）** → プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータがそろわないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。もう少しお待ちください。 **MultiWriter 2130が「通常使うプリンタ」として選択されていない。** → MultiWriter 2130を「通常使うプリンタ」として選択してください。 **コンピューターのメモリーが不足している。** → コンピューターのメモリーを増やしてください。
ホッパーにセットした用紙サイズを認識しない	**用紙サイズ設定ダイヤルの設定が正しくない。** → セットした用紙サイズを用紙サイズ設定ダイヤルで設定してください。 **用紙のセットのしかたが悪い。** → 「ホッパーに用紙をセットする」（42ページ）を参照して、用紙をセットし直してください。
MPから印刷ができない	**給紙方法が自動、ホッパーのいずれかになっている。** → プリンタードライバーの給紙方法をMPに設定し直してください。 **MPにセットした用紙サイズが正しく設定されていない。** → A3、A4、A5、B4、B5サイズをセットした場合は用紙サイズ設定ダイヤルでセットした用紙サイズを設定してください。レターサイズ、はがき、往復はがき、封筒、定形外をセットした場合は、用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定して、［MP］スイッチで用紙サイズを設定してください。（44ページ参照） **用紙をセットしてください。** → 「MPに用紙をセットする」（44ページ）を参照して用紙をセットし直してください。
給紙先をMPに指定していないのに、「MP A4タテ ホキュウ」が表示される。	**印刷データがA4サイズ、用紙種別が普通紙（標準設定）で印刷している場合、ジョブセパレート機能が機能している。** → MPカセットにA4サイズの用紙を縦方向にセットしてください。 → MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルをA4タテ以外に設定してください。 → プリンタードライバーの給紙方法を［自動］以外に設定してください。 → プリンタードライバーのジョブセパレート機能を無効にしてください。ジョブセパレート機能の詳細については、活用マニュアルの4章「より進んだ使い方」を参照してください。

アラーム表示が出ているときは

保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、赤色のランプが点滅または点灯し、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回ずつ鳴ります。

メモリースイッチ3-8の設定がONのときは、ブザーは鳴りません。

次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
ホッパ゜1　A4ヨコ　ホキュウ ホッパーが増設されているときは、この位置にホッパー番号（1、2、3）が表示されます。 給紙先がMPのときは、［MP］と表示されます。	**用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** →　標準カセット、MPカセットのいずれかに表示されているサイズの用紙を補給してください。
ヨウシカセット　ナシ ホッパ゜	**用紙カセットが抜かれている。** →　用紙をセットし、表示された場所の用紙カセットをゆっくり戻してください。
MP　テイケイガ゛イ　ホキュウ フツウシ	**用紙がない。** →　用紙をMPカセットにセットしてください。 **セットされた用紙の確認（MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルが「＊」に設定されていて、すでに定形外の用紙がセットされている場合）。** →　セットした用紙が定形外用紙であることを確認して、［印刷可］スイッチを押してください。 **MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルが「＊」に設定されていない。** →　MPカセットを引き抜き、用紙サイズ設定ダイヤルを「＊」に設定し、用紙を確認してください。
MP　　LT　ホキュウ ヨウシサイズ゛ヲヘンコウシマス	**MPカセットの用紙サイズ設定ダイヤルが「＊」のときに設定の異なる用紙サイズを指定して印刷した。** →　MPカセットを引き抜き、用紙サイズ設定を確認してください。 →　MPカセットを引き抜き、用紙をセットし、用紙サイズ設定ダイヤルで用紙サイズを設定してください。 →　［印刷可］スイッチを押してください。
72　カバ゛ーオープ゜ン	**フロントユニット、トップカバーが開いている。** →　フロントユニット、トップカバーをきちんと閉じてください。
73　EPカートリッジ゛ナシ	**EPカートリッジが取り付けられていない。** →　EPカートリッジを取り付け直してください。EPカートリッジを取り付けた後、フロントユニットをきちんと閉じてください。
74　カミヅ゛マリ ホンタイ 紙づまりが発生した場所が表示されます。	**紙づまりが発生している。** →　「紙づまりのときは」(81ページ) を参照して、つまった用紙を取り除いてください。
75　ヨウシサイズエラー ホッパ゜1 増設ホッパーが選択されているときはホッパー番号（1、2、3）、またはMPが右端に表示されます。	**指定サイズと異なる用紙がセットされている。** →　指定サイズの用紙をホッパーにセットして、［印刷可］スイッチを押してください。 →　MPの場合、用紙サイズ設定ダイヤルと操作パネルの設定がセットされている用紙サイズとあっているか確認してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
76 トナーナシ EPコウカン	**EPカートリッジの交換時期を示している。** → 「EPカートリッジの交換」（59ページ）に従って、EPカートリッジを交換後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。 EPカートリッジを交換しなくても、［印刷可］スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、少しの間は印刷を続けることができますが、トナーランプは点灯を続けます。目的の印刷が終了したら、すみやかに交換してください。また、この状態のままプリンターの電源をOFFにし、再び電源をONにしても“76　トナーナシ”アラームは解除できません。
77 テイキホシュ	**定期保守（定着ユニットなどの交換）の必要な時期を示している。** → 販売店にお問い合わせください。このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありませんので、［印刷可］スイッチを押してプリンターをセレクト状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。“77　テイキホシュ”アラームは、電源をOFFにしても、次にONにしたときに再発生します。
78 ヨウシピ゜ックミス ホッパ゜ ピックミスが発生した給紙口が表示されます。	**用紙ピックミスが発生している。** → この後の「紙づまりのときは」に従って、給紙できなかった用紙を取り除いて再度用紙をセットしてください。
82 メモリオーバ゛ー メモリヲゾ゛ウセツシテクダ゛サイ	**印刷データを蓄えるメモリーが不足している（メモリースイッチ6-2　OFFの場合のみ表示する）。** → ［印刷可］スイッチを押してください。そのページのみ解像度を下げて印刷を行うか、“83　インサツフカ”のアラーム表示をします。 メモリーを増設してください。
83 インサツフカ メモリヲゾ゛ウセツシテクダ゛サイ	**メモリーオーバーで解像度を落として印刷しようとしたが、それでもメモリーが不足している。** → ［印刷可］スイッチを押してください。解像度を落として印刷しようとしたページのデータを廃棄します。 メモリーを増設してください。
84 フォーム オーバ゛ーXXX	**フォーム登録に必要なメモリーが不足している。** → ［印刷可］スイッチを押してください。アラームの対象となった番号（×××）のフォームデータが読み捨てられます。メモリーを増設してください。
88 EPタイプ゛チガ゛イ EPコウカン	**EPカートリッジのタイプが違う。** → 正しいタイプのEPカートリッジを取り付けてください。「EPカートリッジの交換」（59ページ）に従ってEPカートリッジを取り付け後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。
89 EPジ゛ュミョウ EPコウカン	**EPカートリッジの寿命を示している。** → 「EPカートリッジの交換」（59ページ）に従ってEPカートリッジを交換後、フロントユニットとトップカバーをきちんと閉じてください。
XX コールXXX	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。 → ネットワークに接続されたプリンターに印刷しているときにプリンターフォルダーやプリントマネージャの画面から「印刷中止」や「印刷ドキュメントの削除」を行った場合、ネットワーク環境によっては印刷が中断されたことがプリンターに伝わらない場合があります。この場合はプリンター内に印刷データが残ったままとなり次の印刷データと混じることにより、アラームが表示されたり誤印字したりすることがあります。そのような環境でお使いの場合はPrintAgentのプリンタステータスウィンドウのジョブキャンセル機能を使って印刷を中止してください。
上記以外の表示	**障害が発生している。** → 電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもアラームが再発する場合は、プリンターの故障が考えられます。保守サービス窓口に修理をお申し付けください。

印刷に異常が見られるときは

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

症　状	原因と処理方法
用紙にしわが入ったり、文字の周りがにじむとき	**用紙が規格に合っていない。** →　「用紙の規格」（91ページ）を参照して、確認してください。 **サイドガイドが用紙の幅に合っていない。** →　「3章　用紙のセット」（39ページ）を参照して、もう一度用紙をセットし直してください。 **MP給紙の「用紙種類」の設定が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** →　プロパティダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。 **設定濃度が濃すぎる。** →　メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。
用紙が汚れているとき	**プリンターの内部が汚れている。** →　「活用マニュアル」の「清掃」を参照して、よく清掃してください。
印刷が薄いとき	**トナーがない（トナーランプ点灯）。** →　EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（59ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **設定濃度が淡すぎる。** →　メニューモード、プリンタードライバーで濃度を設定し直してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** →　「5 EPカートリッジを取り付ける」（13ページ）を参照して、トナーシールを引き抜いてください。 **MP給紙の「用紙種類」が、セットされている用紙に対して正しく設定されていない。** →　プロパティダイアログボックス、メニューモードで正しい用紙種類を設定し直してください。
何も印刷されない	**トナーがない（トナーランプ点灯）。** →　EPカートリッジの交換時期です。「EPカートリッジの交換」（59ページ）を参照して、EPカートリッジを交換してください。 **EPカートリッジのトナーシールが引き抜かれていない。** →　「5 EPカートリッジを取り付ける」（13ページ）を参照して、トナーシールを引き抜いてください。
真っ黒に印刷されたとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　「EPカートリッジの交換」（59ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直してください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　「EPカートリッジの交換」（59ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。

症　状	原因と処理方法
文字のグレー印刷ができない	**プリンタードライバーの設定が正しくない。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000： プリンタードライバーの[印刷設定]ダイアログボックスを開き、[その他]シートの[文字の表現]で[標準（グレースケール）]が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。 Windows Me、Windows 98、Windows 95： プリンタードライバーの[プロパティ]ダイアログボックスを開き、[フォント]シートの[文字を白黒で印刷する]がチェックされているかどうか確認してください。チェックされている場合は、チェックを外してください。 Windows NT 4.0： プリンタードライバーの[ドキュメントの既定値]ダイアログボックスを開き、[その他]シートの[文字の表現]で[標準（グレースケール）]が選択されているかどうか確認してください。選択されていない場合は、選択してください。
印刷に縦線や横線が入るとき	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　「EPカートリッジの交換」（59ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　「EPカートリッジの交換」（59ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
印刷用紙の裏が汚れるとき	**転写ローラが汚れている。** →　数枚テスト印刷をしてください。 重要　**転写ローラーを直接清掃すると用紙送り不良の原因となるおそれがあります。** **リブプレートが汚れている。** →　「清　掃」（63ページ）を参照して、プリンターの内部を清掃してください。

症　状	原因と処理方法
部分的に白く抜けるとき あいうえおかきくけこ アイウエオカキクケコ A◡◡DEFGHIJ abcdefghij さしすせ　つてと サシスケソタチ KLMNOPQRST klmnopqrst	**用紙が湿気を吸収している可能性がある。** →　「3章　用紙のセット」（39ページ）を参照して、セットしてある用紙をすべて交換してください。 **用紙が規格に合っていない。** →　「用紙の規格」（91ページ）を参照して、確認してください。 **プリンター内部が結露している可能性がある（冬期など）。** →　電源をONにしたまま30分〜1時間放置してから印刷してください。 **EPカートリッジに問題がある可能性がある。** →　「EPカートリッジの交換」（59ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
縦線の形状で白く抜けるとき あ いうえ きくけこ ア ウエ キクケコ A CDE GHIJ a cde fghij さ すせ ちつてと サ スケ チツテト K MN QRST k mn qrst	**EPカートリッジが正しく取り付けられていない。** →　「EPカートリッジの交換」（59ページ）を参照して、EPカートリッジを取り付け直し、数枚テスト印刷をしてください。 **EPカートリッジに問題がある。** →　「EPカートリッジの交換」（59ページ）を参照して、新しいEPカートリッジと交換してください。
正しく印刷できずに文字が化ける	**プリンター切り替え器などを介して印刷している。** →　切り替え器などを介さずにプリンターを接続してください。
改行量（行の間隔）が2倍になる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 1行が2行にわたる 1 2 3 4 5 6 A B C D E F a b c d e f 各行の文字が重なって印刷されてしまう 1 2 3 4 / 5 6 (重なり) A B C D / E F (重なり) a b c d / e f (重なり) 用紙の途中から印刷が始まってしまう 1 2 3 A B C a b c	**アプリケーションで設定した用紙サイズと、使用する用紙サイズが異なっている。** →　ソフトウエアの用紙サイズ設定と使用する用紙のサイズを合わせてください。 →　他の用紙サイズに印刷するか、メニューモードを使ってA4ポートレート桁数を80桁にしてください。 A4ポートレートの用紙に80桁分の印刷（パーソナルコンピューターの画面コピーなど）を行うと、このような症状になることがあります。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。 →　メニューモードを使ってプリンターの136桁モードを有効にしてください。 アプリケーションがシリアルプリンター専用に作られている場合には、136桁モードを有効にすることでこれらの症状は改善されます。特に、「用紙の途中から印刷が始まってしまう」場合には、136桁モードの用紙位置設定を中央合わせにすることで正しい印刷結果が得られるようになります。

思うように印刷できないときは

プリンターの動作がおかしくて思うように印刷ができないとき、プリンターまたはアプリケーションの設定を変えれば、ほとんどの場合は改善できます。

ここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

症　状	原因と処理方法
正常に印刷できない	**他のプリンタードライバーが同一のポートを使用している。** → プリンタードライバーによっては接続先のポート（LPT1:、COM1:など）に対して常に通信を行おうとするため、同一ポートに接続されているプリンターに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタードライバーのポートを本プリンタードライバーと違うポートに変更するか、他のプリンタードライバーを削除してください。 **プリンターのメモリースイッチ5-1がONで、I/F設定が「ECP」になっている。** → お使いのプリンターをWindowsから印刷する場合は、メモリースイッチ5-1をONのままメニューモードのI/F設定メニューの「ソウホウコウセッテイ」を「ニブル」に設定してください。プリンターのI/F設定を変更した場合は、プリンターの電源の再投入が必要となります。 **お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定が異なる。** → お使いのコンピューターのプリンタポート設定とプリンターのI/F設定の動作モードを同じ設定にしてください。 詳しくは、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。 **PrintAgentが正しく動作していない。** → 活用マニュアル9章の「PrintAgentシステムが起動しないときは」を参照してください。 **プリンターと双方向通信ができない。** → 本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（78ページ）を参照してください。
印刷位置が以前使用していたプリンターと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** → アプリケーションの説明書を見て正しく設定してください。アプリケーションによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 **プリンターのA4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている。** → メニューモードでA4ポートレート桁数を78桁にしてください。A4ポートレートの印刷桁数が80桁に設定されている場合には、本来の印刷位置よりわずかに左にずれて印刷されます。したがって、80桁に設定されているプリンターとそうでないプリンターとでは印刷位置が異なります。 **使用している用紙がプリンターの規格に合っていない。** → 「用紙の規格」（91ページ）を参照して、規格に合っているか確認してください。本プリンターのようなレーザープリンターは、用紙送りをローラーの摩擦によって行っています。そのため、他のレーザープリンターと同様に縦方向、横方向とも多少の誤差が発生します。この誤差は用紙によっても異なります。 **以前使用していたプリンターと本プリンターとの間に印刷位置の互換性がない。** → プリンターの印刷位置は、PC-PR2000/6W等のNPDLまたはNPDL（Level2）対応のプリンターおよびPC-PR601、PC-PR602、PC-PR602Rに対して互換性があります。その他のプリンターに対しては印刷位置の互換性はありません。 従来互換の印刷範囲に設定するには、プリンタードライバーの以下に示すシートで設定を変更してください。 ＜Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0＞ ［プロパティ］－［プリンタの設定］シート－［従来互換の印刷範囲］ ＜Windows Me、Windows 98、Windows 95＞ ［プロパティ］－［印刷品質］シート－［従来互換の印刷範囲を使用する］

症　状	原因と処理方法
“データガノコッテイマス”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがありません。** →　［印刷可］スイッチを押して印刷可ランプを消灯させてから、［シフト］スイッチを押しながら［排出］スイッチを押してください。本プリンターはページ単位で処理するプリンターなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンターに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただしコンピューターからのデータ送信が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 **アプリケーションのプリンター設定が「シリアルプリンター」になっている。** →　ページプリンターまたはレーザープリンターを選択してください。ソフトウエアのプリンター設定がシリアルプリンターになっていると、排出コードをプリンターに送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合には、このような症状を防ぐため、各ページの最後に排出コード（0Ch）を付加するようにしてください。 **コンピューターからのデータ送信が途切れている。** →　プリンターへのデータ送信について、プリンタードライバーの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。
ページの途中までしか印刷されない または1ページ分のデータが2ページにわたって印刷されてしまう	**自動排出機能が有効になっている。** →　メニューモードで自動排出を無効にしてください。 プリンターには自動排出機能（コンピューターからのデータの送信が一定時間途切れると、そこまでのデータが自動的に印刷・排出する機能）があります。このとき、コンピューターからのデータ送信が設定した自動排出時間以上に途切れた場合には、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまいます。 また、各OSでプリンターへのデータ送信についてタイムアウト時間を設定できます。このタイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータなどでプリンターのビジー時間が長くなった場合、コンピューターが印刷データの送信を中止する場合があります。その場合にはプリンターの自動排出を無効にするだけでなく、タイムアウト設定の時間を長くしてください。タイムアウト設定の時間変更は各OSのマニュアルを参照してください。
用紙の左側が空白になる（印刷文字が用紙の右側にかたよって印刷される）	**一部のソフトウエアでは、用紙位置が異なる場合がある。** →　メニューモードで136桁モードを有効にし、用紙位置を調整してください。
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** →　プリンターでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。
改行量がおかしくなり、徐々にずれてしまう	**一部のソフトウエアには、ソフトウエアの指定によって改行で用紙を排出するものがある。** →　ソフトウエアの設定をシートフィーダー付きにするか、1ページの長さを67行（A4サイズの用紙の場合）に設定してください。
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピューター環境に最も適した方法でプリンターを指定していない。** →　「2章　プリンターソフトウエアのインストール」（23ページ）を参照して確認してください。 途中で長い時間中断させるような使い方をしている場合に自動排出機能が有効になっていると、ページの途中でもそれまでのデータを印刷・排出してしまうことがあります。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** →　活用マニュアルを参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。動作自動設定を選択している場合は、動作モード設定にて正しいエミュレーションを選択し直してください。

症　状	原因と処理方法
画面の文字と異なる文字が印刷された（続き）	**プリンターケーブルがきちんと接続されていない。** →　プリンター側とコンピューター側の接続状態を確認してください。 **プリンターバッファーや切り替え器を使用している。** →　プリンターバッファーや切り替え器を使用しない接続方法に変更してください。
白紙が出る	**ソフトウエアのプリンター設定がシートフィーダー付きになっている。** →　シートフィーダー付きになっている場合は、メニューモードで「136 桁モード」を有効にしてください。
丁合い印刷ができない または多部数印刷ができない	**プリンターと双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（78ページ）を参照してください。 →　双方向通信が行えない環境の場合は、電子ソート機能を有効にする必要があります。電子ソート機能を有効にするためにはプリンターにメモリーを増設し、プリンタードライバーの設定を変更する必要があります。詳しくは、活用マニュアル4章の「電子ソート機能」をご覧ください。 →　アプリケーションの丁合い印刷、または部数印刷を設定してください。
印刷速度が遅い	**プリンターバッファーなどを取り付けている。** →　コンピューター本体とプリンターを市販のプリンターバッファー、プリンター切り替え器、プリンター共有器、コピープロテクターなどで接続している場合には、プリンタードライバーの双方向通信機能を無効にする必要があります。本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（78ページ）を参照して、双方向通信機能を無効にしてください。 **プリンターと双方向通信ができない。** →　本章の「PrintAgentの機能を十分に発揮させるために」（78ページ）を参照してください。 **Microsoft Windowsのターミナルサービス環境で印刷している。** →　本章の「その他の注意事項」（79ページ）を参照してください。
B4、B5サイズで印刷できない	**プリンタードライバーの用紙サイズ設定が異なっている。** →　Windows XP、Windows Server 2003、Windows NT 4.0を使用している場合は「用紙サイズ」で「B4(JIS)」または「B5(JIS)」を選択してください。

プリンターをリセットする方法について

プリンターをリセットするには以下の手順で行います。

❶ ［シフト］スイッチを押した状態で［リセット］スイッチを2回続けて押す。

ディスプレイに“リセットジッコウ”と表示し、未印刷データは消失され、プリンターは初期状態になります。

❷ リセット後、ブザーが2回鳴ったことを確認する。

PrintAgentを正しく動作させるために

PrintAgentはネットワーク環境で使用することで、より効果を発揮します。以下はPrintAgentを正常に機能させるための注意事項についてネットワーク関連の設定を中心に説明します。

PrintAgentを動作させる前に

PrintAgentが利用できるネットワーク環境について

PrintAgentはネットワーク環境で、プリンターを次の形態でご使用の場合にご利用できます。

- オプションのLANアダプターでプリンターがネットワークに接続されている。(対応している型番については活用マニュアルの「1章 オプション」をご覧ください。)
- 無線LAN環境ではオプションの無線LANプリンタアダプタ(型番 PR-WL-01)で接続されている。
- 共有プリンターの場合(クライアント・サーバー接続)、プリントサーバーコンピューターのOSがWindows XP、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で、プリントサーバーコンピューターに本プリンターソフトウエアがインストールされている。
- お使いのコンピューターに、ネットワークに接続するためのネットワークボード/カード/アダプターなどを接続し、ネットワークの設定にTCP/IPプロトコルがインストールされている。
  詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンターをお使いになるためには、あらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

PrintAgentをインストール/アンインストールする時の注意事項

PrintAgentをインストールまたはアンインストールする時は以下のことに注意してください。

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- [PrintAgentセットアップ]のウィンドウが閉じるまで、CD-ROMやフロッピーディスクなどインストール元のメディアを取り出さないでください。
- PrintAgentのインストールまたはアンインストール終了後、再起動を促すメッセージが表示されることがあります。画面の指示に従ってコンピューターを再起動してください。
- インストール時に指定したPrintAgentソフトウェアのフォルダー(ディレクトリー)名を変更するとアンインストールできません。インストール時のフォルダー(ディレクトリー)名に戻してからアンインストールしてください。
- プリンターのプロパティダイアログボックスを表示している時、およびMultiWriterが印刷中の時、PrintAgentをアンインストールすることができません。プリンターのプロパティダイアログボックスを閉じ、印刷が終了してからアンインストールしてください。

- Windows XP、Windows Server 2003で、インストールしようとしているコンピューターに他のユーザーがログオンしている場合は、インストールはできません。各ユーザーに切り替えてすべてのユーザーをログオフしてからインストールしてください。
- Windows XPにPrintAgentをインストールまたはアンインストールするユーザーは、アカウントの種類が[コンピュータの管理者]である必要があります。また、Windows Server 2003、Windows 2000またはWindows NT 4.0にPrintAgentをインストールまたはアンインストールするには、[Administrators]または[DomainAdmins]グループのメンバーである必要があります。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0でPrintAgentをインストールする場合、アクセス権により使用可能なユーザーが制限されているフォルダー（ディレクトリー）にインストールしないでください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0で[プリンタの追加ウィザード]より、他のコンピューターに接続されたプリンターを指定してインストールしたプリンタードライバーをPrintAgentで使用している時に、さらに[プリンタの追加ウィザード]でローカル接続のプリンタードライバーをインストールする場合は、[現在のドライバを使う（推奨）]ではなく、[新しいドライバに置き換える]を選択してインストールしてください。
- Windows XP、Windows Server 2003の場合は[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]より、Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合は[コントロールパネル]の[アプリケーションの追加と削除]より起動したPrintAgentの追加と削除でPrintAgentオプションの追加をすると、セットアップに必要なファイル*を要求する画面が表示される場合があります。この場合は、以前にインストールで使用したプリンターソフトウエアCD-ROMを挿入するか、もしくはプリンターソフトウエアCD-ROMよりインストールプログラムを実行しカスタムインストールにてPrintAgentのオプションを追加してください。

  * フロッピーディスクをご利用の場合、メッセージに従ってNMPSディスクを使用してください。

共有プリンターの利用/提供について

Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000およびWindows NT 4.0で、共有プリンターの提供の設定は[コンピュータの管理者]およびAdministrators権限のある方が変更できます。
[共有プリンタを利用する]、[共有プリンタを提供する]は、通常はONのままで支障ありませんが、次の場合はOFFにすることをお勧めします。

- **ネットワークの回線速度が遅い**

  低速回線を経由する共有プリンターに対して、PrintAgentを使用すると、通信速度の関係でプリンタステータスウィンドウなどの操作がしにくかったり、状態の表示が遅れたりすることがあります。この場合は、[PrintAgentのプロパティ]で[共有プリンタを利用する]のチェックを外してください。ネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にすることができます。この場合、この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。
- **転送データ量に応じて課金されるネットワーク環境**

  転送データ量に応じて課金される従量課金制のネットワークを経由してPrintAgentを使用している場合に、PrintAgentの双方向通信によってデータ転送が発生し、課金されることがあります。
  考慮すべきネットワーク環境の例としては以下のケースがあります。

  － ネットワークプリンターが、公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合

– プリントサーバー、DNSサーバー、WINSサーバーが公衆回線を経由した別のネットワーク上に存在する場合

– ローカルネットワークの通信自体が課金ネットワークの場合
これらを避けたい場合にも、上記操作によってネットワーク共有プリンターについてのPrintAgentの双方向通信機能を無効にしてください。

- **コンピューターの処理能力が十分でない**
  コンピューターの性能があまり高くない場合、PrintAgentのご利用により、他の作業の処理速度に影響する可能性があります。この場合、この設定を外してもローカルに接続しているプリンターでは、引き続きPrintAgentがご利用になれます。

従量課金回線での課金を最小限（印刷時のみ）とするためには

- クライアントコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを利用する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューター側で[PrintAgentのプロパティ]の[共有プリンタを提供する]のチェックを外します。
- サーバーコンピューターがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合は、プリンターの[プロパティ]の［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタの双方向通信機能をサポートしない］を選択してご利用ください。
- サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は［プリンタのプロパティ］、Windows NT 4.0の場合は［デバイスプロパティ］の［ポート］－［双方向サポートを有効にする］のチェックを外してご利用ください。
- Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の環境でStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷する場合は、［SNMPステータスを有効にする］のチェックを外してください。

クライアント・サーバーシステムでお使いの場合

PrintAgentをクライアント・サーバーシステムでお使いの場合、以下のことに注意してください

- PrintAgentはローカルプリンターに対してもネットワーク上の共有プリンターに対しても使用できます。ただし、ネットワーク上で使われる場合PrintAgentソフトウエアはサーバーコンピューター、クライアントコンピューター両者にインストールされている必要があります。
- 1台のサーバーコンピューターに接続されたクライアントコンピューターの中でPrintAgentを使用するクライアントコンピューターは30台以下を推奨します。サーバーコンピューターの性能やネットワークトラフィックによっては、印刷時にプリンターの状態情報が取得できなくなる、クライアントコンピューターでオフライン作業になる、またはネットワークプリンターの状態が不明になる場合があります。このような場合、印刷時以外は[PrintAgentのプロパティ]の設定の[共有プリンタを利用する]のチェックを外してPrintAgentを動作させないようにするか、PrintAgentを終了させて運用してください。
- プリントサーバーコンピューターには64Mバイト以上のメモリーを搭載し、運用することを推奨します。（Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000日本語版をプリントサーバーコンピューターとしてご利用の場合には、256Mバイト以上を推奨します。）

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために

PrintAgentの機能を十分に発揮させるために、双方向通信でお使いになることをお勧めします。

- 双方向通信が可能なポートに接続してください。

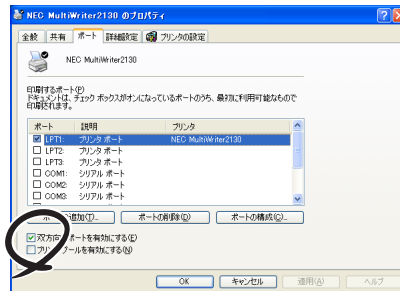
OS	パラレルインターフェース接続	USB インターフェース接続	LAN 接続
Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000	LPTx	USBxxx	NEC Network Port
Windows Me、Windows 98、Windows 95	LPTx	USBxxx*	NEC TCP/IP Printing System
Windows NT 4.0	LPTx	- - -	NEC Network Port

*Windows 95には対応していません。

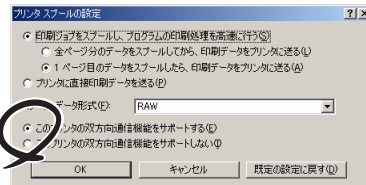
- 上記の表以外のポートでご利用の場合には双方向通信を無効に設定してください。この場合、PrintAgentの機能はご利用になれません。
- ネットワークオプションのマルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）はPrintAgentに対応していません。

- 双方向通信を有効にしてください。

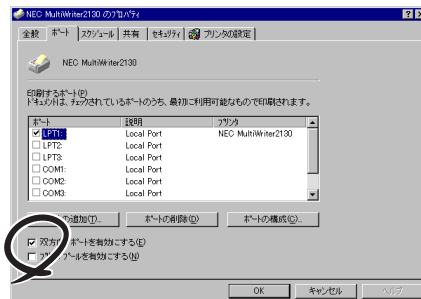
<Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］をチェックする。

<Windows Meの場合>

［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタの双方向通信機能をサポートする］を選択する。

<Windows 98、Windows 95の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスの［詳細］－［スプールの設定］－［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択する。

<Windows NT 4.0の場合>

［プロパティ］ダイアログボックスで［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］をチェックする。

その他の注意事項

PrintAgentを動作させる前に、以下のことに注意してください。

- ネットワーク共有プリンターが直接つながっているコンピューターのOSがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000、Windows NT 4.0の場合、プリンタープールはサポートしていません。サーバーコンピューター上ですべてのプリンターのプリンタープールを無効にする必要があります。サーバーコンピューターがWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000の場合は[プリンタのプロパティ]、Windows NT 4.0の場合は［デバイスプロパティ］の［ポート］－［プリンタプールを有効にする］のチェックを外してください。[プリンタプールを有効にする]をチェックした場合、プリンターの状態が正しく表示されません。権限がない場合は管理者に連絡してください。
- PrintAgentがサポートしているネットワークプロトコルはTCP/IPです。また、LANアダプターを装着したプリンターと接続する場合、サポートしているネットワークプロトコルもTCP/IPのみです。
- PrintAgentは、Windows Server 2003, Enterprise Edition 日本語版、Windows Server 2003, Datacenter Edition 日本語版、Windows 2000 Advanced Server、Windows 2000 Datacenter Server、Windows NT Server, Enterprise Edition 4.0のクラスタ機能を使ったクラスタリングシステム、あるいはWindows NT Server 4.0, Terminal Server Edition、Windows 2000のTerminal Service、Windows Server 2003（リモートデスクトップによる接続を含む）を実装したシステムには対応していません。これらのシステムでは、PrintAgentが正常に動作しない場合がありますので、PrintAgentをインストールしないでご利用ください。またこれらのシステムでご使用の際には、双方向通信に対応していないプリンタードライバーをお使いください。双方向通信に対応していないプリンタードライバーは添付のプリンターソフトウエアCD-ROMの以下に収録しています。

  － Windows Server 2003、Windows 2000対応プリンタードライバー：¥MW2130¥WIN2KTS
  － Windows NT 4.0対応プリンタードライバー：¥MW2130¥NT40TSE

  プリンタードライバーのインストール方法については、活用マニュアルの3章の「ターミナルサービス用プリンタードライバーのインストール」を参照してください。また、OSの「プリンタの追加」機能で上記のフォルダーを指定することでプリンタードライバーのインストールを行なうこともできます。
- PrintAgentをインストール時に指定するPrintAgentモジュールのフォルダー名（指定しなければ「PrintAgent」になります）はインストール終了後に変更しないでください。フォルダー名を変更するとアンインストールが正常に行えません。また、PrintAgentが正しく動作しません。Windows 3.1やDOS上でフォルダーの移動などを行うと、フォルダーの名前が「PRINTA~1」などに変わってしまう場合があります。
- プリンターソフトウエアをインストールする際に指定する出力ポート（インターフェースコネクター）に、プリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーを使用している場合、PrintAgentはご利用になれません。PrintAgentをインストールしないでご利用ください。また、PrintAgentを利用する場合は、出力ポート（インターフェースコネクター）からプリンターインターフェース変換アダプターやプリンターバッファーなどを取り外してお使いください。
- ドメインに参加していないWindows XPをプリントサーバーとしてご使用の場合、プリンタステータスウィンドウやリプリントが正しく動作しない場合があります。
- コンピューターのOSがWindows Me、Windows 98、Windows 95の場合でネットワークアダプターが他のインターフェースなどと同一の割り込み要求（IRQ）に設定されていると、Windows起動時にエラーが発生することがあります。このような場合は、使用していないインターフェースの割り込み要求（IRQ）を解放し、ネットワークアダプターで使用する割り込み要求（IRQ）と競合しないように設定を変更してください。割り込み要求（IRQ）の解放、変更についてはお使いのコンピューター、ネットワークアダプターの取扱説明書または各OSのヘルプなどを参照してください。

- PrintAgent はプリンタステータスウィンドウの表示に加えて音声メッセージを通知させることもできます。この機能を利用できるのはPCM録音・再生など「サウンド機能」を持ったコンピューターです。お手持ちのコンピューターが音声メッセージ機能を使用できるかどうかはコンピューターに添付のマニュアルをご覧ください。

PrintAgentの動作中は

コンピューターにPrintAgent対応プリンターが複数インストールされている場合、プリンタステータスウィンドウを表示させるとき、ダイアログボックスで「プリンタの選択」を要求されることがあります。

PrintAgentの制限事項

- PrintAgentとプリンターポートを直接アクセスしてプリンターの状態を監視するユーティリティー（DMITOOLなど）を同時に使用すると正しく動作しない場合があります。このような場合は、お使いのユーティリティーに応じて、プリンターの監視を行わないように設定してください。
- プリンターとお使いのコンピューターのプリンターポート（パラレルポート）の設定が異なる場合、PrintAgentの動作に不具合が生じることがあります。（例えば、コンピューターはECPモード、プリンターはニブルモードといった場合です。）双方の設定を合わせてご使用ください。設定を変更する場合、お使いのコンピューターの取扱説明書を参照して、プリンターポート（パラレルポート）の設定を変更するか、プリンターの設定を変更してください。プリンターの設定を変更するには活用マニュアルを参照してください。

OSをアップグレードする場合

お使いのコンピューターのOSをアップグレードする場合、以下のことに注意してください。

- OSをアップグレードする前に、活用マニュアルの「プリンタードライバーの削除」、「PrintAgentの追加・削除」の手順に従ってプリンタードライバーおよびPrintAgentを削除してください。OSをアップグレードした後に、再度プリンターソフトウエアをインストールしてください。
- 従来OS用のPrintAgentはWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000では使用できません。Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows NT 4.0、Windows 3.51からWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードする場合は、PrintAgentをアンインストールしてからWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000へのアップグレードを行ってください。OSのアップグレードが正しく行えた後に、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000に対応したPrintAgentをインストールし、ご使用ください。

✔チェック

- アップグレード前のOSがWindows 3.51で、他のMultiWriterシリーズやPrintAgent対応プリンターのPrintAgentをインストールしてご使用の場合、PrintAgentのアンインストールした後、Windows 2000へのアップグレードを行うと正しくアップグレードできないことがあります。できなかった場合には「PrintAgent Eraser」をWindows 3.51上で使用して、PrintAgentを削除してください。
- すでにOSをWindows XP、Windows Server 2003、Windows 2000にアップグレードしてしまった場合、PrintAgentをアンインストールせずに、Windows XP、Windows Server 2003、Windows 2000上で「PrintAgent Eraser」を使用してPrintAgentを削除してください。
「PrintAgent Eraser」は添付のプリンターソフトウエアCD-ROMに収録されている「¥PAeraser¥Readme.txt」をご覧ください。
- Web PrintAgentは、OSのアップグレード時に停止されます。アップグレード後、インターネットインフォメーション サービス（IIS）のWebサイトを再び開始してください。

紙づまりのときは

紙づまりが発生すると、操作パネルの印刷可（赤）ランプが点滅し、ディスプレイに“74　カミヅマリ　ホンタイ　キュウシ”、または“78　ヨウシピックミス　ホッパ　MP”と表示されます。同時にプリンターは印刷を中止し、ディセレクト状態（印刷可ランプが赤色に点滅）になります。

紙づまりの発生箇所

紙づまり、またはピックミス（用紙給紙ミス）のときのディスプレイ表示と発生箇所は次のとおりです。ディスプレイ下段の表示は紙づまり、またはピックミス（用紙給紙ミス）が発生している箇所を表しています。A～Cで示す網掛け部分が紙づまり、またはピックミスの発生箇所です。処理手順については次ページ以降を参照してください。

C 給紙部

74　カミヅマリ
キュウシ

PrintAgent PSW - NEC MultiWriter2130
ドキュメント(D)　オプション(O)　ヘルプ(H)
紙づまりです
給紙部につまった用紙を取り除いてください。詳しくはヘルプをご覧ください。
機種 - MultiWriter2130　接続先 - LPT1:

B 本体部

74　カミヅマリ
ホンタイ

PrintAgent PSW - NEC MultiWriter2130
ドキュメント(D)　オプション(O)　ヘルプ(H)
紙づまりです
本体部につまった用紙を取り除いてください。詳しくはヘルプをご覧ください。
機種 - MultiWriter2130　接続先 - LPT1:

定着ユニット

A 用紙カセット

78　ヨウシピックミス
ホッパ

ピックミスが発生した給紙口が表示されます。

PrintAgent PSW - NEC MultiWriter2130
ドキュメント(D)　オプション(O)　ヘルプ(H)
ピックミスです
ホッパ1の用紙をセットし直してください。
機種 - MultiWriter2130　接続先 - LPT1:

例：増設ホッパ（250）

例：増設ホッパ（500）

⚠注意　定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっていますので手を触れないよう十分に注意して、つまった用紙を取り除いてください。

紙づまり、ピックミスの発生箇所

ピックミス（用紙給紙ミス）の処理

発生箇所（A）に応じて、ピックミス（用紙給紙ミス）の処理をしてください。

チェック

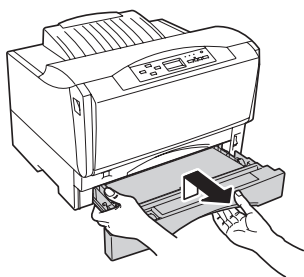
- 給紙されなかった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。
- ピックミスが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」（87ページ）を参照してピックミスを誘発させる事柄がないか確認してください。
- 給紙できなかった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります

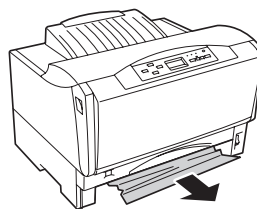
A 用紙カセット

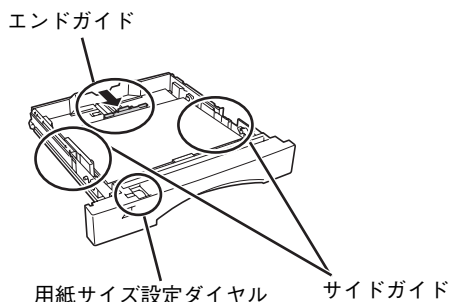
用紙カセットでピックミスが発生した場合の処理方法を説明します。

❶ **操作パネルの表示でピックミスが発生した箇所を確認する。**

❷ **プリンターの電源をONにしたまま、ピックミスが発生した箇所の用紙カセットをゆっくりと取り外す。**

用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。カセットを両手で上に軽く持ち上げ持って取り外してください。

❸ **給紙されなかった用紙を取り除く。**

給紙されなかった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります。

❹ **用紙のセット方法、およびセットした用紙の種類が正しいか確認する。**

用紙カセットカバーを外し、エンドガイドとサイドガイドの位置が正しいか確認してください。「3章 用紙のセット」（39ページ）を参照してください。

❺ **用紙カセットを取り付ける。**

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

紙づまりの処理

発生箇所（B、C）に応じて、紙づまりの処理をしてください。

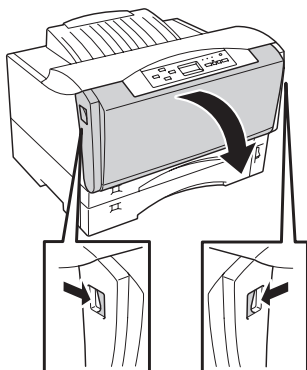
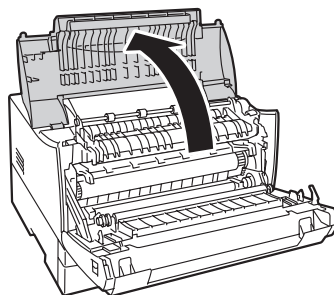
- つまった用紙を取り除くことができたら、カバー類を閉めてください。完全に取り除かれていればアラームは解除され、自動的に印刷は再開されます。紙づまりが頻発するようでしたら、「ピックミス、紙づまり処理後の確認」（87ページ）を参照して紙づまりを誘発させる事柄がないか確認してください。
- つまった用紙は、このマニュアルの手順どおりに取り除いてください。無理に引き抜こうとすると、用紙が破れ、残った紙片がプリンターの正しい用紙送りを妨げることがあります。
- 紙づまりが発生した場合、つまった用紙が取り除かれると、紙づまりによって正しく排出されなかった用紙の印刷データから印刷を再開します。しかし、紙づまりが発生した位置によっては、正しく排出されなかった印刷データから印刷を再開できない場合があります。

B　本体部の紙づまり

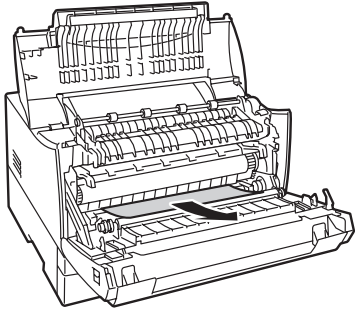
本体部で紙づまりが発生した場合の処理方法を説明します。

定着ユニット周辺、およびプリンター内部の金属部は高温になっています。触れるとやけどをするおそれがありますので、十分に注意してください。

❶ プリンターの電源を ON にしたまま左右のフロントユニット開閉レバーを押しながら手前に引いて、フロントユニットをゆっくりと開ける。

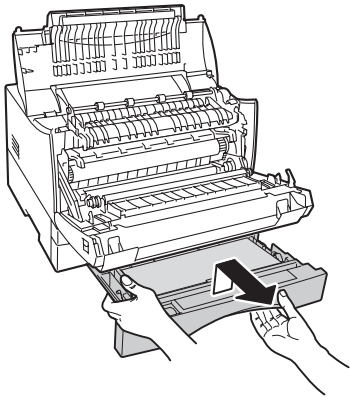
フロントユニットが開いて止まります。

❷ トップカバーの左右を持ち、ゆっくりと開ける。

6 故障かな?と思ったら

❸ **つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと手前に引き抜く。**

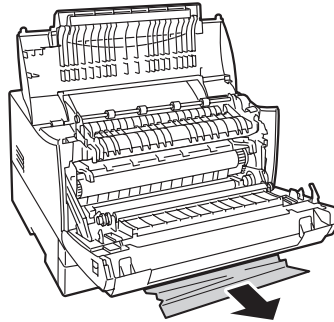
用紙がローラーにかかっていないときは、用紙をしっかりと持って手前にゆっくりと引き抜きます。つまった用紙が見つからない場合は、手順❻に進んでください。

❹ **トップカバーをゆっくりと閉じる。**

❺ **フロントユニットをゆっくりと閉じる。**

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

❻ **標準カセット、またはMPカセットを両手で軽く上に持ち上げてゆっくりと取り外す。**

❼ **つまった用紙の両端をつまんで、ゆっくりと下方向に引き抜く。**

つまっている用紙が見つからなかった場合は、そのまま次の手順へ進んでください。

つまった用紙は用紙カセットから取り去って、再セットしないでください。
用紙の折れ曲がりなどにより紙づまりの原因となります

❽ **トップカバーをゆっくりと閉じる。**

❾ **フロントユニットをゆっくりと閉じる。**

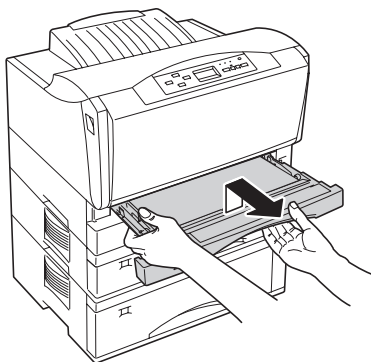
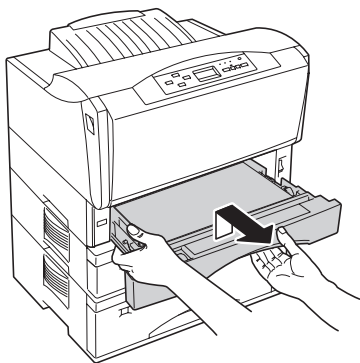
❿ **取り外した標準カセット、またはMPカセットを取り付ける。**

C　給紙部の紙づまり

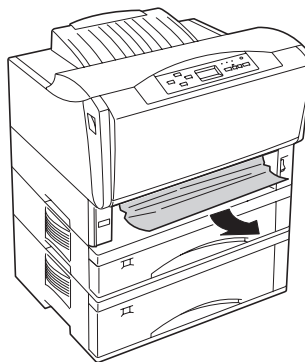
給紙部で紙づまりが発生した場合の処理方法を、増設ホッパーを装着した場合を例にして説明します。

重要

- 用紙カセットを取り外すときは、両手で持ってください。
- 用紙カセットを取り外すときは、ゆっくりと引き出してください。用紙カセットを強く引き出すと、つまっている用紙が切れてしまい取り除けなくなるおそれがあります。

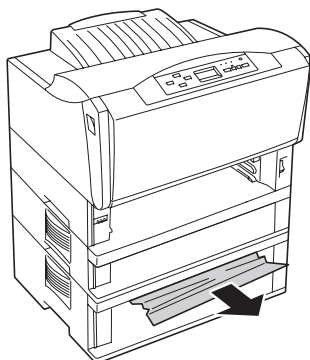
❶ **MPカセットを両手で軽く上に持ち上げてゆっくりと取り外す。**

❷ **標準カセットを両手で軽く上に持ち上げてゆっくりと取り外す。**

❸ **つまった用紙をゆっくり引き抜く。**

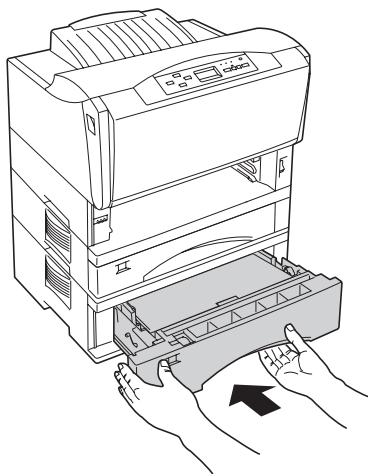
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。

つまった用紙が見つからない場合は、手順❺に進んでください。

❹ **標準カセット、MPカセットを取り付ける。**

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

❺ **つまった用紙が見つからない場合は、増設カセットを上から順番に取り外し、つまった用紙を取り除く。**

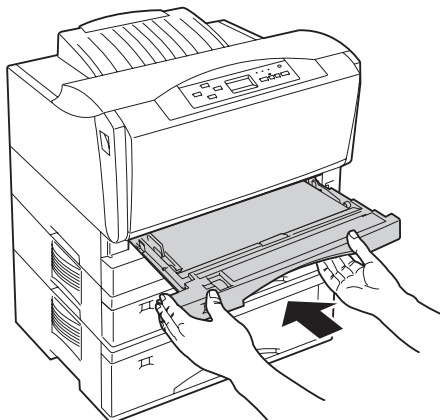
用紙を強く引っ張ると、途中で切れてしまい、用紙が取りづらくなりますのでゆっくりと引き抜いてください。

重要

用紙カセットを取り外すとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り外してください。

❻ **増設カセットを取り付ける。**

重要

用紙カセットを取り付けるとき、用紙がセットされていると重くなっています。両手で持って取り付けてください。

❼ **標準カセット、MPカセットを取り付ける。**

つまった用紙が取り除かれていれば、アラームが解除され、自動的に印刷は開始されます。これで終わりです。

ピックミス、紙づまり処理後の確認

給紙できなかった用紙または、つまっていた用紙を取り除いたら、紙づまりの再発を防止するために次の事項を確認してください。

□ 用紙の破片が紙づまりした場所に残っていませんか。

□ 用紙は正しくセットされていますか。

□ セットした用紙サイズと用紙サイズ設定ダイヤルの設定は合っていますか。

□ 用紙は規格内のものを使用していますか。また、「用紙の規格」(91 ページ)に記載されている事柄は守られていますか。

□ 用紙の量が多すぎませんか。エンドガイドおよびサイドガイドの最大積載表示(▽)以下にセットされていますか。(坪量64.0g/m^2(連量55kg)の普通紙で、標準ホッパーの容量は約250枚です。)

□ 一度印刷した用紙を使用していませんか。

□ プレ印刷用紙(すでに罫線などが印刷されている用紙)を使用していませんか。

□ フロントユニット、トップカバーは確実に閉じられていますか。

□ 標準カセット、MPカセット、または増設カセットが奥までまっすぐに差し込まれていますか。

□ 標準カセット、MPカセット、または増設カセット内のサイドガイドおよびエンドガイドが用紙サイズに合っていますか。

上記の確認後、「テスト印刷をする」(18ページ)に従って印刷が正しく行われることを確認してください。(紙づまり処理直後はローラーなどに付着したトナーで用紙が汚れることがあります。数ページ、テスト印刷をしてください。)

プリンターを運搬するときは

引っ越しや修理などでプリンターを運搬するときは、次の手順でプリンターから付属品、消耗品、およびオプションを取り外してから行ってください。

❶ **付属品および消耗品（EPカートリッジ、用紙カセット、用紙、電源コード、プリンターケーブル）を取り付けたときと逆の手順で取り外す。（「1章 プリンターの設置」を参照してください。）**

重要

どの付属品を取り外すときも、電源がOFFになっていることを確認してください。

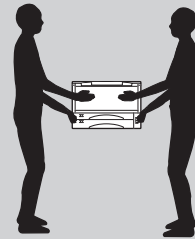
❷ **オプションを取り付けている場合は、各オプションの取扱説明書か、活用マニュアルを参照して取り外す。**

❸ **購入時の箱や緩衝材がない場合は、プリンターに衝撃を与えないよう柔らかいもので保護し、静かに運搬する。**

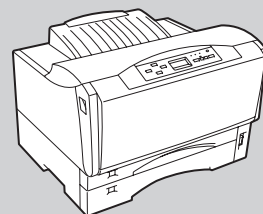
注意

プリンターの質量は約15.2kgです（EPカートリッジ含まず）。

1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。

また、プリンターの重心は前面にありますので、前面方向へ倒れないように注意してください。

プリンター・消耗品を廃棄するときは

- プリンターの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合わせください。また、廃棄の際はEPカートリッジを取り外してお出しください。
- NEC製EPカートリッジは地球資源の有効活用を目的として回収し、再利用可能な部品は再利用しています。ご使用済みのNEC製EPカートリッジは捨てずに、EPカートリッジ回収センターに直接お送りいただくか、お買い上げの販売店、または添付の「NECサービス網一覧表」に記載されているサービス施設まで、お持ち寄りください。なお、その際はEPカートリッジの損傷を防ぐため、ご購入時の梱包箱に入れてください。回収については、6章の「EPカートリッジの回収と購入」（60ページ）を参照してください。
- 本書はリサイクルに配慮して製本されています。本書が不要となった際には、資源回収またはリサイクルにお出しください。

付録

仕　様

項目	内容
印刷方式	電子写真記録方式 露光方式：レーザーダイオード＋ポリゴンスキャナー 現像方式：1成分乾式
印刷速度* （A4サイズ横置き、 ホッパー給紙片面印刷時）	約17ページ/分 ＜補足＞ ● A4サイズ縦置き給紙で連続印刷100枚までの場合は、約13.3ページ/分になります。ただし、100枚を超える連続印刷を行った場合は約10〜12ページ/分になります。 ● はがき、往復はがき横置き給紙で連続印刷30枚までの場合は、約7.5ページ/分になります。ただし、30枚を超える連続給紙印刷を行った場合は約4.5ページ/分になります。
ウォームアップの待ち時間 （室温20℃）	電源投入時：15秒以下 節電時：　9.5秒以下
ファーストプリントタイム	A4サイズ：約7秒（横置き、ホッパー給紙） A3サイズ：約9.5秒（ホッパー給紙） B4サイズ：約9秒（ホッパー給紙）
用紙容量	標準ホッパー：250枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合 MP：　100枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合
スタック容量	250枚、坪量64.0g/m^{2}の普通紙（連量55kg相当）の場合
ドット間隔	0.0423×0.0423mm（1/600×1/600インチ）
CPU	RM5231A（200MHz）
メモリー	標準12MB、最大268MB（オプション増設時）
オプションメモリーソケット	1ソケット（SO-DIMM用）

* 印刷速度は連続印刷の場合の最大値です。最初のページ、また印刷データの内容あるいはコンピューターからのデータの送り方などによって異なります。

項目		内容
インターフェース		IEEE1284規格準拠双方向パラレルインターフェース（背面に1つ装備）、USB2.0に準拠*1（背面に1つ装備）
環境		動作温度：10～35℃、動作湿度：20～80%（RH）ただし結露しないこと 保管温度：0～35℃、保管湿度：10～80%（RH）ただし結露しないこと 塵埃量：一般事務室程度 ガス成分：一般事務室程度 気　圧：1013 ～ 752.4hPa（海抜0～2500m）
騒音 （音圧レベル、A補正）		動作時：50dB以下 待機時：36dB以下
電源		電　圧：AC 100V± 10% 周波数：50/60Hz± 1Hz
消費電力*2	動作時最大*3	プリンター単体時：830W以下（840VA以下） フルオプション時：850W以下（860VA以下）
	動作時平均	プリンター単体時：400W以下
	節電モード時	20W以下（節電モード0：工場出荷時）、15W以下（節電モード1）
外形寸法		459（幅）x 583（奥行き）x 319mm（高さ）（カセット伸長時、突起部除く） 459（幅）x 448（奥行き）x 319mm（高さ）（カセット縮小時、突起部除く）
質量		約15.2kg（EPカートリッジ、オプション含まず） 約17.0kg（EPカートリッジ含む、オプション含まず）
製品寿命*4		印刷枚数60万枚または使用年数5年のいずれか早い方
消耗品寿命		EPカートリッジ（本体添付）：　約6,000枚（印刷枚数） （ただしA4用紙、画像面積比5%印刷時）
言語		• NPDL Level 2（201PLエミュレーション含む） • ESC/Pエミュレーション
内蔵フォント		明朝体-Lアウトラインフォント、ゴシック体-Mアウトラインフォント、OCR-B相当文字*5、バーコード*5、*6（カスタマバーコード、JAN（8桁、13桁）、Code 39、NW-7、Industrial 2 of 5、Interleaved 2 of 5、UCC/EAN-128）
対応OS		• Microsoft Windows XP 日本語版*7、*8 • Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版*7 • Microsoft Windows 98 日本語版*7 • Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版*7 • Microsoft Windows 95 日本語版 • Microsoft Windows Server 2003 日本語版*7、*9 • Microsoft Windows 2000 日本語版*7 • Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 • 日本語MS-DOS （ver 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver. J5.0/V以上（DOS/V） • Mac OS日本語版*10

*1 USB インターフェースは、すべての USB 対応機器について動作を保証するものではありません。

*2 電源プラグがコンセントに差し込まれていても、電源スイッチが切れた状態では電力の消費はありません。

*3 最大値は瞬間的ピークを除いた値です。

*4 10 万枚印刷毎に定期交換部品の交換が必要です。

*5 OCR-B 相当印刷やバーコード印刷の読みとりについては、OCR 装置、バーコードスキャナでの評価が必要です。ご使用の前にあらかじめご確認されることをお勧め致します。

*6 MS-DOS などのアプリケーションがプリンターの制御コードを発行できる環境で使用できます。

*7 USB インターフェース接続において、OS のアップグレードの組み合せによっては、正常に動作しない場合があります。また、PC-9821 シリーズの USB インターフェース接続には対応していません。

*8 Windows XP 64-Bit Edition には対応していません。

*9 64 ビットバージョン Windows Server 2003 には対応していません。

*10 Mac OS 対応プリンタードライバーは「http://nec8.com/」で提供しています。詳細は、同 Web ページをご覧ください。

用紙の規格

用紙の種類	寸法	坪量	表面電気抵抗
普通紙 **（乾式 PPC 用紙）**	A3判（297×420mm） A4判（210×297mm） A5判（148×210mm） B4判（257×364mm） B5判（182×257mm） レターサイズ （約216×約280mm） 定形外用紙 （100〜297×148〜420mm） （定形外用紙はMPのみ）	ホッパー給紙：64〜81.4g/m^2（連量*55〜70kg） MP給紙：64〜81.4g/m^2 （連量*55〜70kg）	1×10^9〜1×10^{12}Ω
厚紙		MP給紙：81.4〜128g/m^2 （連量*70〜110kg）	
はがき 官製はがき、官製往復はがきと同等の寸法、坪量のものを使用してください。ただし、往復はがきは折り目がないものを使用してください。	官製はがき （100×148mm） 官製往復はがき （200×148mm）	MP給紙：157g/m^2 （連量*135kg）	—
OHP フィルム 乾式PPC用、表面処理されているものを使用してください。	A4判（210×297mm）	厚さ：0.1mm± 0.025mm （100μm± 25μm）	—
ラベル紙 乾式PPC用、台紙全体がラベルで覆われたものを使用してください。	A4判（210×297mm） B4判（257×364mm）	—	—
封筒 洋形4号、内カマス、のりなしのものを使用してください。ただし材質によってご使用になれない場合があります。	105×235mm	—	—

* 連量とは、用紙788×1091mm（四六判）のサイズの用紙1000枚あたりの重さを示します。

一般的に使用されている連量55kg相当の用紙に関して弊社で推奨している紙質特性を以下に示します。
用紙メーカーに用紙を発注するときは下記の値を参照ください。

- 坪量　64〜67g/m^2（JIS P8124）
- 紙厚　0.085〜0.092mm（JIS P8118）
- 平滑度 25〜50sec（JIS P8119）
- 剛度　60cm^3/100以上（クラーク式：JIS P8143）
- 表面電気抵抗 1×10^9〜1×10^{12}Ω

高調波電流規格JIS C 61000-3-2適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性－第3-2部：限度値－高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

また、ネットワークオプション*のマルチプロトコルLANアダプタ（型番：PR-NPX-05）を取り付けた場合、この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。

なお、この装置にネットワークオプション* LANアダプタ（TCP/IP）（型番：PR-NP-02T2／PR-NP-03TR2）、無線LANプリンタアダプタ（型番：PR-WL-01）を接続して使用した場合、接続したオプションを含むプリンター全体としては、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置になります。
この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

* オプションの詳細については活用マニュアルの「1章 オプション」を参照してください。

海外でのご使用について

この装置は、使用を前提としているため、海外各国での安全規格などの適用認定を受けておりません。したがって、本装置を輸出した場合に当該国での輸入通関、および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

プリンターの寿命について

MultiWriter 2130の製品寿命は、印刷枚数が60万枚、または使用年数5年のいずれか早いほうです。10万枚ごとに定期保守が必要です。定期保守については、販売店または「NECサービス網一覧表」に記載のサービス窓口にご相談ください。

補修用性能部品および消耗品について

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。

保守サービスについて

保守サービスは純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心していただける、弊社指定の保守サービス会社*1をご利用ください。保守サービスには次のような種類があります。

- **PrinterSupportPack**
  プリンター本体の購入時から一定期間（3年/4年/5年）、何度でもオンサイト保守を提供する契約*2。
- **年間保守契約**
  年間一定額の料金にて、プリンターの故障時に何度でも保守員を派遣して、修理を行う契約。
  契約先、契約料など詳細については、ご購入いただいた販売店にお問い合わせください。
- **スポット保守サービス*3（保守契約をされていないお客様へのサービス：有料）**
  - 引き取り修理サービス
  - 出張修理サービス

ユーザーズマニュアルの再購入について

ユーザーズマニュアルを破損、紛失されたときは、下記のPCマニュアルセンターでコピー複製版（白黒版）をお買い求めいただけます。お申し込みには、プリンターの型番が必要になりますので、あらかじめお調べの上お申し込みください。

プリンターの型番　PR-L2130

NEC PCマニュアルセンター

URL：　http://pcm.mepros.com/
電話：　03-5471-5215
　　　　受付時間　月曜から金曜　10：00～12：00/13：00～16：00
　　　　（土曜、日曜、祝祭日を除く）
FAX：　03-5471-3996
　　　　受付時間　24時間（ただし、いただいたFAXに対するご回答は翌営業日以降になります。）

情報サービスについて

- プリンター製品に関する最新情報
  インターネット　「NEC8番街」 URL：http://nec8.com/
- プリンターに関する技術的なご質問、ご相談
  NEC 121コンタクトセンター
  （電話番号、受付時間などについては、「NECサービス網一覧表」をご覧ください。）

付録

*1　受付窓口の所在地、連絡先などは添付の「NEC サービス網一覧表」もしくは、インターネットの Web ページ http://www.fielding.co.jp/per/index.htm をご覧ください。
*2　技術料・交通費・交換部品代金を含む。ただし消耗品および規定の寿命に達した有寿命部品（定期交換部品）は有償となります。有寿命部品（定期交換部品）の詳細は、http://nec8.com/care/prchange/ をご覧ください。
*3　施設により詳細な規定、サービス内容、料金体系、営業日、営業時間が多少異なりますので、各施設にご確認ください。

MultiWriter 2130

レーザプリンタ

このマニュアルは再生紙を使用し、リサイクルに配慮して製本されています。
このマニュアルが不要になった際、回収・リサイクルに出しましょう。

NEC